新旧対照表

新	旧
・赤枠で示す箇所やマーカー塗の部分が今回の改定による更新箇所です。 ・目次中の赤枠は改定のある章を示しているものです。	
柏市　立地適正化計画	**柏市　立地適正化計画**
柏　市	**柏　市**
平成３０年４月策定	**平成３０年４月策定**
（令和　年　月改定）	**（令和４年４月改定）**

新旧対照表

新

柏市　立地適正化計画

目　　次

第１章　立地適正化計画の概要 ・・・・・・・・ 1
1－1. 策定の背景と目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1－2. 計画の記載事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1－3. 本計画の位置付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1－4. 計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1－5. 柏市の地域区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第２章　柏市の現状と課題 ・・・・・・・・・・ 7
2－1. 柏市の現状と将来見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2－2. 本計画にて重視すべき課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

第３章　まちづくりの基本方針 ・・・・・・・・ 15
3－1. 立地適正化計画の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
3－2. 拠点の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
3－3. 公共交通ネットワークの方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第４章　居住誘導区域 ・・・・・・・・・・・・ 27
4－1. 居住誘導区域の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4－2. 居住誘導区域の設定箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
4－3. 居住誘導区域に係る届出制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

旧

柏市　立地適正化計画

目　　次

第１章　立地適正化計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1－1. 策定の背景と目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
1－2. 計画の記載事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
1－3. 本計画の位置付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1－4. 計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
1－5. 柏市の地域区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第２章　柏市の現状と課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
2－1. 柏市の現状と将来見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2－2. 本計画にて重視すべき課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

第３章　まちづくりの基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
3－1. 立地適正化計画の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
3－2. 拠点の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
3－3. 公共交通ネットワークの方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

第４章　居住誘導区域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
4－1. 居住誘導区域の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
4－2. 居住誘導区域の設定箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
4－3. 居住誘導区域に係る届出制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

新旧対照表

新

第５章　都市機能誘導区域・誘導施設 ・・・・・ 41
5－1. 都市機能誘導区域の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
5－2. 都市機能誘導区域の設定箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
5－3. 誘導施設の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
5－4. 誘導施設の設定内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
5－5. 誘導施設に係る届出制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

第６章　誘導施策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
6－1. 誘導施策の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
6－2. 誘導施策の設定内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

第７章　防災指針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
7－1. 防災指針の基本的な考え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
7－2. 指針の記載事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
7－3. 災害リスク分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
7－4. 防災・減災に向けた現状と課題の抽出 ・・・・・・・・・・・・・・ 120
7－5. 防災まちづくりの取組方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
7－6. 具体的な取り組み、スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・ 123

第８章　計画評価と進行管理 ・・・・・・・・・・・ 125
8－1. 目標値の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
8－2. 進行管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
参考－1. 柏市の現状と将来見通し（詳細版） ・・・・・・・・・・・・・ 134
参考－2. 誘導施設の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
参考－3. 各拠点の状況整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
参考－4. 策定の経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176

旧

第５章　都市機能誘導区域・誘導施設 ・・・・・ 41
5－1. 都市機能誘導区域の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
5－2. 都市機能誘導区域の設定箇所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
5－3. 誘導施設の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
5－4. 誘導施設の設定内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
5－5. 誘導施設に係る届出制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

第６章　誘導施策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
6－1. 誘導施策の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
6－2. 誘導施策の設定内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83

第７章　防災指針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
7－1. 防災指針の基本的な考え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
7－2. 指針の記載事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
7－3. 災害リスク分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
7－4. 防災・減災に向けた現状と課題の抽出 ・・・・・・・・・・・・・・ 120
7－5. 防災まちづくりの取組方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122
7－6. 具体的な取り組み、スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・ 123

第８章　計画評価と進行管理 ・・・・・・・・・・・ 125
8－1. 目標値の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 126
8－2. 進行管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

参考資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133
参考－1. 柏市の現状と将来見通し（詳細版） ・・・・・・・・・・・・・ 134
参考－2. 誘導施設の設定方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 156
参考－3. 各拠点の状況整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
参考－4. 策定の経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176

新旧対照表

新

4）道路と公共交通（参考資料：p.146～p.148 参照）

【道路インフラの状況】

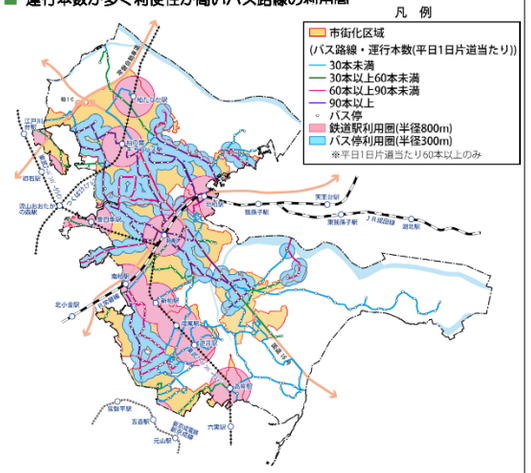
○既に計画決定されている都市計画道路の整備率は、38.8％（平成 27 年時点）となっており、周辺市と比べて低い状況にあります。

【公共交通の状況】

○本市の鉄道は、3路線（JR常磐線、東武野田線、つくばエクスプレス）で10駅があり、また、バス路線としては、主に市街化区域内にて展開され、それらの徒歩利用圏は、市街化区域内の大半をカバーしています。

○その中で、運行本数が多く利便性の高いバス路線(※)に限定したカバー箇所を確認すると、市街化区域内で、南部の新逆井・南逆井の縁辺部等、一部でカバーしきれていない利便性の低い地域が見られます。

■ 運行本数が多く利便性が高いバス路線の利用圏



※運行本数が多く利便性の高いバス路線
：平日1日片道当り 60 本以上で、オフピーク時に 3～4本確保される路線

【各駅の利用圏】

○市内の各駅の徒歩利用圏を調査すると、柏駅は、駅を中心に1kmを超えた広域的な利用圏が確認でき、その他の駅は、利用圏の形状が同心円ではない等のバラツキはあるものの、概ね駅を中心に徒歩 10 分圏域(800m)での徒歩利用が見られます。

○一方、主に新逆井・南逆井、布施新町、西原等の周辺市との隣接部の区域では、大半が市外の駅を利用している状況も見られます。

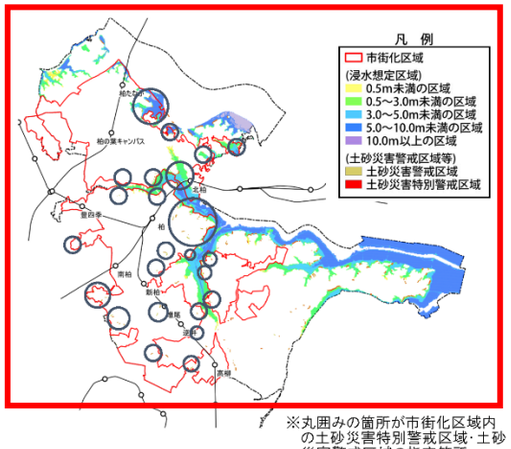
5）災害（参考資料：p.149 参照）

【居住において考慮すべき箇所の存在】

○市内には、利根川・大堀川・大津川・手賀沼周辺等の一部にて、災害時の浸水想定区域が指定されています。

○また、市内には、土砂災害警戒区域が 188 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 165 箇所）指定されています。その内、市街化区域では、土砂災害警戒区域が 84 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 65 箇所）指定されています。

■ 居住において考慮すべき箇所



※丸囲みの箇所が市街化区域内の土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域の指定箇所

旧

4）道路と公共交通（参考資料：p.146～p.148 参照）

【道路インフラの状況】

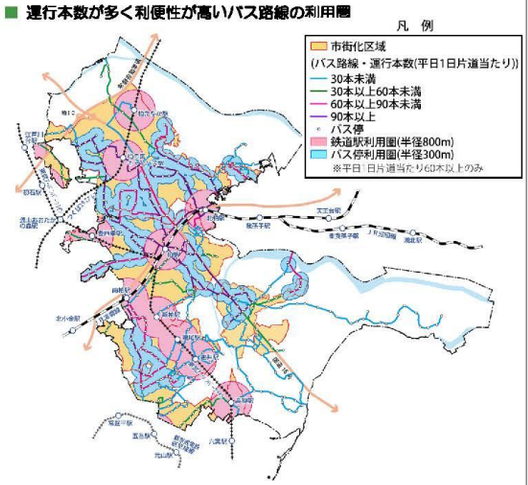
○既に計画決定されている都市計画道路の整備率は、38.8％（平成 27 年時点）となっており、周辺市と比べて低い状況にあります。

【公共交通の状況】

○本市の鉄道は、3路線（JR常磐線、東武野田線、つくばエクスプレス）で10駅があり、また、バス路線としては、主に市街化区域内にて展開され、それらの徒歩利用圏は、市街化区域内の大半をカバーしています。

○その中で、運行本数が多く利便性の高いバス路線(※)に限定したカバー箇所を確認すると、市街化区域内で、南部の新逆井・南逆井の縁辺部等、一部でカバーしきれていない利便性の低い地域が見られます。

■ 運行本数が多く利便性が高いバス路線の利用圏



※運行本数が多く利便性の高いバス路線
：平日1日片道当り 60 本以上で、オフピーク時に 3～4本確保される路線

【各駅の利用圏】

○市内の各駅の徒歩利用圏を調査すると、柏駅は、駅を中心に1kmを超えた広域的な利用圏が確認でき、その他の駅は、利用圏の形状が同心円ではない等のバラツキはあるものの、概ね駅を中心に徒歩 10 分圏域(800m)での徒歩利用が見られます。

○一方、主に新逆井・南逆井、布施新町、西原等の周辺市との隣接部の区域では、大半が市外の駅を利用している状況も見られます。

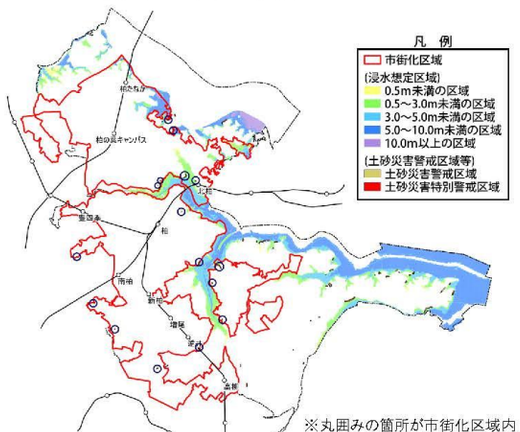
5）災害（参考資料：p.149 参照）

【居住において考慮すべき箇所の存在】

○市内には、利根川・大堀川・大津川・手賀沼周辺等の一部にて、災害時の浸水想定区域が指定されています。

○また、市内には、土砂災害警戒区域が 57 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 55 箇所）指定されています。その内、市街化区域では、土砂災害警戒区域が 16 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 15 箇所）指定されています。

■ 居住において考慮すべき箇所



※丸囲みの箇所が市街化区域内の土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域の指定箇所

新旧対照表

新

2）本計画での位置付け

上位計画等での拠点設定の考え方を踏まえ、本計画では、以下のとおり、拠点を位置付けます。

■ **本計画での拠点の位置付け**

	エリア名称	上位計画等での位置付け		立地適正化計画での位置付け・名称
		第五次総合計画	都市計画マスタープラン	
1	柏駅周辺	都市拠点	都市拠点	**都市拠点**
2	柏の葉キャンパス駅周辺			
3	沼南支所周辺	ふれあい交流拠点	地域拠点	**ふれあい交流拠点**
4	柏たなか駅周辺			
5	豊四季駅周辺			
6	北柏駅周辺			
7	南柏駅周辺	―	生活拠点	**生活拠点**
8	新柏駅周辺			
9	増尾駅周辺			
10	逆井駅周辺			
11	高柳駅周辺			

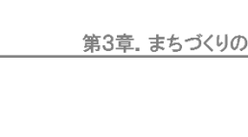
（都市拠点）

○市民の日常的な生活の場としてのみならず、市外も含めた広域から多くの人が訪れる非日常的な場としての役割も担うものとし、多様な都市機能の集積を目指すものとする。

○柏駅周辺においては、鉄道乗降客の減少・小売販売額の減少など商圏吸引率が低下傾向にあることから、老朽化した建築物の適切な更新や街並みの改良，都市機能の誘導等を総合的に行うことで、魅力ある市の中心地としての拠点性を発揮し続け、市民の生活利便性等の向上を目指す。

○柏の葉キャンパス駅周辺においては、国際的な学術拠点・新産業の拠点として、公・民・学の連携をさらに強め、これまでに実践してきた最先端の都市づくりを継続的に具現化するとともに、人口増加に対応して、戦略的な都市機能の誘導に努めていく。

柏駅東口周辺


柏の葉キャンパス駅周辺(イメージ図)

（ふれあい交流拠点）

○市東部の拠点として、非日常の都市機能の誘導も行いつつ、生活に求められる機能もバランス良く誘導していく。

○また、東部地域での一定の生活利便性を確保するため、異なる交通機関の乗り継ぎや、周辺観光資源等へのアクセス向上へ向けたターミナル機能の構築など交通施策と連携しながら拠点形成を推進する。


沼南支所


大規模商業施設

（生活拠点）

○地域住民が日常生活を送る上での中心的な場としての役割を担い、日常で必要となる都市機能を維持・誘導していく。


高柳駅西口(イメージ図)

旧

2）本計画での位置付け

上位計画等での拠点設定の考え方を踏まえ、本計画では、以下のとおり、拠点を位置付けます。

■ **本計画での拠点の位置付け**

	エリア名称	上位計画等での位置付け		立地適正化計画での位置付け・名称
		第五次総合計画	都市計画マスタープラン	
1	柏駅周辺	都市拠点	都市拠点	**都市拠点**
2	柏の葉キャンパス駅周辺			
3	沼南支所周辺	ふれあい交流拠点	地域拠点	**ふれあい交流拠点**
4	柏たなか駅周辺			
5	豊四季駅周辺			
6	北柏駅周辺			
7	南柏駅周辺	―	生活拠点	**生活拠点**
8	新柏駅周辺			
9	増尾駅周辺			
10	逆井駅周辺			
11	高柳駅周辺			

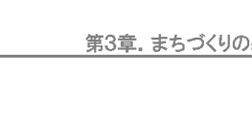
（都市拠点）

○市民の日常的な生活の場としてのみならず、市外も含めた広域から多くの人が訪れる非日常的な場としての役割も担うものとし、多様な都市機能の集積を目指すものとする。

○柏駅周辺においては、鉄道乗降客の減少・小売販売額の減少など商圏吸引率が低下傾向にあることから、老朽化した建築物の適切な更新や街並みの改良等を総合的に行うことで、魅力ある市の中心地としての拠点性を発揮し続け、市民の生活利便性の向上を目指す。

○柏の葉キャンパス駅周辺においては、国際的な学術拠点・新産業の拠点として、公・民・学の連携をさらに強め、これまでに実践してきた最先端の都市づくりを継続的に具現化するとともに、人口増加に対応して、戦略的な都市機能の誘導に努めていく。

柏駅東口周辺


柏の葉キャンパス駅周辺(イメージ図)

（ふれあい交流拠点）

○市東部の拠点として、非日常の都市機能の誘導も行いつつ、生活に求められる機能もバランス良く誘導していく。

○また、東部地域での一定の生活利便性を確保するため、異なる交通機関の乗り継ぎや、周辺観光資源等へのアクセス向上へ向けたターミナル機能の構築など交通施策と連携しながら拠点形成を推進する。


沼南支所


大規模商業施設

（生活拠点）

○地域住民が日常生活を送る上での中心的な場としての役割を担い、日常で必要となる都市機能を維持・誘導していく。


高柳駅西口(イメージ図)

新旧対照表

新

前ページより

前ページより

〈チェック3〉現況土地利用との整合や安全性の確認

⇒以下の①～⑤のいずれかに該当する箇所は居住誘導区域の対象から除外

（現況土地利用を考慮して除外）

対象	考え方
①用途地域が工業専用地域・工業地域	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
②用途地域が準工業地域で住居系利用が殆どない箇所	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
③大規模公園・大学等の一団地の非居住地	・スポーツ・文教エリア等としての保全を図るため居住誘導しない ・公園及び緑地の対象は、近隣公園の標準的な基準面積の 2ha 以上を基本とする。（連続的にある公園・緑地の合計が 2ha 以上の場合も対象とする）

※今後の都市農地等の法制度・税制等のインセンティブにより、第6章の施策効果が期待される場合、居住誘導区域の見直しを検討します。

（安全性を考慮して除外）

対象	考え方
④浸水想定区域が指定された箇所にて、災害リスクへの対応が困難な箇所	・災害時の避難体制の構築等が困難な地区の場合は、居住誘導しない
⑤土砂災害特別警戒区域に指定された箇所	・土砂災害防止法に基づき、災害時の安全性において考慮が必要な場所であり、居住誘導しない ※令和４年４月１日以降、新たに区域が指定された場合についても、居住誘導区域から除外する

居住誘導区域の２次候補地

⇒〈1次候補地〉から〈チェック3〉を除いた箇所

（最終的な細部の確認・調整）

居住誘導区域の決定

※⑤について、令和7年 12 月までに区域の指定のあった箇所は居住誘導区域から除外済み

旧

前ページより

前ページより

〈チェック3〉現況土地利用との整合や安全性の確認

⇒以下の①～⑤のいずれかに該当する箇所は居住誘導区域の対象から除外

（現況土地利用を考慮して除外）

対象	考え方
①用途地域が工業専用地域・工業地域	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
②用途地域が準工業地域で住居系利用が殆どない箇所	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
③大規模公園・大学等の一団地の非居住地	・スポーツ・文教エリア等としての保全を図るため居住誘導しない ・公園及び緑地の対象は、近隣公園の標準的な基準面積の 2ha 以上を基本とする。（連続的にある公園・緑地の合計が 2ha 以上の場合も対象とする）

※今後の都市農地等の法制度・税制等のインセンティブにより、第6章の施策効果が期待される場合、居住誘導区域の見直しを検討します。

（安全性を考慮して除外）

対象	考え方
④浸水想定区域が指定された箇所にて、災害リスクへの対応が困難な箇所	・災害時の避難体制の構築等が困難な地区の場合は、居住誘導しない
⑤土砂災害特別警戒区域に指定された箇所	・土砂災害防止法に基づき、災害時の安全性において考慮が必要な場所であり、居住誘導しない ※令和４年４月１日以降、新たに区域が指定された場合についても、居住誘導区域から除外する

居住誘導区域の２次候補地

⇒〈1次候補地〉から〈チェック3〉を除いた箇所

（最終的な細部の確認・調整）

居住誘導区域の決定

新旧対照表

新

前ページより

〈チェック3〉現況土地利用との整合や安全性の確認

⇒以下の①～⑤のいずれかに該当する箇所は、居住誘導区域の対象から除外

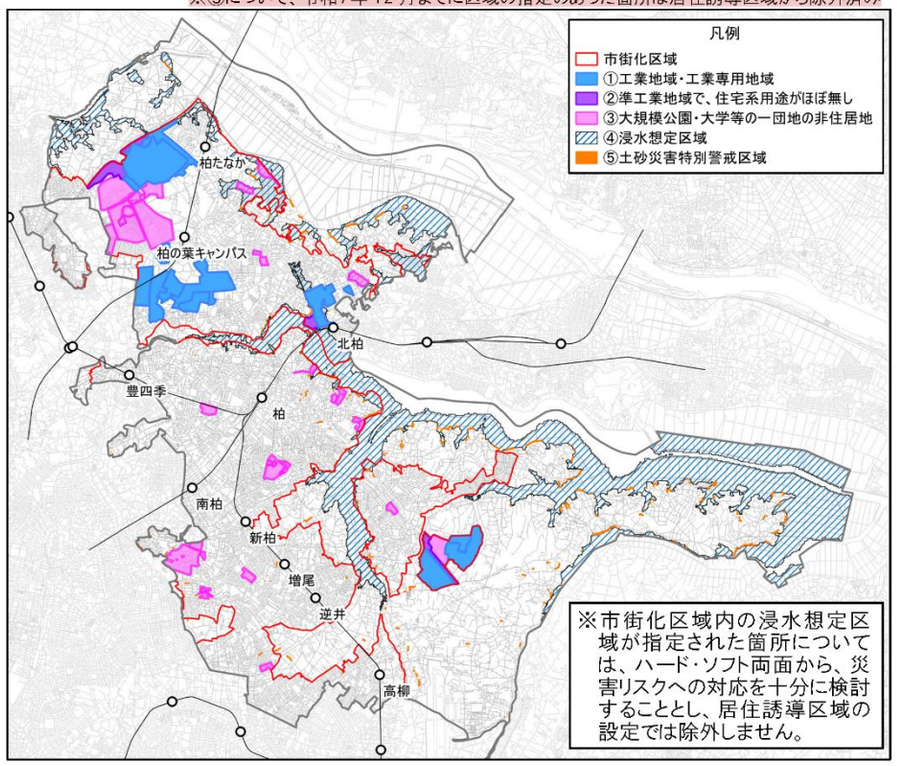
（現況土地利用を考慮して除外）

対象	考え方
①用途地域が工業専用地域・工業地域	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
②用途地域が準工業地域で住居系利用が殆どない箇所	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
③大規模公園・大学等の一団地の非居住地	・スポーツ・文教エリア等としての保全を図るため居住誘導しない。 ・公園及び緑地の対象は、近隣公園の標準的な基準面積の 2ha 以上を基本とする。（連続的にある公園・緑地の合計面積が 2ha 以上の場合も対象とする）

（安全性を考慮して除外）

対象	考え方
④浸水想定区域が指定された箇所にて、災害リスクの対応が困難な箇所	・災害時の避難体制の構築等が困難な地区の場合は、居住誘導しない
⑤土砂災害特別警戒区域に指定された箇所	・土砂災害防止法に基づき、災害時の安全性において考慮が必要な場所であり、居住誘導しない ※令和４年４月１日以降、新たに区域が指定された場合についても、居住誘導区域から除外する

※⑤について、令和7年 12 月までに区域の指定のあった箇所は居住誘導区域から除外済み



※市街化区域内の浸水想定区域が指定された箇所については、ハード・ソフト両面から、災害リスクへの対応を十分に検討することとし、居住誘導区域の設定では除外しません。

前ページより

旧

前ページより

〈チェック3〉現況土地利用との整合や安全性の確認

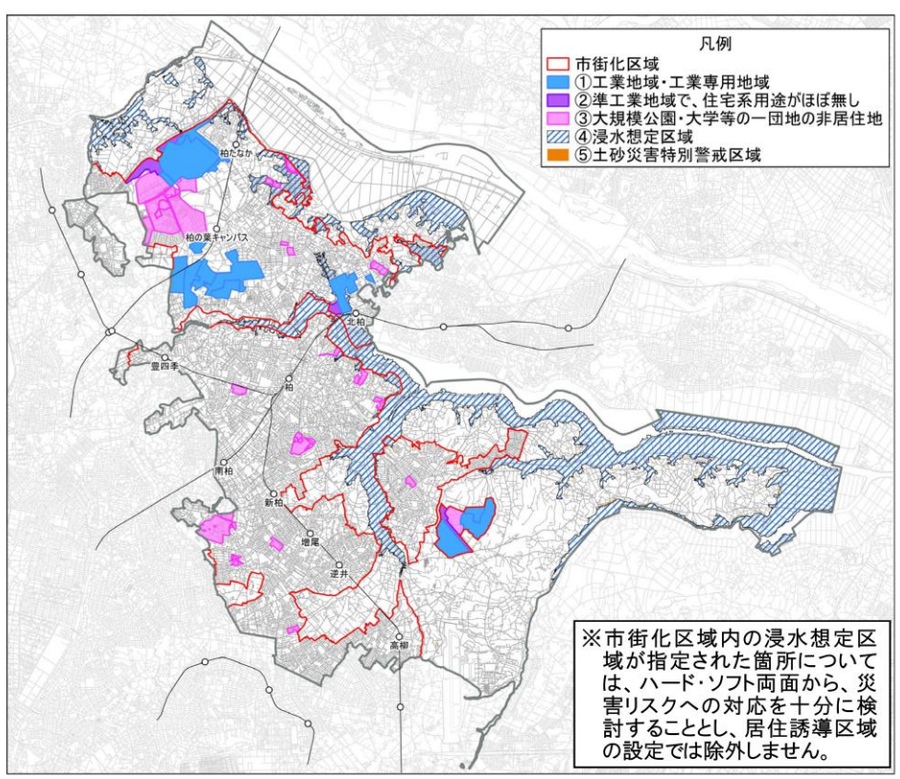
⇒以下の①～⑤のいずれかに該当する箇所は、居住誘導区域の対象から除外

（現況土地利用を考慮して除外）

対象	考え方
①用途地域が工業専用地域・工業地域	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
②用途地域が準工業地域で住居系利用が殆どない箇所	・工業の利便を増進する土地利用を図るため居住誘導しない
③大規模公園・大学等の一団地の非居住地	・スポーツ・文教エリア等としての保全を図るため居住誘導しない。 ・公園及び緑地の対象は、近隣公園の標準的な基準面積の 2ha 以上を基本とする。（連続的にある公園・緑地の合計面積が 2ha 以上の場合も対象とする）

（安全性を考慮して除外）

対象	考え方
④浸水想定区域が指定された箇所にて、災害リスクの対応が困難な箇所	・災害時の避難体制の構築等が困難な地区の場合は、居住誘導しない
⑤土砂災害特別警戒区域に指定された箇所	・土砂災害防止法に基づき、災害時の安全性において考慮が必要な場所であり、居住誘導しない ※令和４年４月１日以降、新たに区域が指定された場合についても、居住誘導区域から除外する



※市街化区域内の浸水想定区域が指定された箇所については、ハード・ソフト両面から、災害リスクへの対応を十分に検討することとし、居住誘導区域の設定では除外しません。

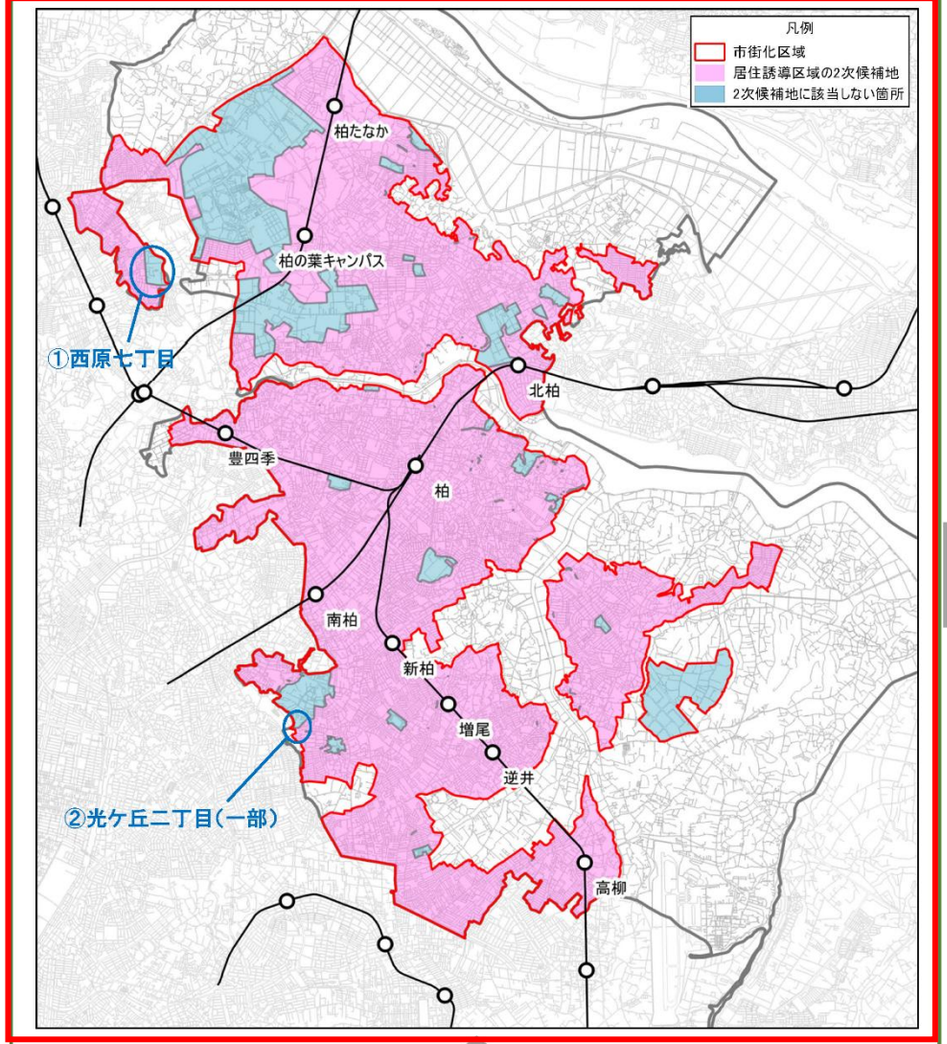
前ページより

新旧対照表

新

居住誘導区域の2次候補地

⇒〈1次候補地〉から「〈チェック3〉現況土地利用との整合や安全性の確認」を除いた箇所を居住誘導区域の2次候補地として抽出



（最終的な細部の確認・調整）

※下記2箇所は、2次候補地として該当しないものの、土地利用の現状を考慮し、居住誘導区域に含めるものとする

①西原七丁目
・初石病院や大規模事業所等の敷地の割合が高いため、人口密度は 40 人/ha 以下となっているが、まとまった住宅地部分(全体の3割程度)の現況は、周辺住宅地と同様に密度がある。

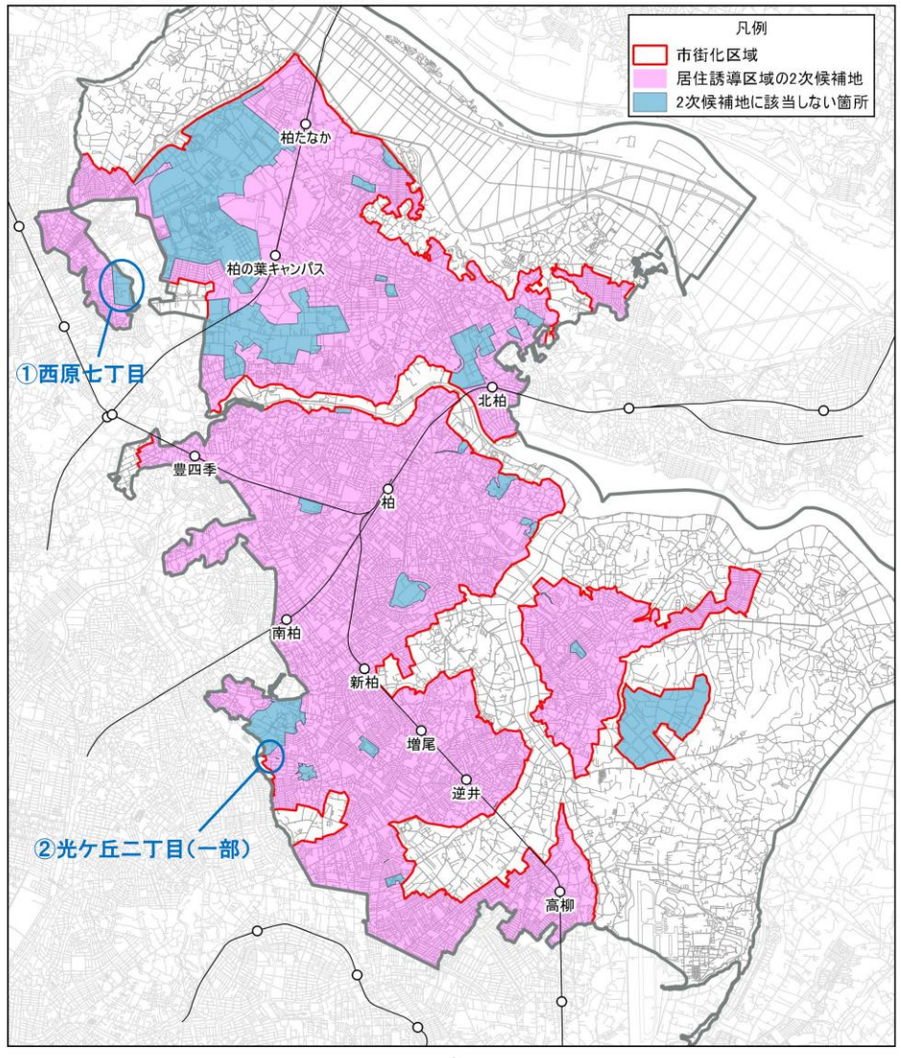
②光ケ丘二丁目（一部）
・麗澤大学等の敷地が大半を占めるため、人口密度は 40 人/ha 以下となっているが、当該部分は住宅地であり、周辺住宅地と同様に密度がある。

次ページへ

旧

居住誘導区域の2次候補地

⇒〈1次候補地〉から「〈チェック3〉現況土地利用との整合や安全性の確認」を除いた箇所を居住誘導区域の2次候補地として抽出



（最終的な細部の確認・調整）

※下記2箇所は、2次候補地として該当しないものの、土地利用の現状を考慮し、居住誘導区域に含めるものとする

①西原七丁目
・初石病院や大規模事業所等の敷地の割合が高いため、人口密度は 40 人/ha 以下となっているが、まとまった住宅地部分(全体の3割程度)の現況は、周辺住宅地と同様に密度がある。

②光ケ丘二丁目（一部）
・麗澤大学等の敷地が大半を占めるため、人口密度は 40 人/ha 以下となっているが、当該部分は住宅地であり、周辺住宅地と同様に密度がある。

次ページへ

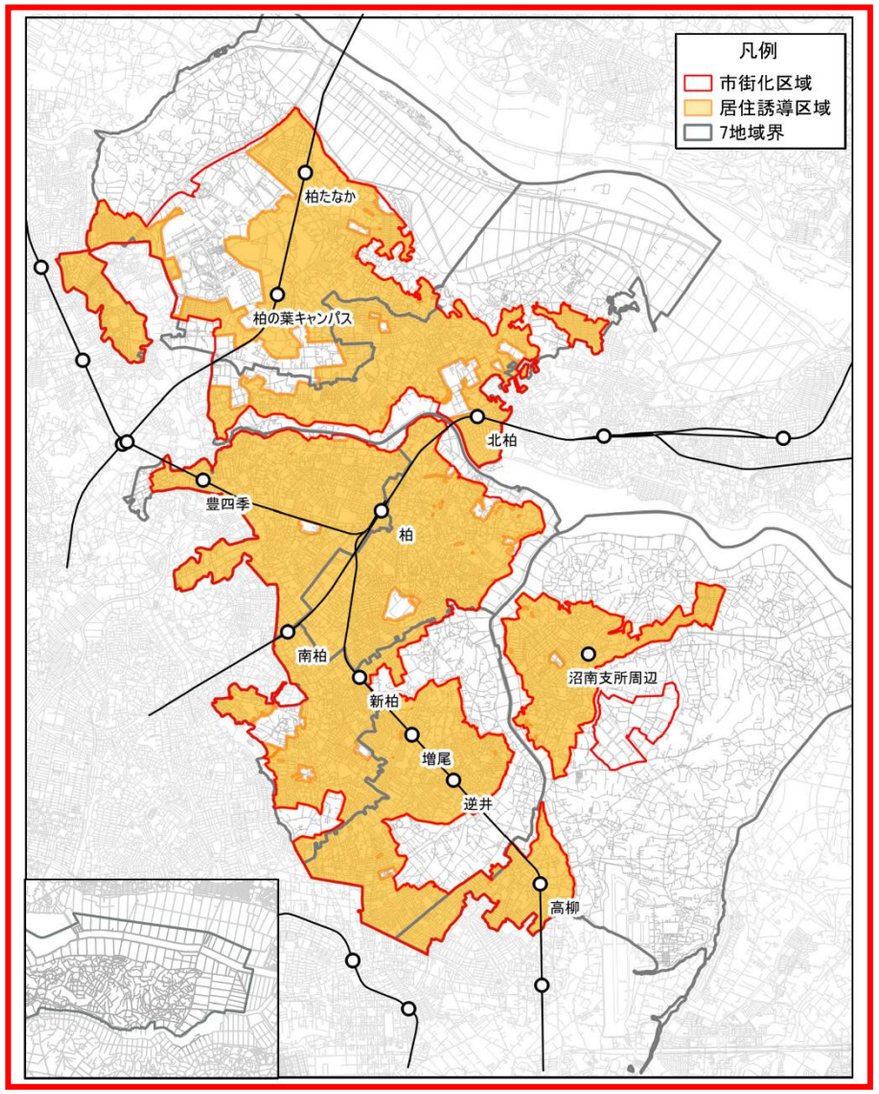
新旧対照表

新

4－2 居住誘導区域の設定箇所

前項の設定フローを踏まえ、本市の居住誘導区域は以下のとおりとします。

■ 居住誘導区域（全体図）



【参考】居住誘導区域と各区域との比較

区　域	人　口	面　積	人口密度
居住誘導区域	371,732人	4,375ha	85．0人/ha
DID(H27年)	365,667人	3,999ha	91．4人/ha
市街化区域	381,093人	5,453ha	69．9人/ha

※居住誘導区域及び市街化区域の人口は、平成22年国勢調査を基に算定

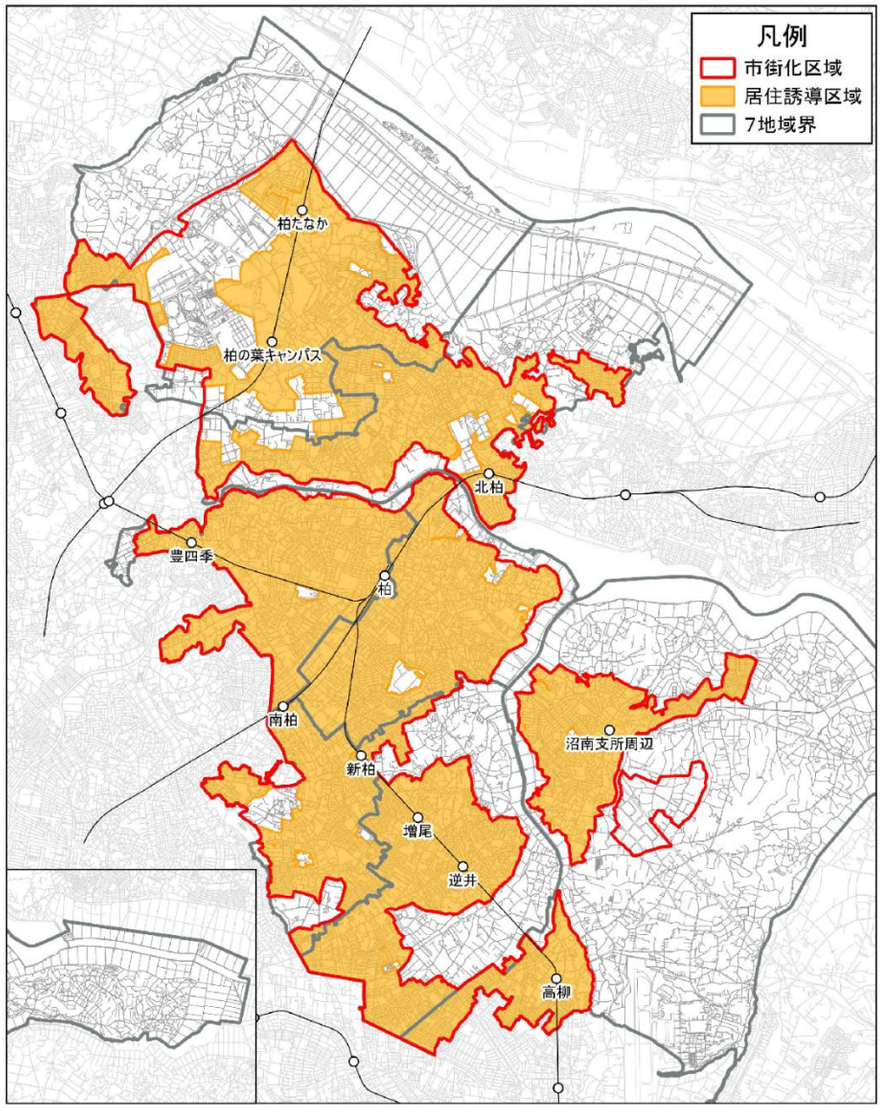
※居住誘導区域の人口は平成 30 年4月の計画策定時ものである

旧

4－2 居住誘導区域の設定箇所

前項の設定フローを踏まえ、本市の居住誘導区域は以下のとおりとします。

■ 居住誘導区域（全体図）



【参考】居住誘導区域と各区域との比較

区　域	人　口	面　積	人口密度
居住誘導区域	371,732人	4,378ha	84．9人/ha
DID(H27年)	365,667人	3,999ha	91．4人/ha
市街化区域	381,093人	5,453ha	69．9人/ha

※居住誘導区域及び市街化区域の人口は、平成22年国勢調査を基に算定

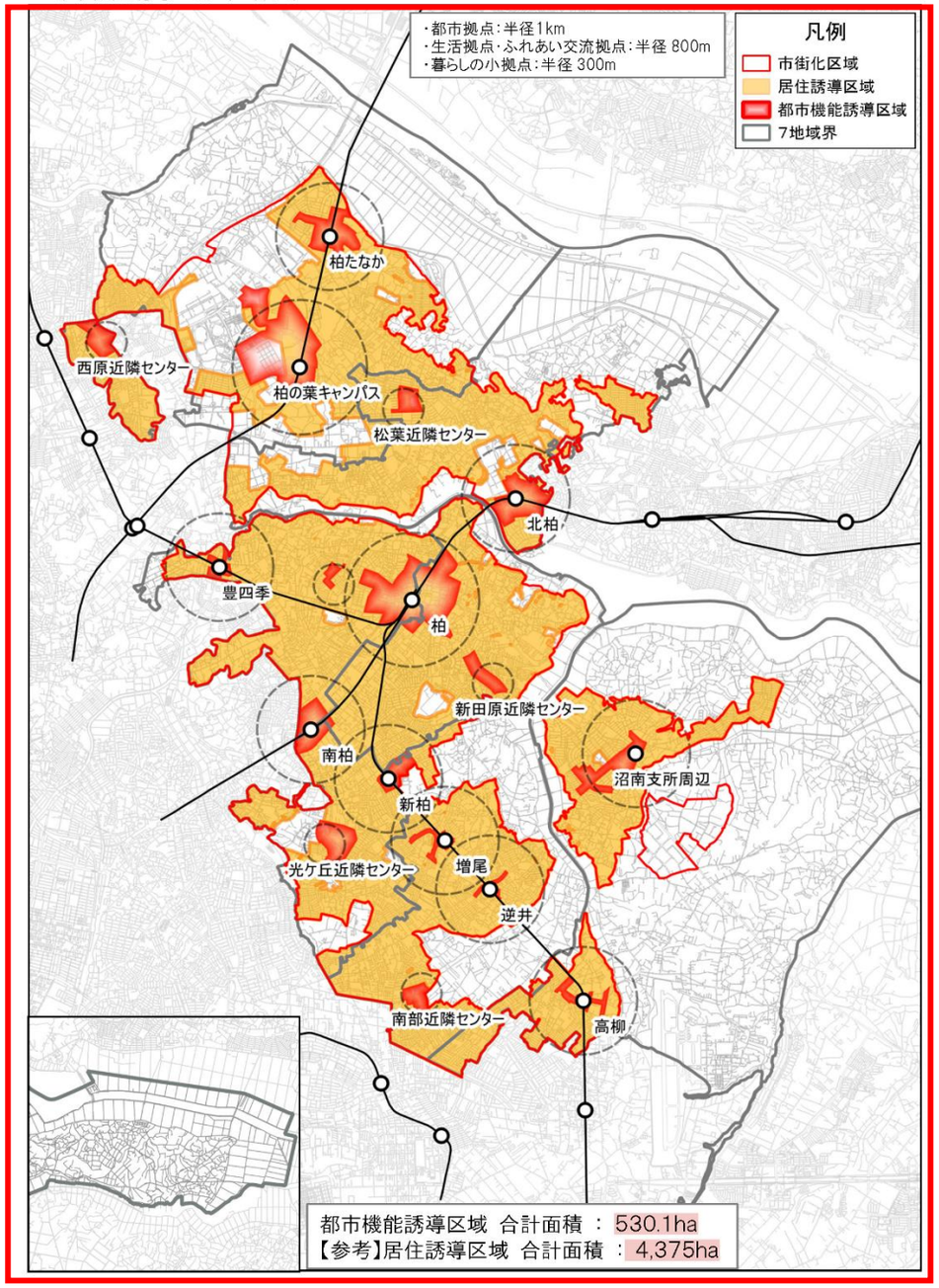
新旧対照表

新

5－2　都市機能誘導区域の設定箇所

前項の設定方針を踏まえ、本市の都市機能誘導区域は以下のとおりとします。

■ **都市機能誘導区域（全体図）**

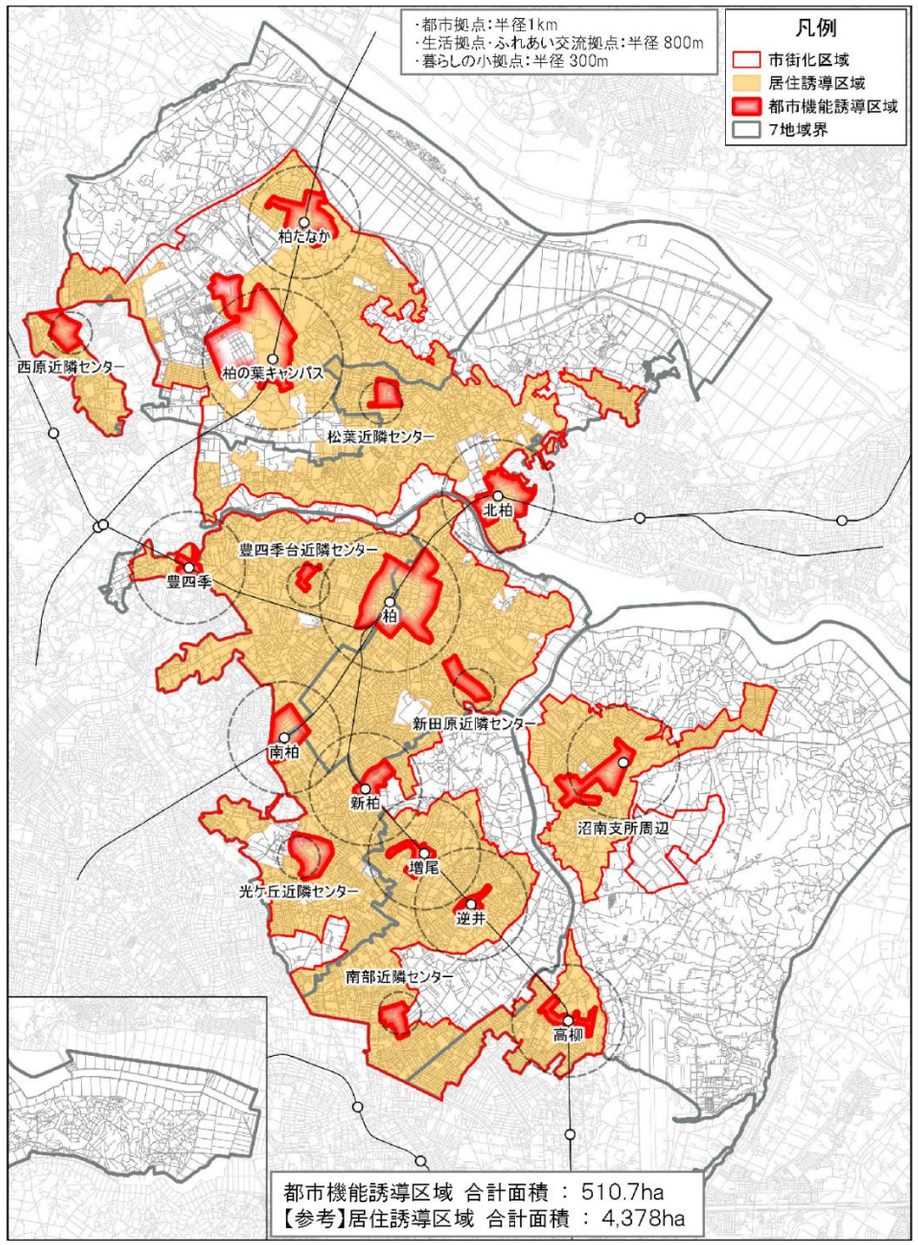


旧

5－2　都市機能誘導区域の設定箇所

前項の設定方針を踏まえ、本市の都市機能誘導区域は以下のとおりとします。

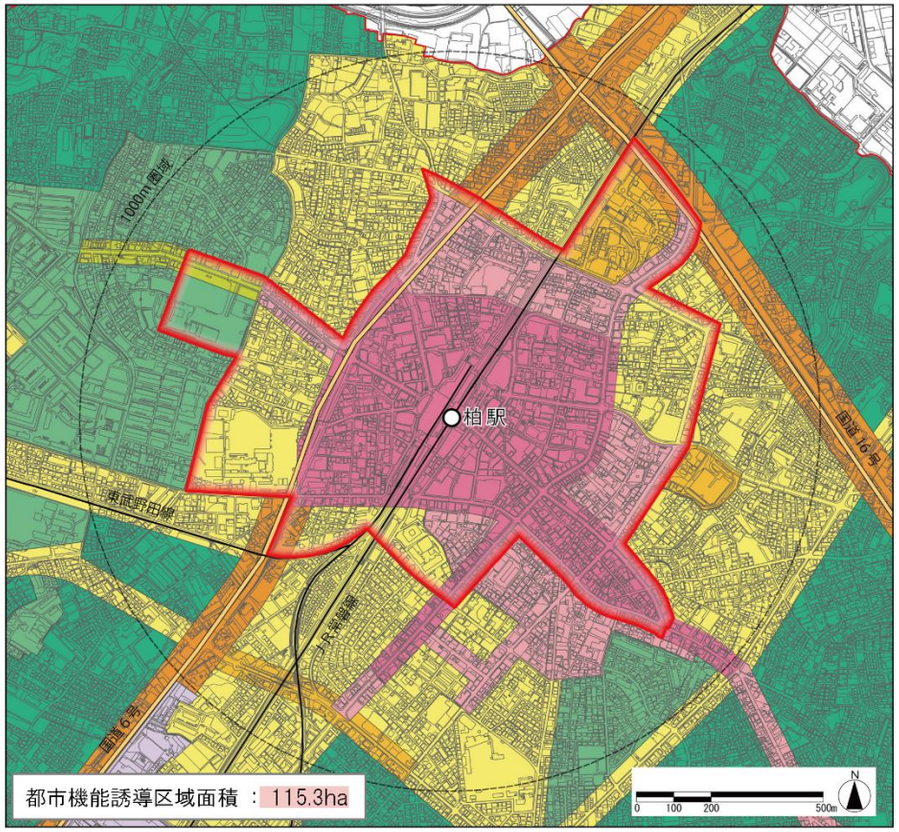
■ **都市機能誘導区域（全体図）**



新旧対照表

新

【都市拠点】柏駅周辺



（区域設定の考え方）

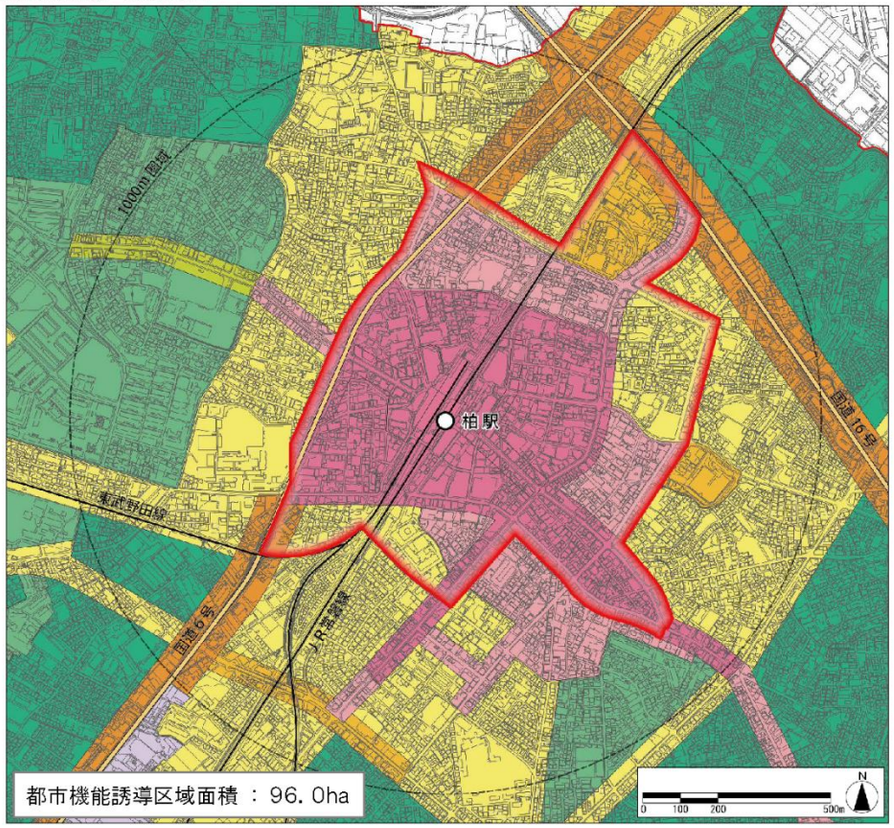
・柏駅周辺は、「中心市街地活性化基本計画」の区域と、義務教育学校（予定地）周辺の区域、柏市役所周辺の区域を設定します。

凡例

- 都市機能誘導区域
- （用途地域）
- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域
- 市街化区域

旧

【都市拠点】柏駅周辺



（区域設定の考え方）

・柏駅周辺は、「中心市街地活性化基本計画」の区域と、柏市役所周辺の区域を設定します。

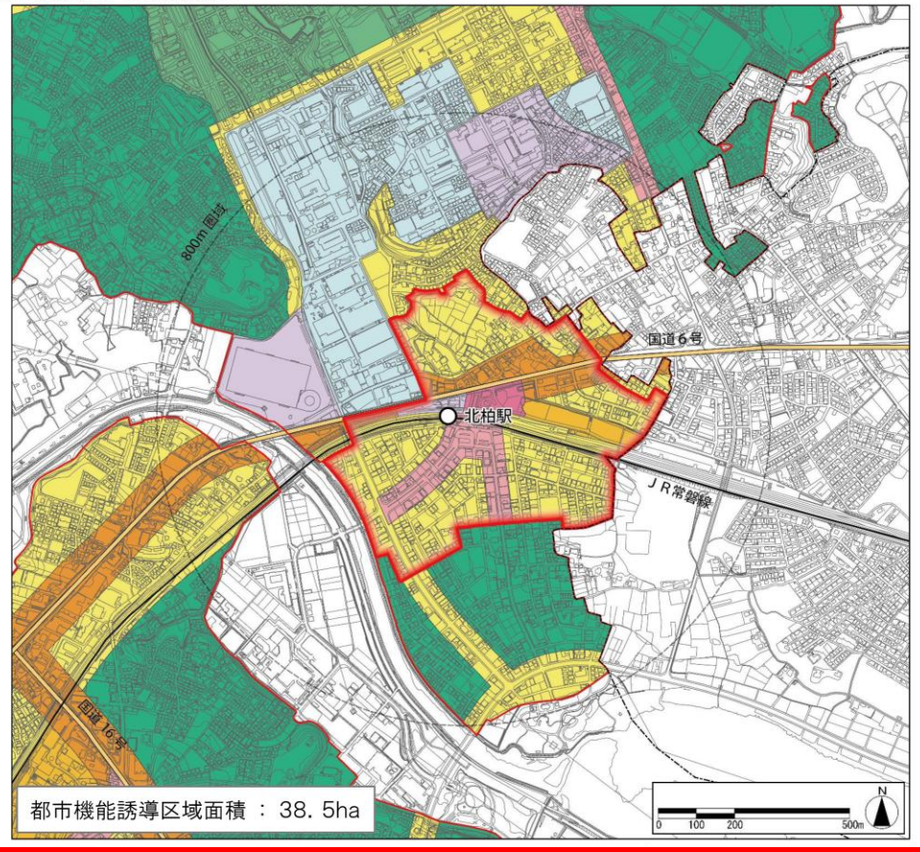
凡例

- 都市機能誘導区域
- （用途地域）
- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域
- 市街化区域

新旧対照表

新

【生活拠点】北柏駅周辺

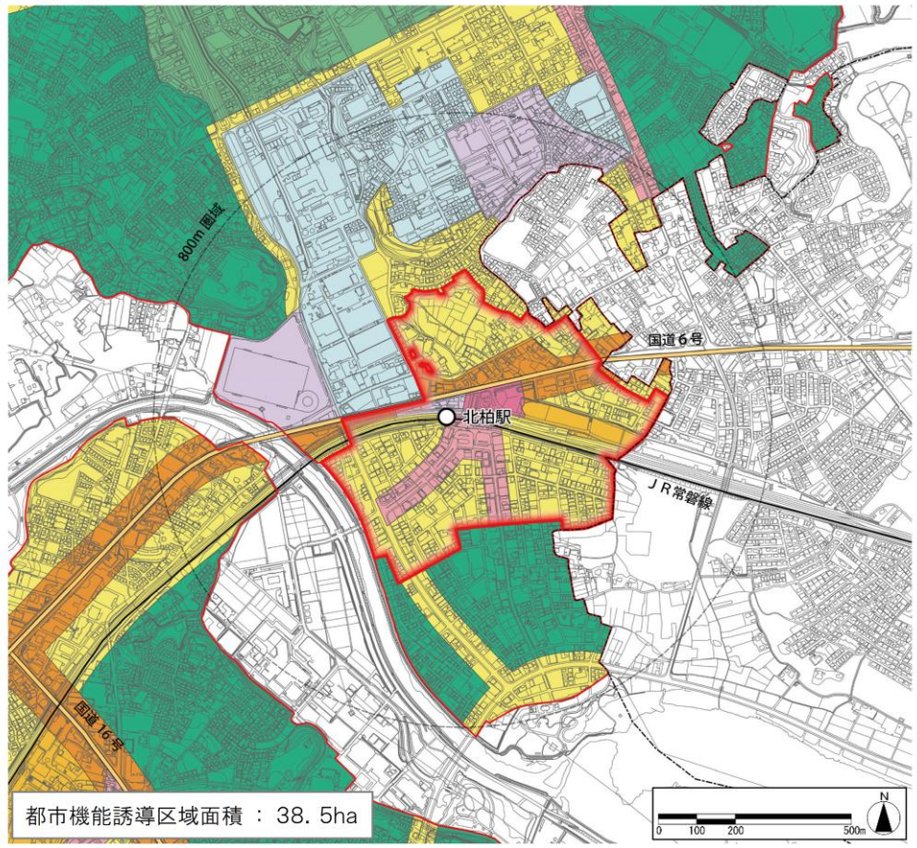


（区域設定の考え方）

・北柏駅周辺は、北柏駅北口地区の土地区画整理事業によるまちづくりと併せて、駅周辺の商業系用途地域を中心として、生活利便施設集積の誘導や維持を図るため、区域を設定します。

旧

【生活拠点】北柏駅周辺



（区域設定の考え方）

・北柏駅周辺は、北柏駅北口地区の土地区画整理事業によるまちづくりと併せて、駅周辺の商業系用途地域を中心として、生活利便施設集積の誘導や維持を図るため、区域を設定します。

新旧対照表

新

（２）本市の誘導施設の設定方針

前項の誘導施設設定の基本的な考え方等を踏まえ、本市における誘導施設の設定方針を整理します。

１）都市機能毎に必要とする役割と対象施設

柏市において、市民の利便性を高める上で必要とする都市機能毎の役割と対象施設を整理すると、以下のとおりです。

■ **都市機能毎に必要とする役割と対象施設**

都市機能	必要とする役割	対象施設
行政機能	・市の中核となる行政機能 ・地域の行政窓口機能	■ **市役所（本庁舎）** ■ **市役所（支所）**
介護福祉機能	・介護福祉の拠点となる機能 ・日常の介護や看護のサービスを受けることが出来る機能	■ **地域包括支援センター** ■ **在宅医療・介護サービス拠点施設** ■ **サービス付き高齢者向け住宅** ■ **通所系施設** （通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、認知症対応型通所介護等） ■ **訪問系施設** （訪問介護（ホームヘルプサービス）、夜間対応型訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型介護看護等） ■ **短期入所系施設** （短期入所生活介護（ショートステイ）、短期入所療養介護（療養ショートステイ）、小規模多機能型居宅介護）
子育て機能	・子育て世帯が必要な預かり等のサービスを受けることができる機能	■ **保育園** ■ **認定こども園** ■ **幼稚園**
商業機能	・様々なニーズに対応し、一箇所にて買い物、食事等を提供できる機能 ・日々の生活に必要な生鮮品等の買い回りができる機能	■ **ショッピングモール系商業施設** （百貨店・ショッピングモール等） ■ **スーパーマーケット系商業施設** （スーパーマーケット等） ■ **コンビニエンスストア**
医療機能	・総合的な医療サービスや日常的な診療を受けることができる機能	■ **病院** ■ **診療所**
金融機能	・決済や融資などの有人窓口による金融サービスを提供する機能 ・引出・預入ができる機能	■ **銀行** ■ **郵便局** ■ **コンビニエンスストア（ATM）**
教育・文化機能	・市民全体を対象とした教育文化サービスの拠点となる機能 ・教育環境の充実を図る機能 ・地域の教育文化やレクリエーション活動を支える機能	■ **図書館（本館）** ■ **文化会館** ■ **中央公民館** ■ **義務教育学校** ■ **文化交流施設** （ホール・公民館・近隣センター等）

旧

（２）本市の誘導施設の設定方針

前項の誘導施設設定の基本的な考え方等を踏まえ、本市における誘導施設の設定方針を整理します。

１）都市機能毎に必要とする役割と対象施設

柏市において、市民の利便性を高める上で必要とする都市機能毎の役割と対象施設を整理すると、以下のとおりです。

■ **都市機能毎に必要とする役割と対象施設**

都市機能	必要とする役割	対象施設
行政機能	・市の中核となる行政機能 ・地域の行政窓口機能	■ **市役所（本庁舎）** ■ **市役所（支所）**
介護福祉機能	・介護福祉の拠点となる機能 ・日常の介護や看護のサービスを受けることが出来る機能	■ **地域包括支援センター** ■ **在宅医療・介護サービス拠点施設** ■ **サービス付き高齢者向け住宅** ■ **通所系施設** （通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、認知症対応型通所介護等） ■ **訪問系施設** （訪問介護（ホームヘルプサービス）、夜間対応型訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型介護看護等） ■ **短期入所系施設** （短期入所生活介護（ショートステイ）、短期入所療養介護（療養ショートステイ）、小規模多機能型居宅介護）
子育て機能	・子育て世帯が必要な預かり等のサービスを受けることができる機能	■ **保育園** ■ **認定こども園** ■ **幼稚園**
商業機能	・様々なニーズに対応し、一箇所にて買い物、食事等を提供できる機能 ・日々の生活に必要な生鮮品等の買い回りができる機能	■ **ショッピングモール系商業施設** （百貨店・ショッピングモール等） ■ **スーパーマーケット系商業施設** （スーパーマーケット等） ■ **コンビニエンスストア**
医療機能	・総合的な医療サービスや日常的な診療を受けることができる機能	■ **病院** ■ **診療所**
金融機能	・決済や融資などの有人窓口による金融サービスを提供する機能 ・引出・預入ができる機能	■ **銀行** ■ **郵便局** ■ **コンビニエンスストア（ATM）**
教育・文化機能	・市民全体を対象とした教育文化サービスの拠点となる機能 ・地域の教育文化やレクリエーション活動を支える機能	■ **図書館（本館）** ■ **文化会館** ■ **中央公民館** ■ **文化交流施設** （ホール・公民館・近隣センター等）

新旧対照表

新

3）拠点集積型・適正配置型の区分

対象施設について、それぞれの特性や求められる役割、既存の立地状況等に応じて「拠点集積型施設」と「適正配置型施設」に分類すると以下のとおりです。

■ 対象施設毎の配置区分の整理

都市機能	対象施設	配置区分	
		拠点集積型施設	適正配置型施設
行政機能	■ 市役所（本庁舎）	○	
	■ 市役所（支所）	○	
介護福祉機能	■ 地域包括支援センター	○	
	■ 在宅医療・介護サービス拠点施設	○	
	■ サービス付き高齢者向け住宅	○	
	■ 通所系施設 （通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、認知症対応型通所介護等）		○
	■ 訪問系施設 （訪問介護（ホームヘルプサービス）、夜間対応型訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型介護看護等）		○
	■ 短期入所系施設 （短期入所生活介護（ショートステイ）、短期入所療養介護（療養ショートステイ）、小規模多機能型居宅介護）		○
子育て機能	■ 保育園		○
	■ 認定こども園		○
	■ 幼稚園		○
商業機能	■ ショッピングモール系商業施設 （百貨店・ショッピングモール等）	○	
	■ スーパーマーケット系商業施設 （スーパーマーケット等）	○	
	■ コンビニエンスストア		○
医療機能	■ 病院	○	
	■ 診療所		○
金融機能	■ 銀行	○	
	■ 郵便局		○
	■ ATM		○
教育・文化機能	■ 図書館（本館）	○	
	■ 文化会館	○	
	■ 中央公民館	○	
	■ 義務教育学校	○	
	■ 文化交流施設 （ホール・公民館・近隣センター等）	○	

旧

3）拠点集積型・適正配置型の区分

対象施設について、それぞれの特性や求められる役割、既存の立地状況等に応じて「拠点集積型施設」と「適正配置型施設」に分類すると以下のとおりです。

■ 対象施設毎の配置区分の整理

都市機能	対象施設	配置区分	
		拠点集積型施設	適正配置型施設
行政機能	■ 市役所（本庁舎）	○	
	■ 市役所（支所）	○	
介護福祉機能	■ 地域包括支援センター	○	
	■ 在宅医療・介護サービス拠点施設	○	
	■ サービス付き高齢者向け住宅	○	
	■ 通所系施設 （通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）、認知症対応型通所介護等）		○
	■ 訪問系施設 （訪問介護（ホームヘルプサービス）、夜間対応型訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型介護看護等）		○
	■ 短期入所系施設 （短期入所生活介護（ショートステイ）、短期入所療養介護（療養ショートステイ）、小規模多機能型居宅介護）		○
子育て機能	■ 保育園		○
	■ 認定こども園		○
	■ 幼稚園		○
商業機能	■ ショッピングモール系商業施設 （百貨店・ショッピングモール等）	○	
	■ スーパーマーケット系商業施設 （スーパーマーケット等）	○	
	■ コンビニエンスストア		○
医療機能	■ 病院	○	
	■ 診療所		○
金融機能	■ 銀行	○	
	■ 郵便局		○
	■ ATM		○
教育・文化機能	■ 図書館（本館）	○	
	■ 文化会館	○	
	■ 中央公民館	○	
	■ 文化交流施設 （ホール・公民館・近隣センター等）	○	

新旧対照表

新

4）拠点毎の都市機能誘導の方向性

前項での「拠点集積型施設」と「適正配置型施設」での分類を踏まえ、拠点毎の都市機能誘導の方向性を踏

■ **拠点毎の対象施設の配置の考え方**

位　置		都市拠点		ふれあい交流拠点	
対象箇所		①柏駅	②柏の葉キャンパス駅	①沼南支所	① ③ ⑥
都市機能の誘導の方向性		・市内を牽引する拠点として、非日常機能は優先的に誘導 ・拠点性の向上と強化のため、柏駅西口北地区での市街地再開発事業や、柏の葉キャンパス駅周辺の土地区画整理事業等のプロジェクトと連携した都市機能の誘導を図る		・南部の中心拠点として、支所を中心に、日常生活に求められる機能を誘導（生活拠点と同程度）	・鉄 重 能 ・柏 区 導
都市機能	行政機能	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	
	介護福祉機能	地域包括支援セン 在宅医療・介護サービス 通 訪 短			
	子育て機能				
	商業機能	ショッピングモール系商業施設（百貨店等）			
	医療機能	病　院			
	金融機能	銀　行			
	教育・文化機能	図書館（本館） 文化会館 中央公民館 義務教育学校		文化交流施設（ホール・公民館	

旧

4）拠点毎の都市機能誘導の方向性

前項での「拠点集積型施設」と「適正配置型施設」での分類を踏まえ、拠点毎の都市機能誘導の方向性を踏まえて

■ **拠点毎の対象施設の配置の考え方**

位　置		都市拠点		ふれあい交流拠点	
対象箇所		①柏駅	②柏の葉キャンパス駅	①沼南支所	①柏たな ③北柏 ⑥増尾
都市機能の誘導の方向性		・市内を牽引する拠点として、非日常機能は優先的に誘導 ・拠点性の向上と強化のため、柏駅西口北地区での市街地再開発事業や、柏の葉キャンパス駅周辺の土地区画整理事業等のプロジェクトと連携した都市機能の誘導を図る		・南部の中心拠点として、支所を中心に、日常生活に求められる機能を誘導（生活拠点と同程度）	・鉄道駅 重視し 能を誘 ・柏たな 区画整 導を図
都市機能	行政機能	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	
	介護福祉機能	地域包括支援センター 在宅医療・介護サービス拠点 通所系 訪問系 短期入所			
	子育て機能				
	商業機能	ショッピングモール系商業施設（百貨店等） スー コ			
	医療機能	病　院			
	金融機能	銀　行			
	教育・文化機能	図書館（本館） 文化会館 中央公民館		文化交流施設（ホール・公民館・近隣	

新旧対照表

新

5－4　誘導施設の設定内容

前項の誘導施設の設定方針を踏まえ、拠点毎の「誘導施設」を次ページのとおり設定します。
なお、各施設の定義については、以下のとおりです。

■ 各施設の定義

機能		施設	定義
拠点集積型施設	行政機能	市役所（本庁舎）	地方自治法第4条第1項に規定する施設
		行政施設	行政窓口等の支所と同等のサービスを提供する施設
		市役所（支所）	地方自治法第155条第1項に規定する施設
	介護福祉機能	地域包括支援センター	介護保険法第115条の46第1項に規定する施設
		在宅医療・介護サービス拠点施設	小規模多機能型居宅介護や24時間訪問介護看護(定期巡回サービス)と柏市の在宅医療ネットワークが連携してサービスを提供できる施設
		サービス付き高齢者向け住宅	高齢者の居住の安定確保に関する法律の基準により登録される施設
	商業機能	ショッピングモール系商業施設	大規模小売店立地法第2条第2項に規定する店舗面積10,000㎡以上の商業施設（共同店舗・複合施設含む）
		スーパーマーケット系商業施設	大規模小売店立地法第2条第2項に規定する店舗面積1,000㎡以上10,000㎡未満の商業施設で、生鮮食料品を取り扱う施設
	医療機能	病　院	医療法第1条の5に規定する病院
	金融機能	銀　行	銀行法第2条に規定する銀行
	教育・文化機能	図書館（本館）	柏市立図書館条例第2条第1項に規定する図書館
		文化会館	柏市民文化会館条例第2条に基づく文化会館
		中央公民館	柏市公民館条例第2条に基づく公民館
		義務教育学校	学校教育法第1条に規定する義務教育学校
		文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター等）	主に地区住民の交流を目的として、文化・交流の活動を支える集会室等を有した施設
適正配置型施設	介護福祉機能	通所系施設（デイサービス等）	老人福祉法及び介護保険法に定める施設であって、通所を目的とする施設
		訪問系施設（訪問介護・看護等）	老人福祉法及び介護保険法に定める施設であって、訪問を目的とする施設
		短期入所系施設（ショートステイ等）	老人福祉法及び介護保険法に定める施設であって、短期入所を目的とする施設
	子育て機能	保育園	児童福祉法第39条第1項に規定する保育所
		認定こども園	就業前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項に規定する認定こども園
		幼稚園	学校教育法第1条に規定する幼稚園
	商業機能	コンビニエンスストア	飲食料品を取り扱っており、売場面積30㎡以上250㎡未満で、営業時間が1日14時間以上のセルフサービス方式の販売店(統計法における基幹統計調査である商業統計調査での定義を適用)
	医療機能	診療所	医療法第1条の5に規定する診療所のうち、内科・外科・小児科のいずれかを診療科目としているもの
	金融機能	郵便局	日本郵便株式会社法第2条第4項に規定する郵便局
		ATM	現金の引出・振込・預入について、無人のサービス対応が可能なATM設置箇所（銀行ATMコーナー、コンビニエンスストア等）

旧

5－4　誘導施設の設定内容

前項の誘導施設の設定方針を踏まえ、拠点毎の「誘導施設」を次ページのとおり設定します。
なお、各施設の定義については、以下のとおりです。

■ 各施設の定義

機能		施設	定義
拠点集積型施設	行政機能	市役所（本庁舎）	地方自治法第4条第1項に規定する施設
		行政施設	行政窓口等の支所と同等のサービスを提供する施設
		市役所（支所）	地方自治法第155条第1項に規定する施設
	介護福祉機能	地域包括支援センター	介護保険法第115条の46第1項に規定する施設
		在宅医療・介護サービス拠点施設	小規模多機能型居宅介護や24時間訪問介護看護(定期巡回サービス)と柏市の在宅医療ネットワークが連携してサービスを提供できる施設
		サービス付き高齢者向け住宅	高齢者の居住の安定確保に関する法律の基準により登録される施設
	商業機能	ショッピングモール系商業施設	大規模小売店立地法第2条第2項に規定する店舗面積10,000㎡以上の商業施設（共同店舗・複合施設含む）
		スーパーマーケット系商業施設	大規模小売店立地法第2条第2項に規定する店舗面積1,000㎡以上10,000㎡未満の商業施設で、生鮮食料品を取り扱う施設
	医療機能	病　院	医療法第1条の5に規定する病院
	金融機能	銀　行	銀行法第2条に規定する銀行
	教育・文化機能	図書館（本館）	柏市立図書館条例第2条第1項に規定する図書館
		文化会館	柏市民文化会館条例第2条に基づく文化会館
		中央公民館	柏市公民館条例第2条に基づく公民館
		文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター等）	主に地区住民の交流を目的として、文化・交流の活動を支える集会室等を有した施設
適正配置型施設	介護福祉機能	通所系施設（デイサービス等）	老人福祉法及び介護保険法に定める施設であって、通所を目的とする施設
		訪問系施設（訪問介護・看護等）	老人福祉法及び介護保険法に定める施設であって、訪問を目的とする施設
		短期入所系施設（ショートステイ等）	老人福祉法及び介護保険法に定める施設であって、短期入所を目的とする施設
	子育て機能	保育園	児童福祉法第39条第1項に規定する保育所
		認定こども園	就業前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項に規定する認定こども園
		幼稚園	学校教育法第1条に規定する幼稚園
	商業機能	コンビニエンスストア	飲食料品を取り扱っており、売場面積30㎡以上250㎡未満で、営業時間が1日14時間以上のセルフサービス方式の販売店(統計法における基幹統計調査である商業統計調査での定義を適用)
	医療機能	診療所	医療法第1条の5に規定する診療所のうち、内科・外科・小児科のいずれかを診療科目としているもの
	金融機能	郵便局	日本郵便株式会社法第2条第4項に規定する郵便局
		ATM	現金の引出・振込・預入について、無人のサービス対応が可能なATM設置箇所（銀行ATMコーナー、コンビニエンスストア等）

新旧対照表

新

【各都市機能誘導区域の誘導施設一覧】

■「拠点集積型施設」に分類される施設

機能	施設	都市拠点		ふれあい交流				
		柏駅	柏の葉キャンパス駅	沼南支所	柏たなか駅	豊四季駅	北柏駅	南
	該当の中圏域	中央1・2	北部1	東部	北部1	中央1	北部2	中南
行政機能	市役所(本庁舎)	○						
	行政施設		◎					
	市役所(支所)			○				
介護福祉機能	地域包括支援センター ※7地域毎に1箇所程度	○	○					
	在宅医療・介護サービス拠点施設 ※7地域毎に1箇所程度			◎				
	サービス付き高齢者向け住宅							
子育て機能	(拠点集積型施設は無し)							
商業機能	ショッピングモール系商業施設	◎	◎					
	スーパーマーケット系商業施設			○	◎	◎	◎	
医療機能	病 院	○	○					
金融機能	銀 行	○	○	○	◎	○	◎	
教育・文化機能	図書館(本館)	○						
	文化会館	◎						
	中央公民館	○						
	義務教育学校	◎						
	文化交流施設 (ホール・公民館・近隣センター等) ※20コミュニティ毎に1箇所程度	◎	◎	○	◎			

■「適正配置型施設」に分類される施設

機能	施設	都市拠点		ふれあい交流				
		柏駅	柏の葉キャンパス駅	沼南支所周辺	柏たなか駅	豊四季駅	北柏駅	南
	該当の中圏域	中央1・2	北部1	東部	北部1	中央1	北部2	中南
行政機能	(適正配置型施設は無し)							
介護福祉機能	通所系施設(デイサービス等)							
	訪問系施設(訪問介護・看護等)							
	短期入所系施設(ショートステイ等)							
子育て機能	保育園	◎	◎		◎	◎	◎	
	認定こども園							
	幼稚園							
商業機能	コンビニエンスストア							
医療機能	診療所							
金融機能	郵便局							
	ATM							
教育・文化機能	(適正配置型施設は無し)							

旧

【各都市機能誘導区域の誘導施設一覧】

■「拠点集積型施設」に分類される施設

機能	施設	都市拠点		ふれあい交流				生
		柏駅	柏の葉キャンパス駅	沼南支所	柏たなか駅	豊四季駅	北柏駅	南柏駅
	該当の中圏域	中央1・2	北部1	東部	北部1	中央1	北部2	中央1 南部2
行政機能	市役所(本庁舎)	○						
	行政施設		◎					
	市役所(支所)			○				
介護福祉機能	地域包括支援センター ※7地域毎に1箇所程度	○	○					
	在宅医療・介護サービス拠点施設 ※7地域毎に1箇所程度			◎				
	サービス付き高齢者向け住宅							
子育て機能	(拠点集積型施設は無し)							
商業機能	ショッピングモール系商業施設	◎	◎					
	スーパーマーケット系商業施設			○	◎	◎	◎	○
医療機能	病 院	○	○					
金融機能	銀 行	○	○	○	◎	○	◎	○
教育・文化機能	図書館(本館)	○						
	文化会館	◎						
	中央公民館	○						
	文化交流施設 (ホール・公民館・近隣センター等) ※20コミュニティ毎に1箇所程度	◎	◎	○	◎			

■「適正配置型施設」に分類される施設

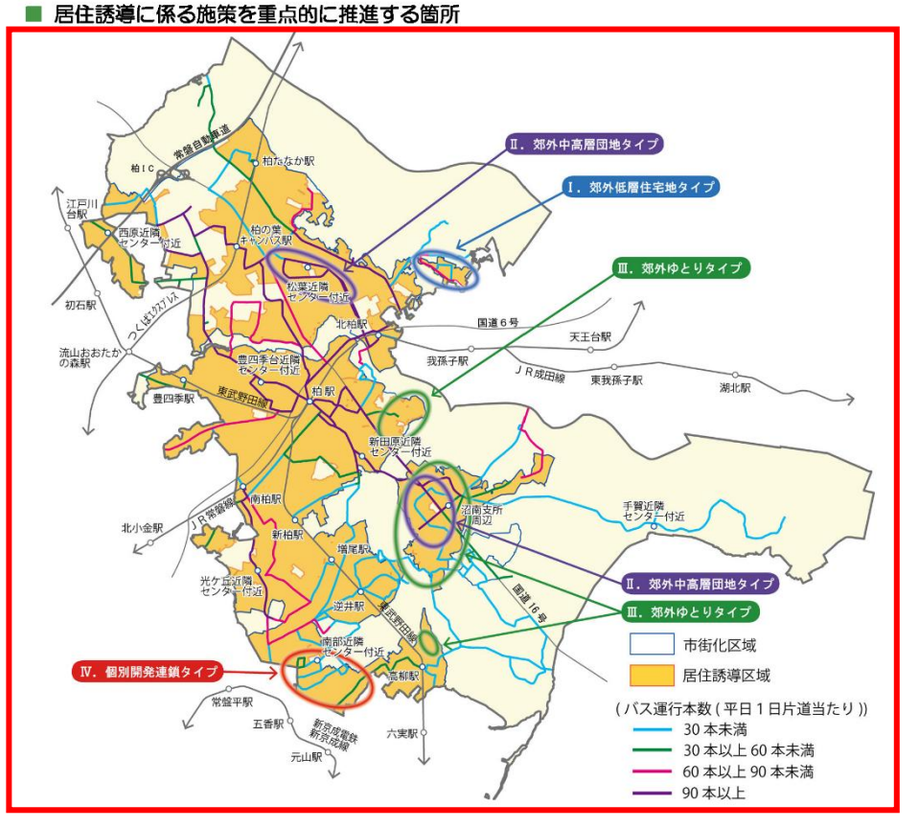
機能	施設	都市拠点		ふれあい交流				生
		柏駅	柏の葉キャンパス駅	沼南支所周辺	柏たなか駅	豊四季駅	北柏駅	南柏駅
	該当の中圏域	中央1・2	北部1	東部	北部1	中央1	北部2	中央1 南部2
行政機能	(適正配置型施設は無し)							
介護福祉機能	通所系施設(デイサービス等)							
	訪問系施設(訪問介護・看護等)							
	短期入所系施設(ショートステイ等)							
子育て機能	保育園	◎	◎		◎	◎	◎	◎
	認定こども園							
	幼稚園							
商業機能	コンビニエンスストア							
医療機能	診療所							
金融機能	郵便局							
	ATM							
教育・文化機能	(適正配置型施設は無し)							

新旧対照表

新

本計画（当初計画）では、以下の箇所を先行して施策を推進します。

■ **居住誘導に係る施策を重点的に推進する箇所**



■ **タイプ分類別の状況**

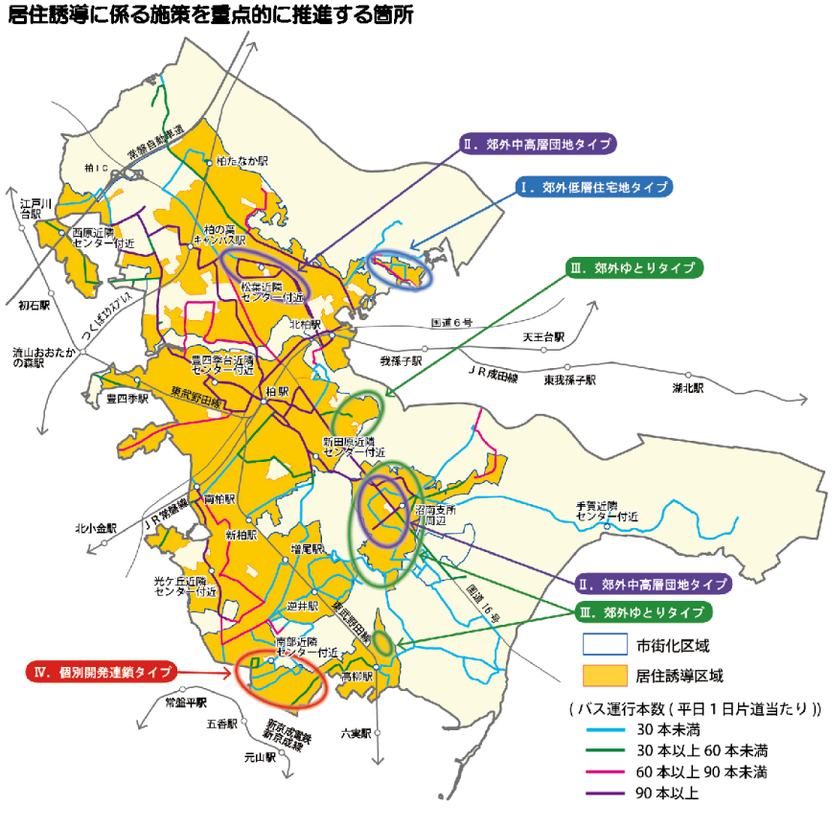
タイプ分類	対象箇所の状況
Ⅰ．郊外低層住宅地タイプ	・昭和40～50年代にかけて整備された良好な住環境を備えた一団の低層住宅地であり、その時期に一斉に入居した世代が高齢期を迎えている傾向にあるため、他の地域と比べて高齢化率が高くなっています。
Ⅱ．郊外中高層団地タイプ	・昭和50年代にて整備されたUR団地が立地している地区であり、Ⅰと同様に、その時期に一斉に入居した世代が高齢期を迎えている傾向にあるため、他の地域と比べて高齢化率が高くなっています。
Ⅲ．郊外ゆとりタイプ	・市街化区域内であるものの、農地等の自然的な土地利用が多く存在している地区です。近年は都市農地等の在り方も見直されているため、地区の特色も活かしながら、住環境形成を行うことが考えられます。（例：生産緑地地区が多い地区等）
Ⅳ．個別開発連鎖タイプ	・昭和40年代以降、小規模開発の積み重ねで住宅街となっていった地区であり、他の地域と比べ、人口密度がやや高く、道路の幅が狭く入り組んでいます。

※Ⅲ．郊外ゆとりタイプについては、今後、居住誘導区域外での都市農地等の法制度・税制等のインセンティブにより施策効果が期待される場合、居住誘導区域の見直し検討を行います。

旧

本計画（当初計画）では、以下の箇所を先行して施策を推進します。

■ **居住誘導に係る施策を重点的に推進する箇所**



■ **タイプ分類別の状況**

タイプ分類	対象箇所の状況
Ⅰ．郊外低層住宅地タイプ	・昭和40～50年代にかけて整備された良好な住環境を備えた一団の低層住宅地であり、その時期に一斉に入居した世代が高齢期を迎えている傾向にあるため、他の地域と比べて高齢化率が高くなっています。
Ⅱ．郊外中高層団地タイプ	・昭和50年代にて整備されたUR団地が立地している地区であり、Ⅰと同様に、その時期に一斉に入居した世代が高齢期を迎えている傾向にあるため、他の地域と比べて高齢化率が高くなっています。
Ⅲ．郊外ゆとりタイプ	・市街化区域内であるものの、農地等の自然的な土地利用が多く存在している地区です。近年は都市農地等の在り方も見直されているため、地区の特色も活かしながら、住環境形成を行うことが考えられます。（例：生産緑地地区が多い地区等）
Ⅳ．個別開発連鎖タイプ	・昭和40年代以降、小規模開発の積み重ねで住宅街となっていった地区であり、他の地域と比べ、人口密度がやや高く、道路の幅が狭く入り組んでいます。

※Ⅲ．郊外ゆとりタイプについては、今後、居住誘導区域外での都市農地等の法制度・税制等のインセンティブにより施策効果が期待される場合、居住誘導区域の見直し検討を行います。

新旧対照表

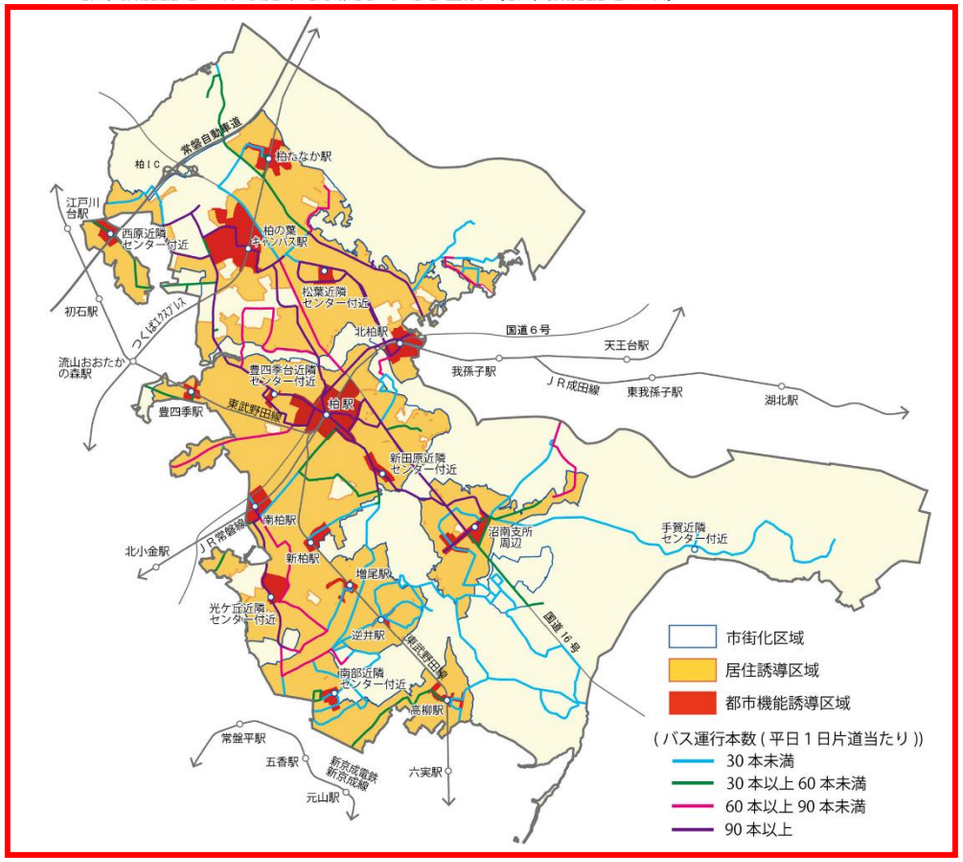
新

（２）都市機能誘導に係る施策設定の考え方

都市機能誘導については、土地区画整理事業や再開発事業等の都市整備事業に併せた商業施設や子育て施設等の誘導、柏市いきいきプランに伴う福祉施設の立地誘導、立地適正化計画に併せて創設された各種支援制度と民間開発の機会との連携した誘導が考えられます。

また、都市機能を誘導し、拠点性が向上することによって利用者のニーズが生じ、公共交通の需要も高まるものと考えられるため、都市機能誘導と併せ、多くの人が集い交流が可能となる利便性の高い空間の創出も図っていきます。

■ **都市機能誘導に係る施策を展開する対象箇所（都市機能誘導区域）**



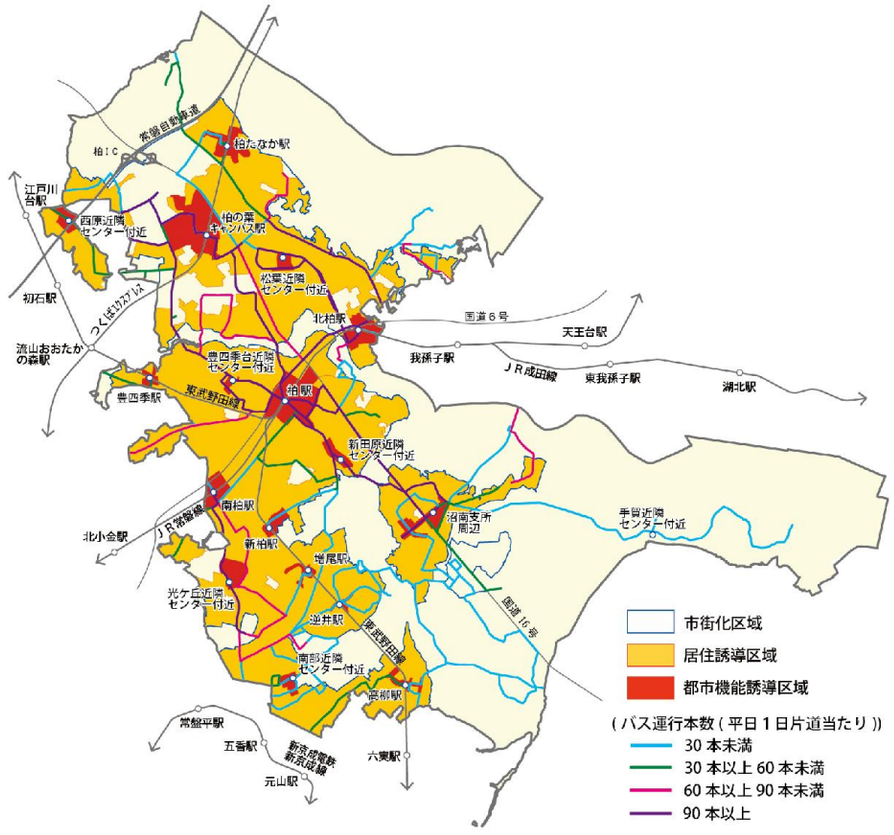
旧

（２）都市機能誘導に係る施策設定の考え方

都市機能誘導については、土地区画整理事業や再開発事業等の都市整備事業に併せた商業施設や子育て施設等の誘導、柏市いきいきプランに伴う福祉施設の立地誘導、立地適正化計画に併せて創設された各種支援制度と民間開発の機会との連携した誘導が考えられます。

また、都市機能を誘導し、拠点性が向上することによって利用者のニーズが生じ、公共交通の需要も高まるものと考えられるため、都市機能誘導と併せ、多くの人が集い交流が可能となる利便性の高い空間の創出も図っていきます。

■ **都市機能誘導に係る施策を展開する対象箇所（都市機能誘導区域）**



新旧対照表

新

第1章 第2章 第3章 第4章 第5章 第6章 第7章 第8章 参考資料

※施策の番号は後項(p.85～p.97)と対応

施　策	対応箇所
◆マッチング制度等を利用した空地活用施策の推進【居住1】 ◆空家の管理･活用施策の推進【居住2】 ◆移住･住み替え支援施策の推進【居住3】	Ⅰ. 郊外低層住宅地タイプ
◆移住･住み替え支援施策の推進【居住3】 ◆団地ストック等の活用･再編施策の推進【居住4】 ◆安心で健康に暮らせる住環境整備【居住5】	Ⅱ. 郊外中高層団地タイプ
◆マッチング制度等を活用した空地活用施策の推進【居住1】 ◆空地等を利用した基盤整備の推進【居住6】	Ⅳ. 個別開発連鎖タイプ
◆都市農地活用等を含めた適正な空地コントロール【居住7】	Ⅲ. 郊外ゆとりタイプ
◆市街地再開発事業等の進捗に合わせた都市機能の誘導【都市1】 ◆柏駅周辺における歩いて暮らせるまちづくりの推進【都市2】 ◆中心市街地における学校施設の整備を通じた都市機能の向上【都市3】	（都市機能誘導区域） 柏駅周辺地区
◆柏の葉国際キャンパスタウン構想の具現化【都市4】	（都市機能誘導区域） **柏の葉キャンパス駅周辺地区**
◆土地区画整理事業の進捗に合わせた生活拠点への都市機能の誘導【都市5】	（都市機能誘導区域） 柏たなか駅周辺地区 北柏駅周辺地区
◆地域包括ケアシステムの具現化（在宅医療･介護サービス拠点整備推進）【都市6】 ◆空地･空家を活用した施設（高齢者が集う場所）の適正配置【都市7】	暮らしの小拠点
◆立地許可基準や都市計画の見直しに基づく生活利便施設の拠点等への適切な誘導【都市8】	Ⅰ. 郊外低層住宅地タイプ Ⅳ. 個別開発連鎖タイプ
◆利便性を向上させる公共交通網の構築【交通1】	市内全域
◆交通結節点の強化に資する駅前広場の整備【交通2】	生活拠点
◆拠点形成と連動した転回広場等の交通環境整備【交通4】	暮らしの小拠点
◆バスや乗合ジャンボタクシーのルート再編【交通3】	暮らしの小拠点

旧

第1章 第2章 第3章 第4章 第5章 第6章 第7章 第8章 参考資料

※施策の番号は後項(p.85～p.97)と対応

施　策	対応箇所
◆マッチング制度等を利用した空地活用施策の推進【居住1】 ◆空家の管理･活用施策の推進【居住2】 ◆移住･住み替え支援施策の推進【居住3】	Ⅰ. 郊外低層住宅地タイプ
◆移住･住み替え支援施策の推進【居住3】 ◆団地ストック等の活用･再編施策の推進【居住4】 ◆安心で健康に暮らせる住環境整備【居住5】	Ⅱ. 郊外中高層団地タイプ
◆マッチング制度等を活用した空地活用施策の推進【居住1】 ◆空地等を利用した基盤整備の推進【居住6】	Ⅳ. 個別開発連鎖タイプ
◆都市農地活用等を含めた適正な空地コントロール【居住7】	Ⅲ. 郊外ゆとりタイプ
◆市街地再開発事業等の進捗に合わせた都市機能の誘導【都市1】 ◆柏駅周辺における歩いて暮らせるまちづくりの推進【都市2】	（都市機能誘導区域） 柏駅周辺地区
◆柏の葉国際キャンパスタウン構想の具現化【都市3】	（都市機能誘導区域） **柏の葉キャンパス駅周辺地区**
◆土地区画整理事業の進捗に合わせた生活拠点への都市機能の誘導【都市4】	（都市機能誘導区域） 柏たなか駅周辺地区 北柏駅周辺地区
◆地域包括ケアシステムの具現化（在宅医療･介護サービス拠点整備推進）【都市5】 ◆空地･空家を活用した施設（高齢者が集う場所）の適正配置【都市6】	暮らしの小拠点
◆立地許可基準や都市計画の見直しに基づく生活利便施設の拠点等への適切な誘導【都市7】	Ⅰ. 郊外低層住宅地タイプ Ⅳ. 個別開発連鎖タイプ
◆利便性を向上させる公共交通網の構築【交通1】	市内全域
◆交通結節点の強化に資する駅前広場の整備【交通2】	生活拠点
◆拠点形成と連動した転回広場等の交通環境整備【交通4】	暮らしの小拠点
◆バスや乗合ジャンボタクシーのルート再編【交通3】	暮らしの小拠点

新旧対照表

新

2）都市機能誘導に係る施策

【都市１】市街地再開発事業等の進捗に合わせた都市機能の誘導（柏駅周辺）

取組施策

・本市の中心市街地である柏駅は、千葉県北西部の広域商業の拠点として発展してきましたが、つくばエクスプレス沿線開発や、郊外型ショッピングセンター等の商業施設との競合による吸引力の低下が見られ、柏駅における大型商業施設の撤退等、商業全体の売り上げも減少しています。

・「中心市街地活性化基本計画」の施策を展開し、幅広い年齢層に支持される広域商業拠点としての機能充実に加え、地域の拠点としての機能を付加し、多様な都市機能が集積したにぎわいのあるまちづくりの形成を図ります。

・柏駅東口駅前の再整備や柏駅周辺の市街地再開発事業等の面的な市街地の更新により、低未利用地や狭あい道路、交通広場等の改善を図り、中心市街地としてふさわしい商業・業務機能をはじめ、医療・福祉・子育て・教育・文化等生活サービス機能の充実に向け、都市機能の適切な誘導を図ります。

【柏駅西口北地区の将来像】



出典：柏駅西口北地区街区整備計画

対象地区　✓ 柏駅周辺

【都市２】柏駅周辺における歩いて暮らせるまちづくりの推進

取組施策

・柏駅周辺は、大型商業施設の立地による集客力と、その周辺に広がる個店等の集積による魅力により、柏の地域ブランドを形成しています。

・今後も、広域商業拠点として持続的に発展していくためには、街の魅力度とポテンシャルの向上は不可欠となっています。

・「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」等により、歩行者が歩きやすく、居心地の良さを感じる歩行者空間へ現在の道路空間を再構成し、歩行者を優先した空間に作り直す等、歩行者優先の道路ネットワーク形成を推進します。

【「通り」を中心とした柏駅周辺の整備計画】



出典：柏駅周辺まちづくり10カ年計画

対象地区　✓ 柏駅周辺

旧

2）都市機能誘導に係る施策

【都市１】市街地再開発事業等の進捗に合わせた都市機能の誘導（柏駅周辺）

取組施策

・本市の中心市街地である柏駅は、千葉県北西部の広域商業の拠点として発展してきましたが、つくばエクスプレス沿線開発や、郊外型ショッピングセンター等の商業施設との競合による吸引力の低下が見られ、柏駅における大型商業施設の撤退等、商業全体の売り上げも減少しています。

・「中心市街地活性化基本計画」の施策を展開し、幅広い年齢層に支持される広域商業拠点としての機能充実に加え、地域の拠点としての機能を付加し、多様な都市機能が集積したにぎわいのあるまちづくりの形成を図ります。

・市街地再開発事業等の面的な市街地の更新の際には、低未利用地や狭あい道路等の改善を図り、中心市街地としてふさわしい商業・業務機能をはじめ、医療・福祉・子育て・教育・文化等生活サービス機能の充実に向け、都市機能の適切な誘導を図ります。 【柏駅西口北地区の将来像】



出典：柏駅西口北地区街区整備計画

対象地区　✓ 柏駅周辺

【都市２】柏駅周辺における歩いて暮らせるまちづくりの推進

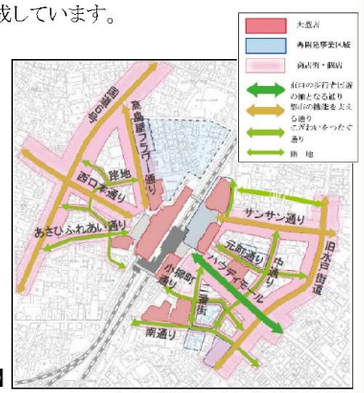
取組施策

・柏駅周辺は、大型商業施設の立地による集客力と、その周辺に広がる個店等の集積による魅力により、柏の地域ブランドを形成しています。

・今後も、広域商業拠点として持続的に発展していくためには、街の魅力度とポテンシャルの向上は不可欠となっています。

・「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」等により、歩行者が歩きやすく、居心地の良さを感じる歩行者空間へ現在の道路空間を再構成し、歩行者を優先した空間に作り直す等、歩行者優先の道路ネットワーク形成を推進します。

【「通り」を中心とした柏駅周辺の整備計画】



出典：柏駅周辺まちづくり10カ年計画

対象地区　✓ 柏駅周辺

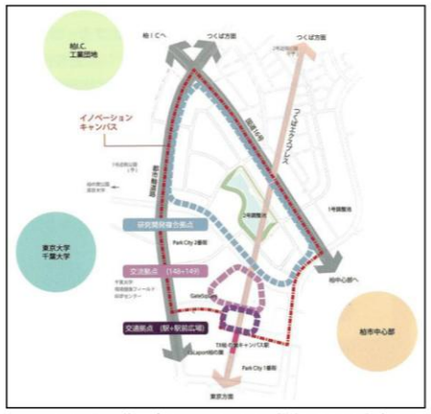
新旧対照表

新

【都市３】中心市街地における学校施設の整備を通じた都市機能の向上

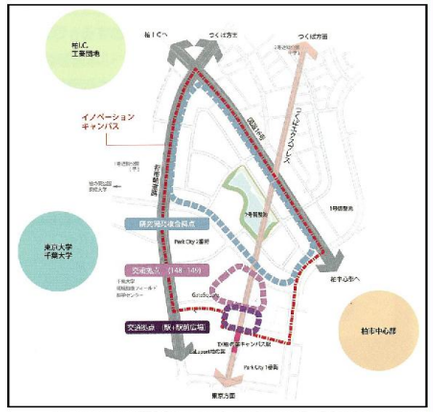
取組施策	・本市では、子どもたちにとってより良い教育環境を確保するとともに、これからの時代に求められる質の高い教育を実現するため、令和7年3月に「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」を策定し、9年間の義務教育を見通した系統性・連続性のある教育を行う小中一貫教育を全市的に推進しています。 ・小中一貫教育を推進する中で、柏駅周辺地区においては、教育課程上の柔軟な対応が可能となる施設一体型の学校として、本市初となる義務教育学校の整備を進めます。これにより、教育環境の充実と教育機能の集約による効率的な施設運営を図るとともに、地域交流の拠点として、地域の活性化に寄与することを目指します。 ・義務教育学校整備に当たっては、避難所機能の強化や帰宅困難者の受入環境の充実など、中心市街地における多面的な防災機能の強化を図ります。あわせて、通学路の安全対策を一体的に推進することで、学校周辺における安全で快適な歩行空間の形成を図ります。  出典：柏市資料
対象地区	✓ 柏駅周辺

【都市４】柏の葉国際キャンパスタウン構想の具現化（柏の葉キャンパス駅）

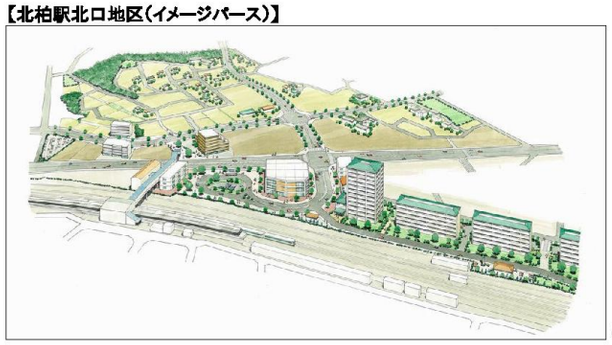
取組施策	・柏の葉キャンパス駅周辺については、大学や公的研究機関等が多く立地しているポテンシャルを活かし、地域の関係者である千葉県・柏市・大学・民間企業・市民・NPO等が連携・協働して、自立した都市づくりを具体的に実践するための構想として、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」が策定されています。 ・この構想では、研究開発施設等の産業・業務施設の誘致を目指すこと等が掲げられており、土地区画整理事業の着実な進捗に合わせた施設の立地誘導も進められています。 ・今後も、この構想に基づく研究開発・業務施設の誘導と併せた都市機能の誘導を図りながら、柏駅周辺とは違った都市拠点「国際学術研究都市・次世代環境都市」の形成を図ります。 **【イノベーション・キャンパス構想】**  出典：柏の葉国際キャンパスタウン構想・2014充実化版
対象地区	✓ 柏の葉キャンパス駅周辺

旧

【都市３】柏の葉国際キャンパスタウン構想の具現化（柏の葉キャンパス駅）

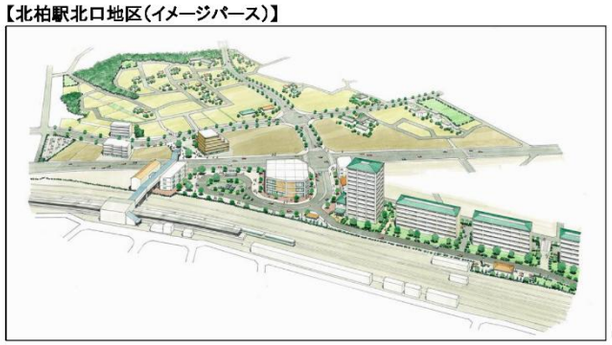
取組施策	・柏の葉キャンパス駅周辺については、大学や公的研究機関等が多く立地しているポテンシャルを活かし、地域の関係者である千葉県・柏市・大学・民間企業・市民・NPO等が連携・協働して、自立した都市づくりを具体的に実践するための構想として、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」が策定されています。 ・この構想では、研究開発施設等の産業・業務施設の誘致を目指すこと等が掲げられており、土地区画整理事業の着実な進捗に合わせた施設の立地誘導も進められています。 ・今後も、この構想に基づく研究開発・業務施設の誘導と併せた都市機能の誘導を図りながら、柏駅周辺とは違った都市拠点「国際学術研究都市・次世代環境都市」の形成を図ります。 **【イノベーション・キャンパス構想】**  出典：柏の葉国際キャンパスタウン構想・2014充実化版
対象地区	✓ 柏の葉キャンパス駅周辺

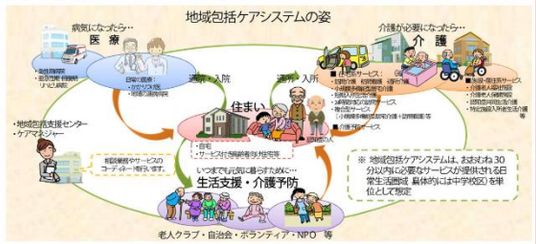
【都市４】土地区画整理事業の進捗に合わせた生活拠点への都市機能の誘導（柏たなか駅周辺、北柏駅周辺）

取組施策	・本市では、これまでに、32地区の土地区画整理事業が完了し、延べ 1,019ha にて良好な宅地の供給や、商業施設等の立地を誘導してきました。 ・現時点においても、3地区にて施行中です。（市：1地区、県：1地区、組合：1地区） ・特に、柏たなか駅周辺のTX沿線、北柏駅周辺の2箇所の拠点については、都市計画制度の活用や、行政所有地の活用等による施設の立地誘導も行いながら、都市機能の誘導を図っていきます。 **【北柏駅北口地区（イメージパース）】**  出典：柏市資料
対象地区	✓ 柏たなか駅周辺、北柏駅周辺

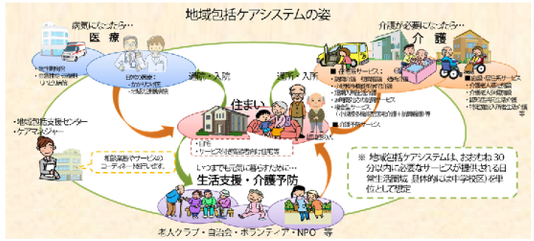
新旧対照表

新

【都市５】土地区画整理事業の進捗に合わせた生活拠点への都市機能の誘導（柏たなか駅周辺、北柏駅周辺）	
取組施策	・本市では、これまでに、32地区の土地区画整理事業が完了し、延べ 1,019ha にて良好な宅地の供給や、商業施設等の立地を誘導してきました。 ・現時点においても、3地区にて施行中です。（市：1地区、県：1地区、組合：1地区） ・特に、柏たなか駅周辺のTX沿線、北柏駅周辺の2箇所の拠点については、都市計画制度の活用や、行政所有地の活用等による施設の立地誘導も行いながら、都市機能の誘導を図っていきます。 **【北柏駅北口地区（イメージパース）】**  出典：柏市資料
対象地区	✓ 柏たなか駅周辺、北柏駅周辺

【都市６】地域包括ケアシステムの具現化（在宅医療・介護サービス拠点整備推進）（暮らしの小拠点）	
取組施策	・「暮らしの小拠点」については、日常生活圏域における地域包括ケアシステムを支える拠点機能として、「在宅医療・介護サービス拠点」を都市機能誘導施設に設定し、立地誘導を図ります。 ・また、同小拠点に、「サービス付き高齢者向け住宅」等の高齢者向け住宅の立地を誘導することにより、公共交通を利用しやすい環境への住み替えを図る等、住まいの多様性を促進します。 **【地域包括ケアシステムの姿】**  出典：厚生労働省HP
対象地区	・暮らしの小拠点のうち、日常生活圏域毎の必要な箇所にて立地誘導・整備を進めていきます。 ✓ 暮らしの小拠点

旧

【都市５】地域包括ケアシステムの具現化（在宅医療・介護サービス拠点整備推進）（暮らしの小拠点）	
取組施策	・「暮らしの小拠点」については、日常生活圏域における地域包括ケアシステムを支える拠点機能として、「在宅医療・介護サービス拠点」を都市機能誘導施設に設定し、立地誘導を図ります。 ・また、同小拠点に、「サービス付き高齢者向け住宅」等の高齢者向け住宅の立地を誘導することにより、公共交通を利用しやすい環境への住み替えを図る等、住まいの多様性を促進します。 **【地域包括ケアシステムの姿】**  出典：厚生労働省HP
対象地区	・暮らしの小拠点のうち、日常生活圏域毎の必要な箇所にて立地誘導・整備を進めていきます。 ✓ 暮らしの小拠点

【都市６】空地・空家を活用した施設（高齢者が集う場所）の適正配置（暮らしの小拠点）	
取組施策	※「【居住2】空家の管理・活用施策の推進」と同様
対象地区	・主に、「暮らしの小拠点」を中心とした地域包括ケアシステムの構築と連携しながら、施設誘導を進めていきます。 ✓ 暮らしの小拠点

【都市７】立地許可基準や都市計画の見直しに基づく生活利便施設の拠点等への適切な誘導	
取組施策	・日常生活において、高齢者等を含む誰もが利便性の高い住環境を享受出来るためには、コンビニエンスストア等の日常生活の利便性に寄与する施設が自宅からの徒歩圏に立地している状況が望まれます。 ・これまで、主に郊外低層住宅地等においては、その大半にて、第一種低層住居専用地域の用途地域を指定し、良好な住環境の維持に努めてきた一方で、それらの地域では、コンビニエンスストアの立地は認めてきませんでした。 ・また、国では、平成 28 年 8 月に、当該地域にて良好な住居の環境を害するおそれがないと認められる場合は、各自治体の判断により、立地を許容できる旨の技術的助言が行われました。 ・本市でも、原則はこれまでとおり、良好な低層住宅地の維持に努めることとしますが、著しい高齢化や人口減少に伴う地域の小拠点やバス交通沿道の地理的状況、各種施設の立地状況等を総合的に勘案した上で、立地の許容や都市計画の見直しを行い、誘導を行うことで、居住地としての持続性を高めていきます。
対象地区	・地区の大半にて、第一種低層住居専用地域が指定され、そのことにより、コンビニエンスストア等の立地が見られない、施策を重点的に推進する地区にて、具体に検討していきます。 ✓ Ⅰ．郊外低層住宅地タイプ ✓ Ⅳ．個別開発連鎖タイプ

新旧対照表

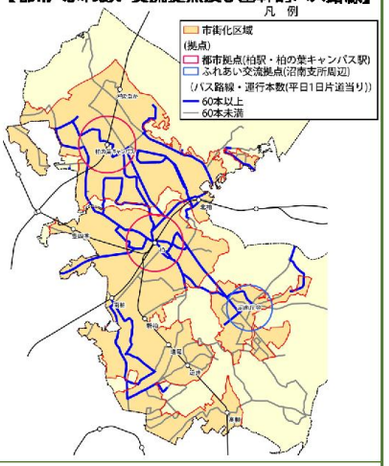
新

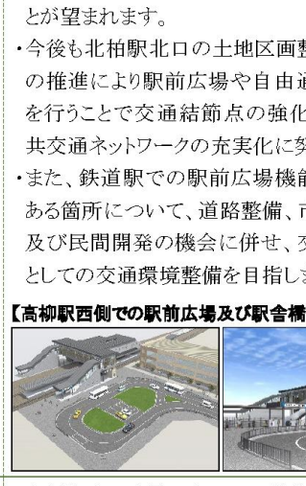
【都市７】空地・空家を活用した施設（高齢者が集う場所）の適正配置（暮らしの小拠点）	
取組施策	※「【居住2】空家の管理・活用施策の推進」と同様
対象地区	・主に、「暮らしの小拠点」を中心とした地域包括ケアシステムの構築と連携しながら、施設誘導を進めていきます。 ✓ 暮らしの小拠点

【都市８】立地許可基準や都市計画の見直しに基づく生活利便施設の拠点等への適切な誘導	
取組施策	・日常生活において、高齢者等を含む誰もが利便性の高い住環境を享受出来るためには、コンビニエンスストア等の日常生活の利便性に寄与する施設が自宅からの徒歩圏に立地している状況が望まれます。 ・これまで、主に郊外低層住宅地等においては、その大半にて、第一種低層住居専用地域の用途地域を指定し、良好な住環境の維持に努めてきた一方で、それらの地域では、コンビニエンスストアの立地は認めてきませんでした。 ・また、国では、平成 28 年 8 月に、当該地域にて良好な住居の環境を害するおそれがないと認められる場合は、各自治体の判断により、立地を許容できる旨の技術的助言が行われました。 ・本市でも、原則はこれまでとおり、良好な低層住宅地の維持に努めることとしますが、著しい高齢化や人口減少に伴う地域の小拠点やバス交通沿道の地理的状況、各種施設の立地状況等を総合的に勘案した上で、立地の許容や都市計画の見直しを行い、誘導を行うことで、居住地としての持続性を高めていきます。
対象地区	・地区の大半にて、第一種低層住居専用地域が指定され、そのことにより、コンビニエンスストア等の立地が見られない、施策を重点的に推進する地区にて、具体に検討していきます。 ✓ Ⅰ. 郊外低層住宅地タイプ ✓ Ⅳ. 個別開発連鎖タイプ

旧

3）公共交通に係る施策

【交通１】利便性を向上させる公共交通網の構築	
取組施策	・現在の基幹となるバス路線（1日片道60本以上等）について、本計画の都市機能の適正配置や施策推進による世代構成バランスの確保、さらには、「柏市地域公共交通網形成計画」の施策と連携することにより、バス停利用圏の居住環境を維持し、地域特性を踏まえて公共交通路線の持続を【都市・ふれあい交流拠点及び基幹的バス路線】図ります。 ・柏駅、柏の葉キャンパス駅の「都市拠点」、沼南支所周辺の「ふれあい交流拠点」については、日常的な都市機能の他、各施策を展開することで、広域商業拠点、学術・産業創出、レクリエーション等の異なる性格の拠点性を高め、非日常的な結びつき（＝移動）を創出します。 ・特に、第3章の公共交通ネットワークの方針で示したように、これらの3拠点間を結ぶ「公共交通軸」では、都市機能誘導や誘導施策の推進による拠点性の向上と併せ、公共交通事業者と連携して、速達性・定時性・機能性の向上を目指します。 
対象地区	✓ 市内全域

【交通２】交通結節点の強化に資する駅前広場の整備	
取組施策	・市内の公共交通ネットワークを強化するためには、ネットワークの中で交通結節点となる鉄道駅にて、バス交通等の円滑な乗り入れが出来る駅前広場が充実していることが望まれます。 ・今後も北柏駅北口の土地区画整理事業等の推進により駅前広場や自由通路の整備を行うことで交通結節点の強化を図り、公共交通ネットワークの充実化に努めます。 ・また、鉄道駅での駅前広場機能に課題のある箇所について、道路整備、市街地整備及び民間開発の機会に併せ、交通結節点としての交通環境整備を目指します。 【高柳駅西側での駅前広場及び駅舎橋上化の整備】  （駅前にバス路線の乗り入れが可能な交通広場が必要な箇所） ①高柳駅東側 出典：柏市資料
対象地区	・生活拠点の各駅において、整備を進めていきます。 ✓ 生活拠点

新旧対照表

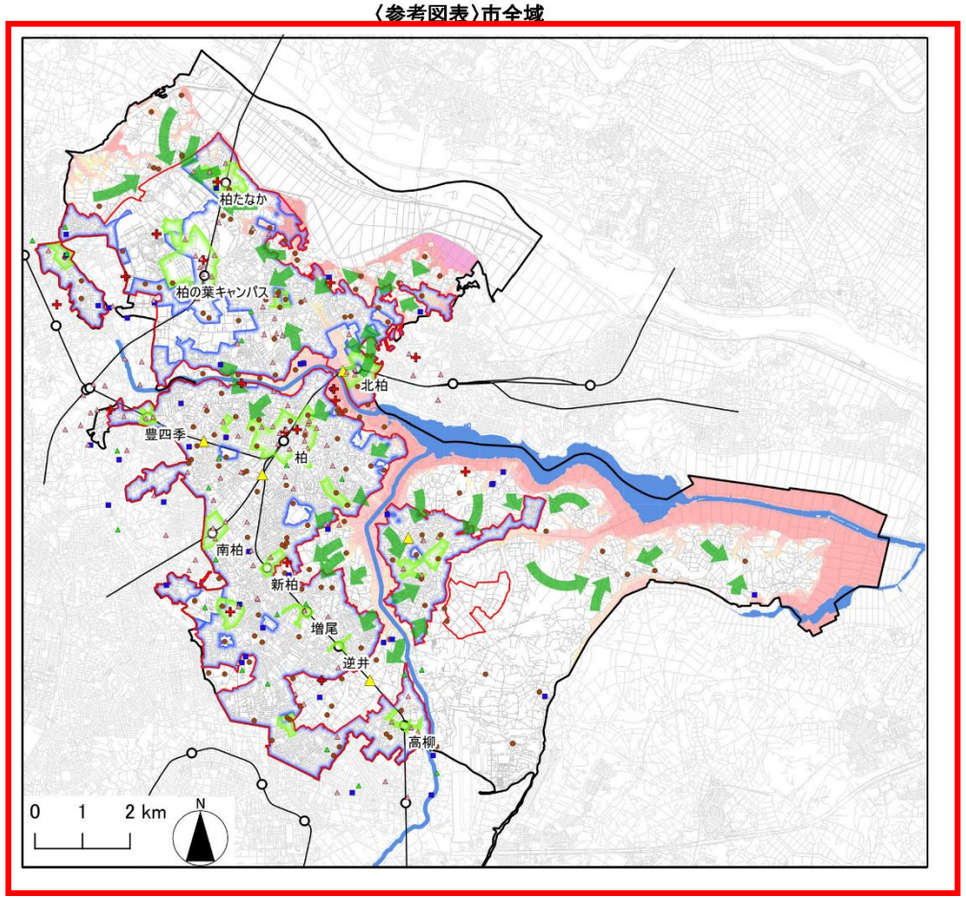
新

7－3　災害リスク分析

1）浸水想定区域（想定最大規模）

本市は、利根川、利根運河、手賀沼及び手賀川、大堀川、大津川などに接し、居住誘導区域内の浸水想定区域（想定最大規模）の浸水深は 5.0m以上～10.0m未満のエリアが想定されています。北柏駅周辺、柏ビレジ、東花野井団地、布施新町等の住宅地が居住誘導区域内の浸水想定区域に含まれています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水想定区域）
浸水深
- 10.0m以上 ～ 20.0m未満
- 5.0m 以上～ 10.0m未満
- 3.0m以上 ～ 5.0m未満
- 0.5m以上 ～ 3.0m未満
- 0.0m以上～0.5m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

利根川，利根運河
→利根川流域八斗島上流の 72 時間総雨量 491mm

手賀川及び手賀沼
→手賀川･手賀沼流域の 48 時間総雨量 815mm

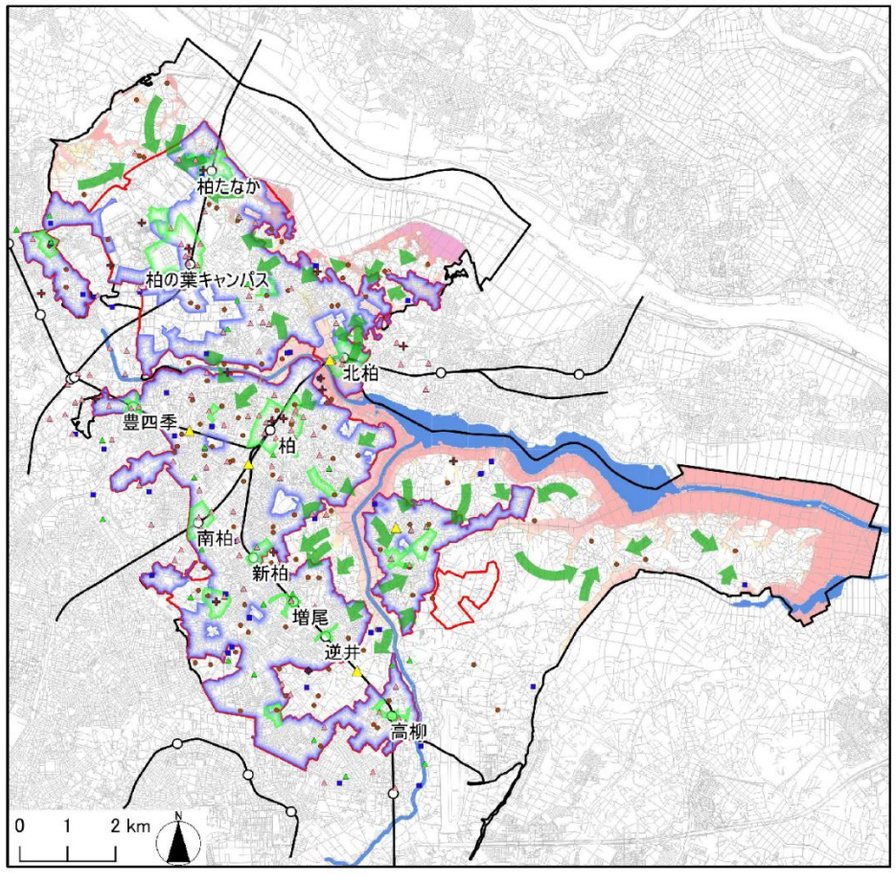
旧

7－3　災害リスク分析

1）浸水想定区域（想定最大規模）

本市は、利根川、利根運河、手賀沼及び手賀川、大堀川、大津川などに接し、居住誘導区域内の浸水想定区域（想定最大規模）の浸水深は 5.0m以上～10.0m未満のエリアが想定されています。北柏駅周辺、柏ビレジ、東花野井団地、布施新町等の住宅地が居住誘導区域内の浸水想定区域に含まれています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水想定区域）
浸水深
- 10.0m以上 ～ 20.0m未満
- 5.0m 以上～ 10.0m未満
- 3.0m以上 ～ 5.0m未満
- 0.5m以上 ～ 3.0m未満
- 0.0m以上～0.5m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

利根川，利根運河
→利根川流域八斗島上流の 72 時間総雨量 491mm

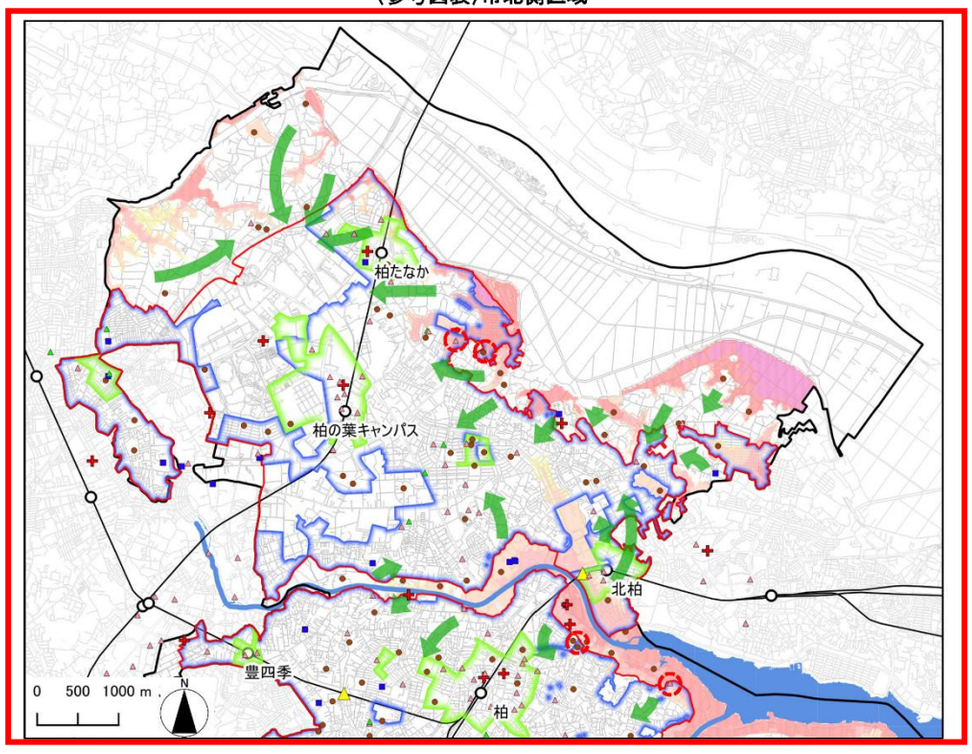
手賀川及び手賀沼
→手賀川･手賀沼流域の 48 時間総雨量 815mm

新旧対照表

新

市北側区域における田中調節池の堤防の決壊をシミュレーションした場合、居住誘導区域内の柏ビレジ周辺において、浸水深が最大で10.0m以上～20.0m未満の区域があり、また、北柏駅周辺・東花野井団地・布施新町では浸水深が 5.0m以上～10.0m未満の区域が想定されています。北柏駅西側にはアンダーパスがあり、浸水深が 3.0m以上～5.0m未満と重なることから、冠水による道路分断も考えられます。また、下図赤点線の丸印で示した箇所で、居住誘導区域内での、避難所・保育園に浸水想定区域がみられます。

〈参考図表〉市北側区域



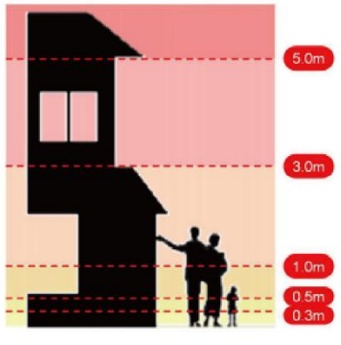
凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水想定区域）
浸水深
- 10.0m以上 ～ 20.0m未満
- 5.0m 以上～ 10.0m未満
- 3.0m以上 ～ 5.0m未満
- 0.5m以上 ～ 3.0m未満
- 0.0m以上～0.5m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

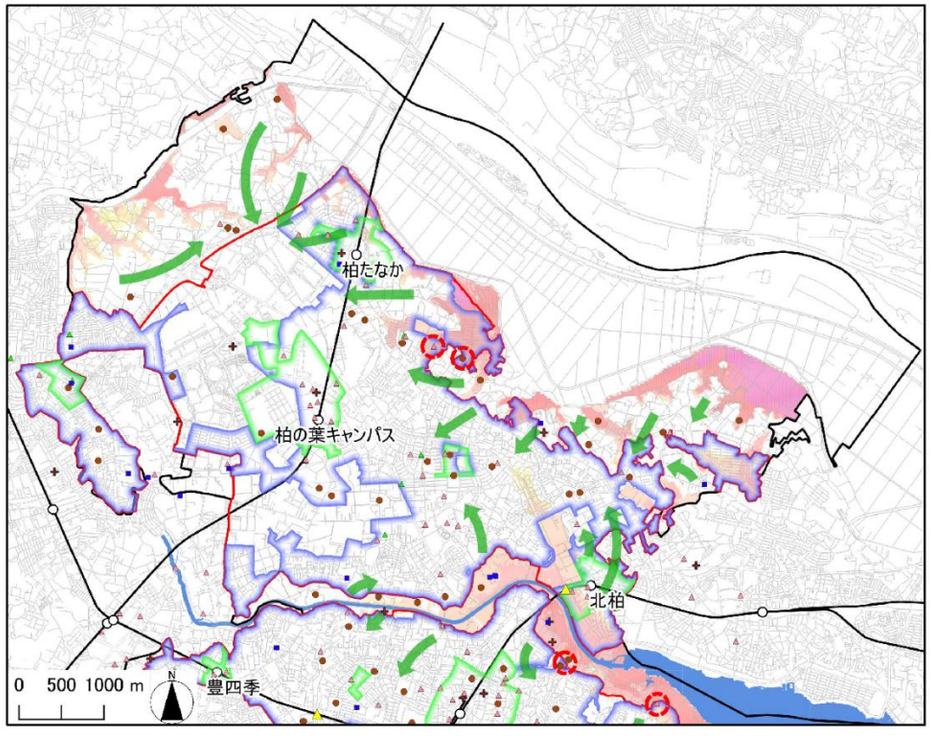


出典：洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）

旧

市北側区域における田中調節池の堤防の決壊をシミュレーションした場合、居住誘導区域内の柏ビレジ周辺において、浸水深が最大で10.0m以上～20.0m未満の区域があり、また、北柏駅周辺・東花野井団地・布施新町では浸水深が 5.0m以上～10.0m未満の区域が想定されています。北柏駅西側にはアンダーパスがあり、浸水深が 3.0m以上～5.0m未満と重なることから、冠水による道路分断も考えられます。また、下図赤点線の丸印で示した箇所で、居住誘導区域内での、避難所・保育園に浸水想定区域がみられます。

〈参考図表〉市北側区域



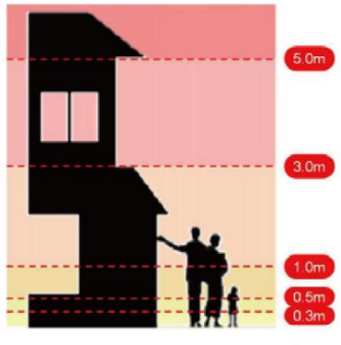
凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水想定区域）
浸水深
- 10.0m以上 ～ 20.0m未満
- 5.0m 以上～ 10.0m未満
- 3.0m以上 ～ 5.0m未満
- 0.5m以上 ～ 3.0m未満
- 0.0m以上～0.5m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス



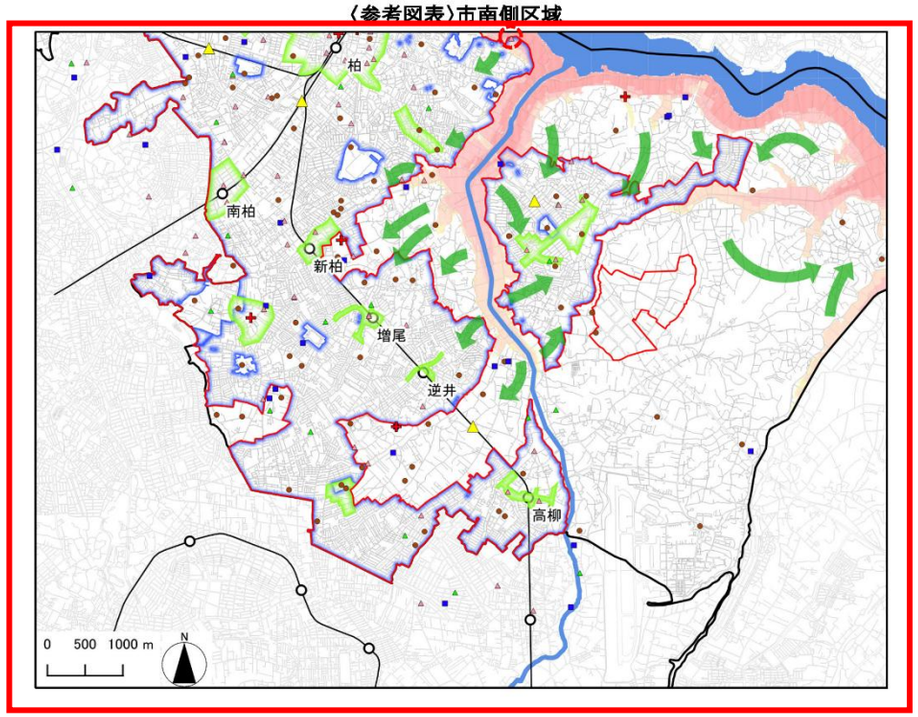
出典：洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）

新旧対照表

新

市南側区域における手賀沼･大津川からの洪水をシミュレーションした場合、居住誘導区域内の浸水想定区域は戸張･大井の一部でみられ、手賀沼付近においては浸水深が最大で 5.0m以上～10.0m未満が想定されています。旭町消防署付近と大津ヶ丘中学校付近のアンダーパスについては、浸水による道路分断により、避難経路が確保できなくなる可能性はみられません。下図赤点線の丸印で示した箇所で、居住誘導区域内での、保育園に浸水想定区域がみられます。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

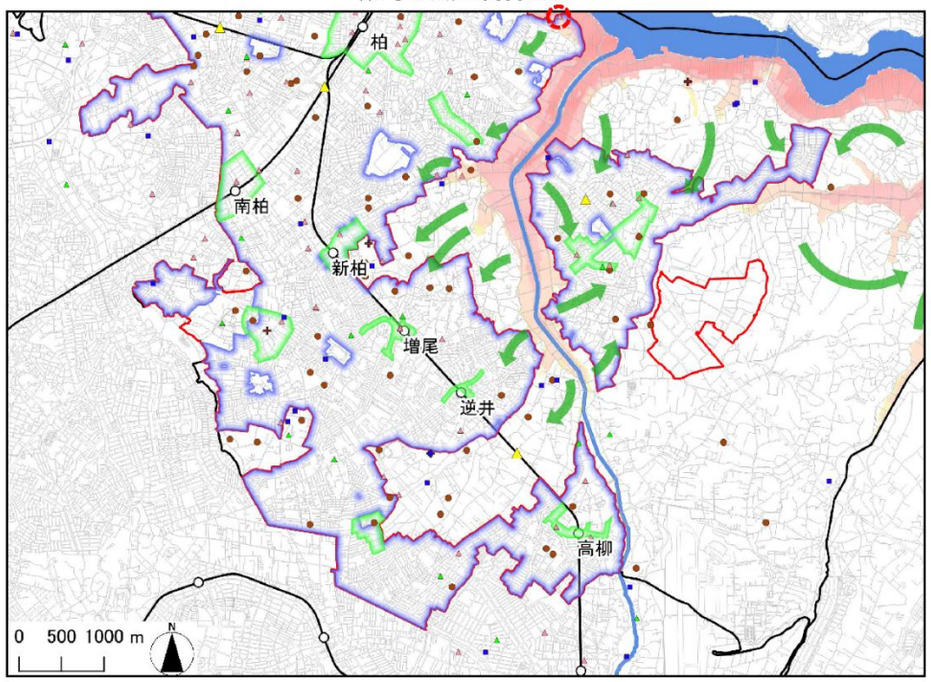
（浸水想定区域）
浸水深
- 10.0m以上 ～ 20.0m未満
- 5.0m 以上～ 10.0m未満
- 3.0m以上 ～ 5.0m未満
- 0.5m以上 ～ 3.0m未満
- 0.0m以上～0.5m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

旧

市南側区域における手賀沼･大津川からの洪水をシミュレーションした場合、居住誘導区域内の浸水想定区域は戸張･大井の一部でみられ、手賀沼付近においては浸水深が最大で 5.0m以上～10.0m未満が想定されています。旭町消防署付近と大津ヶ丘中学校付近のアンダーパスについては、浸水による道路分断により、避難経路が確保できなくなる可能性はみられません。下図赤点線の丸印で示した箇所で、居住誘導区域内での、保育園に浸水想定区域がみられます。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水想定区域）
浸水深
- 10.0m以上 ～ 20.0m未満
- 5.0m 以上～ 10.0m未満
- 3.0m以上 ～ 5.0m未満
- 0.5m以上 ～ 3.0m未満
- 0.0m以上～0.5m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

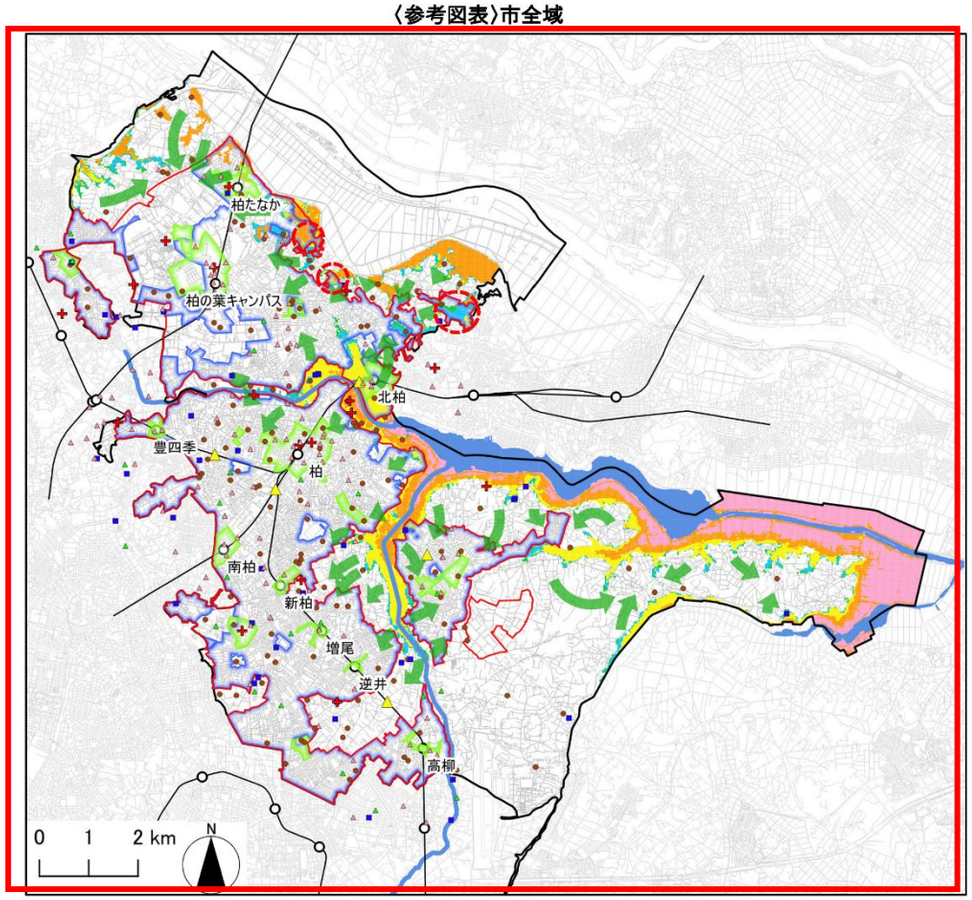
新旧対照表

新

2）浸水想定区域（浸水継続時間）

本市は想定最大規模（P100※[1]参照）の降雨での洪水によるシミュレーションで利根運河と手賀川・手賀沼で最大 168 時間～336 時間（2 週間）未満の浸水継続が想定されています。居住誘導区域に重なる部分に関しては、下図赤点線の丸印で示した柏ビレジ・布施新町・東花野井団地の一部のエリアで最大 168 時間～336 時間（2 週間）未満の浸水継続時間が想定されています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
（都市機能）
病院
入所系介護福祉施設
保育園
幼稚園
（浸水継続時間）
12時間未満
12時間～24時間（1日間）未満
24時間～72時間（3日間）未満
72時間～168時間（1週間）未満
168時間～336時間（2週間）未満
336時間～672時間（4週間）未満
（避難所等）
避難所
避難方向
アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

利根川，利根運河
→利根川流域八斗島上流の 72 時間総雨量 491mm

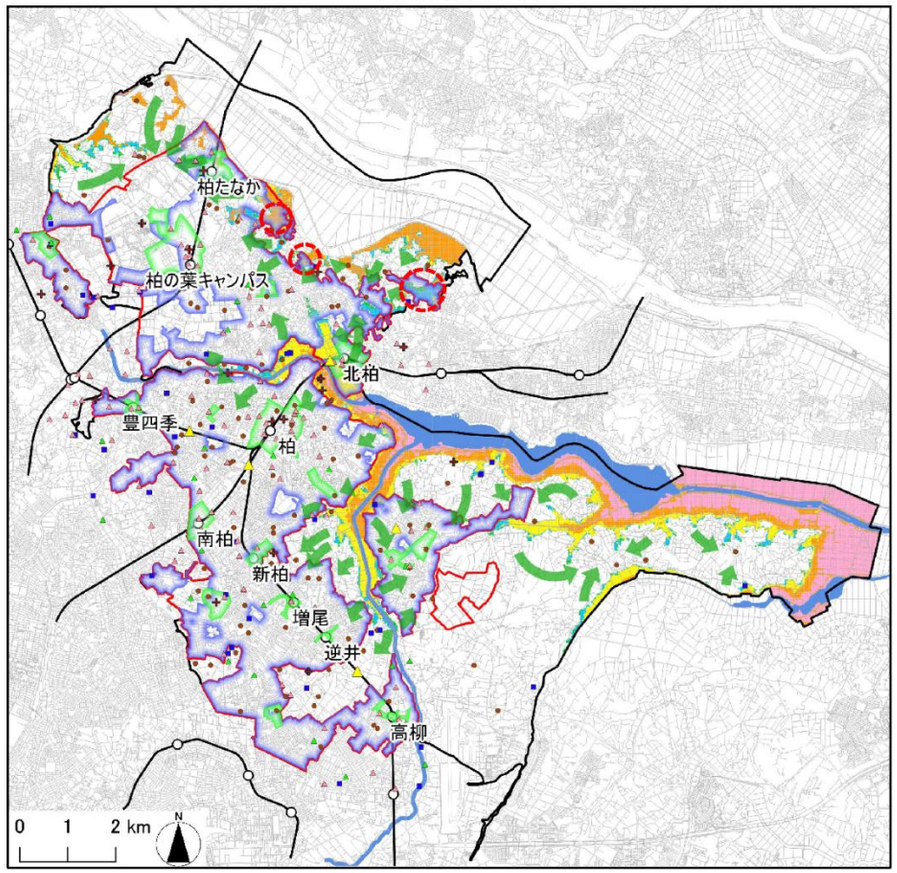
手賀川及び手賀沼
→手賀川・手賀沼流域の 48 時間総雨量 815mm

旧

2）浸水想定区域（浸水継続時間）

本市は想定最大規模（P100※[1]参照）の降雨での洪水によるシミュレーションで利根運河と手賀川・手賀沼で最大 168 時間～336 時間（2 週間）未満の浸水継続が想定されています。居住誘導区域に重なる部分に関しては、下図赤点線の丸印で示した柏ビレジ・布施新町・東花野井団地の一部のエリアで最大 168 時間～336 時間（2 週間）未満の浸水継続時間が想定されています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
（都市機能）
病院
入所系介護福祉施設
保育園
幼稚園
（浸水継続時間）
12時間未満
12時間～24時間（1日間）未満
24時間～72時間（3日間）未満
72時間～168時間（1週間）未満
168時間～336時間（2週間）未満
336時間～672時間（4週間）未満
（避難所等）
避難所
避難方向
アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

利根川，利根運河
→利根川流域八斗島上流の 72 時間総雨量 491mm

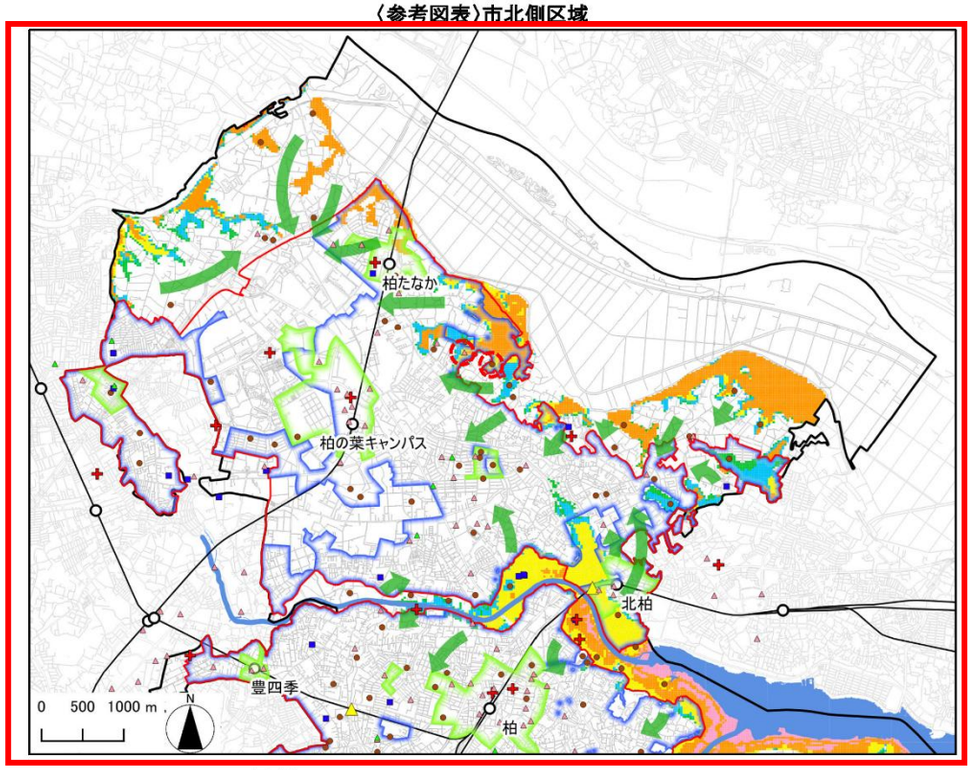
手賀川及び手賀沼
→手賀川・手賀沼流域の 48 時間総雨量 815mm

新旧対照表

新

北柏駅周辺や東花野井団地では、居住誘導区域内で 24 時間～72 時間(3 日間)未満の浸水が想定されるエリアが多くみられます。また、柏ビレジでは 72 時間～168 時間(1 週間)未満のエリアが多くみられます。

〈参考図表〉市北側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

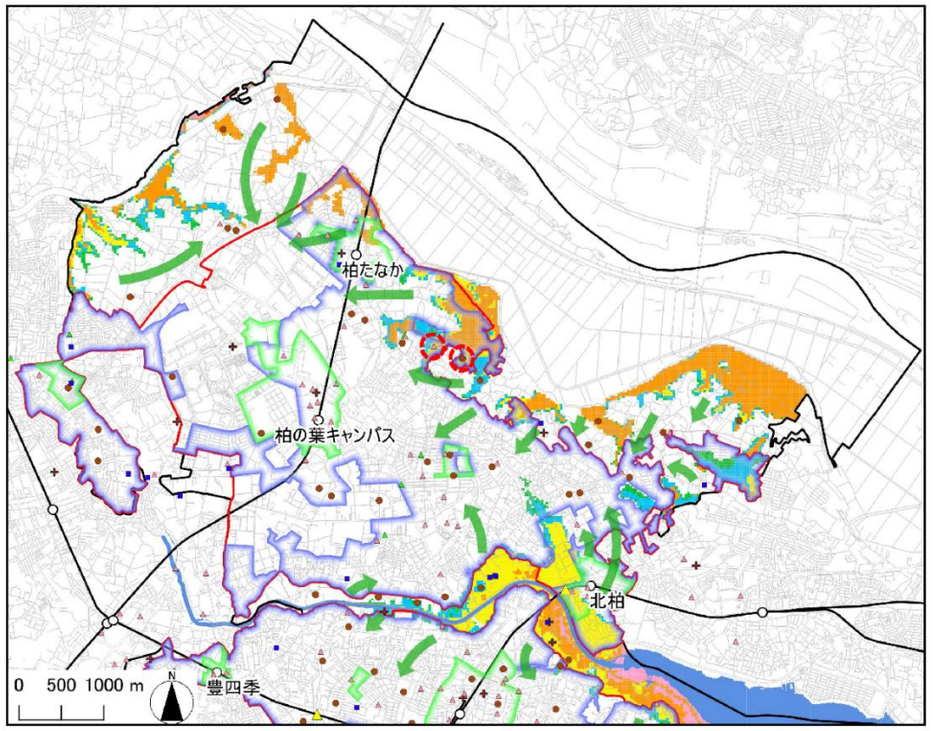
（浸水継続時間）
- 12時間未満
- 12時間～24時間(1日間)未満
- 24時間～72時間(3日間)未満
- 72時間～168時間(1週間)未満
- 168時間～336時間(2週間)未満
- 336時間～672時間(4週間)未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

旧

北柏駅周辺や東花野井団地では、居住誘導区域内で 24 時間～72 時間(3 日間)未満の浸水が想定されるエリアが多くみられます。また、柏ビレジでは 72 時間～168 時間(1 週間)未満のエリアが多くみられます。

〈参考図表〉市北側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水継続時間）
- 12時間未満
- 12時間～24時間(1日間)未満
- 24時間～72時間(3日間)未満
- 72時間～168時間(1週間)未満
- 168時間～336時間(2週間)未満
- 336時間～672時間(4週間)未満

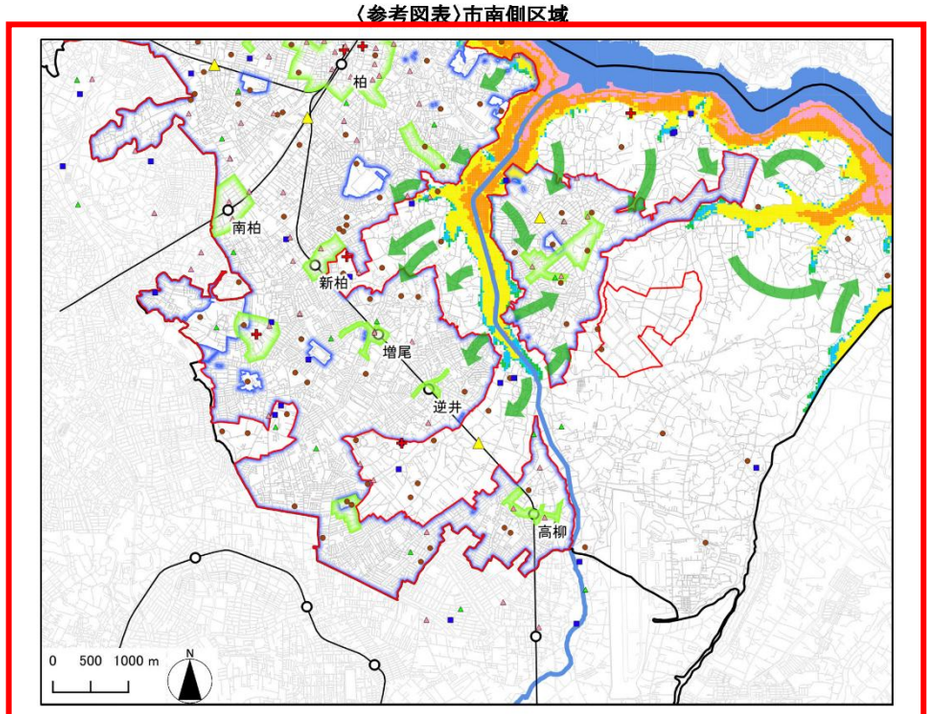
（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

新旧対照表

新

市南側区域の居住誘導区域内の浸水継続時間は、戸張の一部で 72 時間～168 時間（1週間）未満のエリアがみられます。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

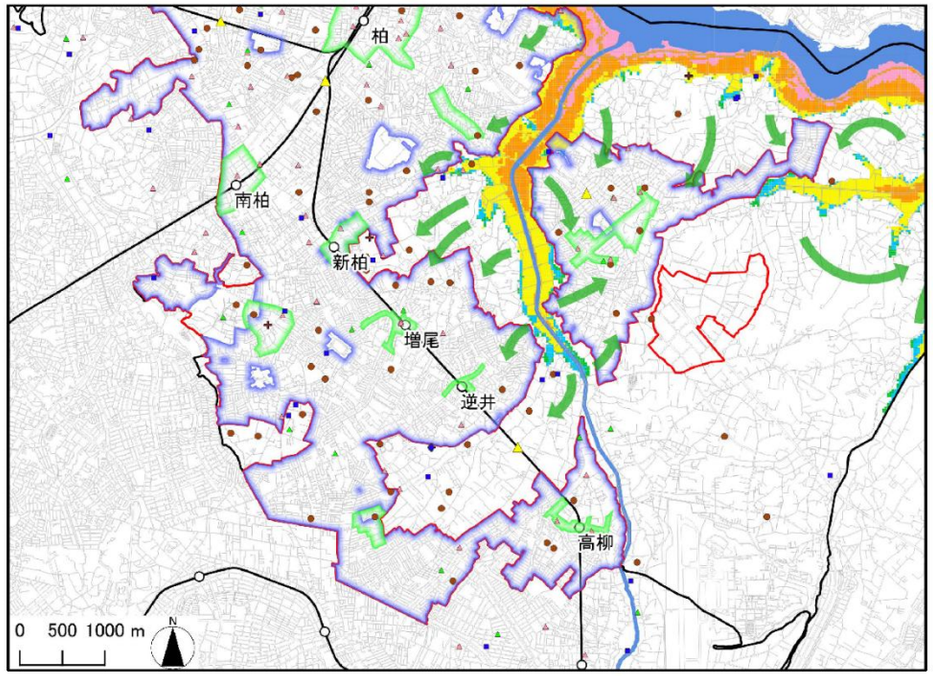
（浸水継続時間）
- 12時間未満
- 12時間～24時間（1日間）未満
- 24時間～72時間（3日間）未満
- 72時間～168時間（1週間）未満
- 168時間～336時間（2週間）未満
- 336時間～672時間（4週間）未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

旧

市南側区域の居住誘導区域内の浸水継続時間は、戸張の一部で 72 時間～168 時間（1週間）未満のエリアがみられます。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（浸水継続時間）
- 12時間未満
- 12時間～24時間（1日間）未満
- 24時間～72時間（3日間）未満
- 72時間～168時間（1週間）未満
- 168時間～336時間（2週間）未満
- 336時間～672時間（4週間）未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

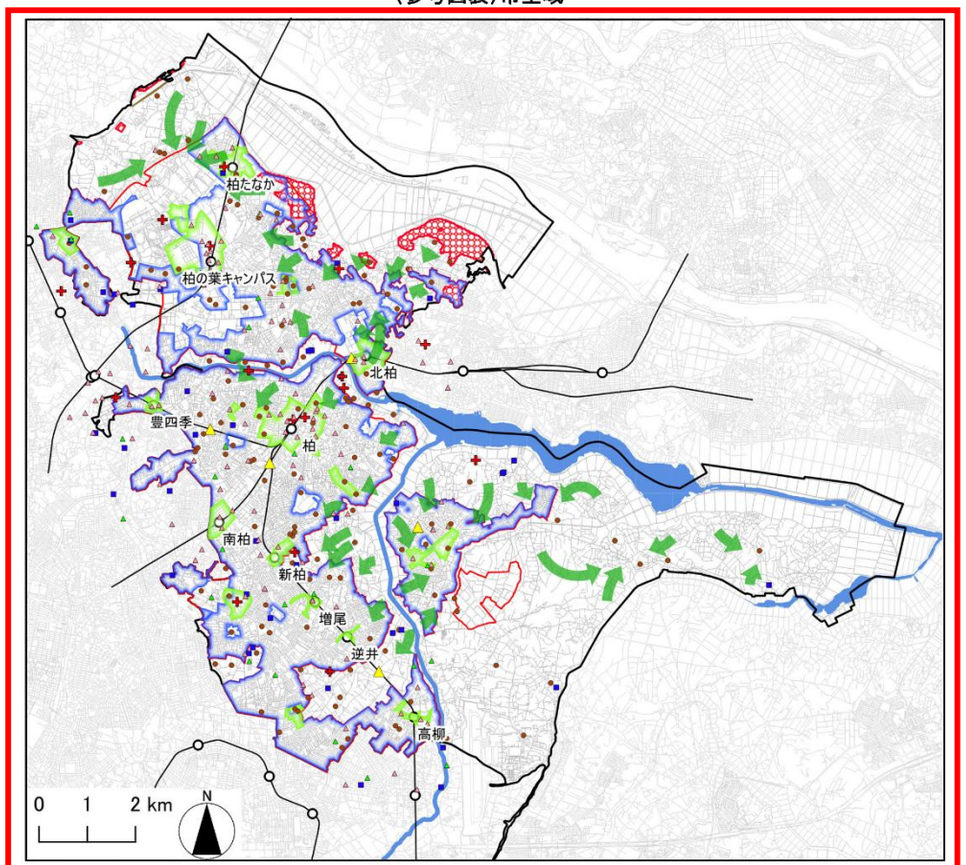
新旧対照表

新

4）家屋倒壊等氾濫想定区域

田中調節池沿いの柏ビレジや布施新町の一部で家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）が指定され、利根運河沿いでは家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）が指定されています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
（都市機能）
病院
入所系介護福祉施設
保育園
幼稚園
（避難所等）
避難所
避難方向
（家屋倒壊等氾濫想定区域）
氾濫流
河岸侵食
アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

利根川，利根運河
→利根川流域八斗島上流の 72 時間総雨量 491mm

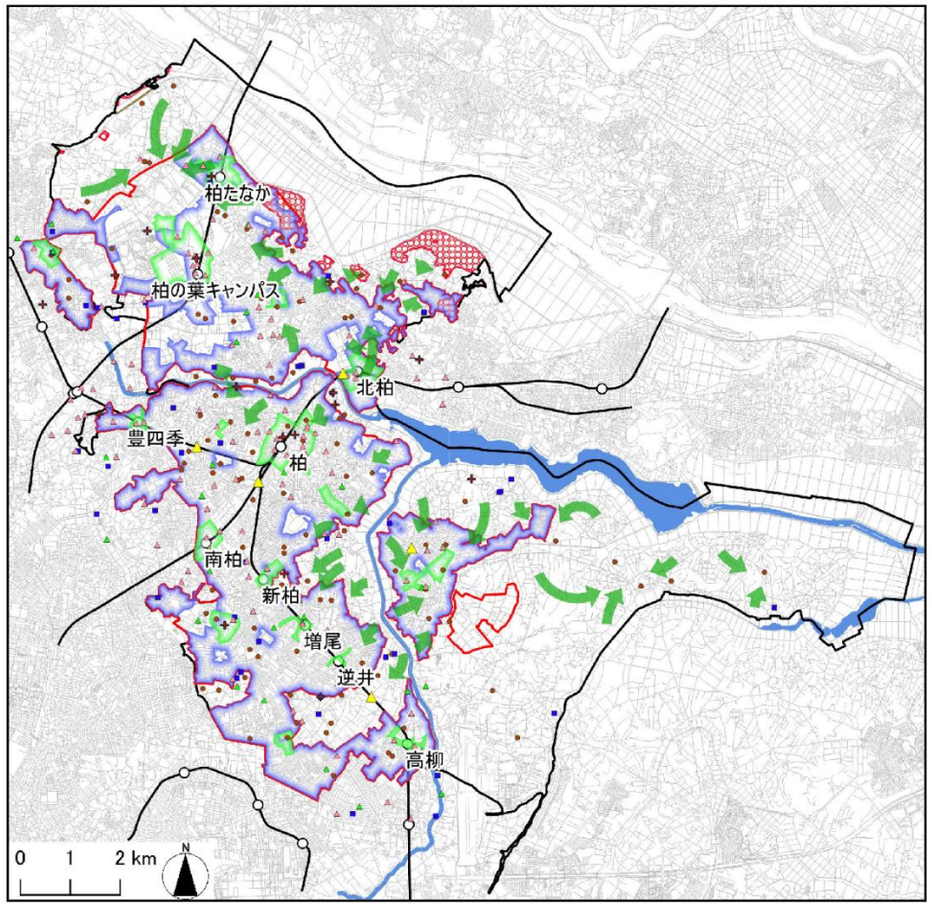
手賀川及び手賀沼
→手賀川･手賀沼流域の 48 時間総雨量 815mm

旧

4）家屋倒壊等氾濫想定区域

田中調節池沿いの柏ビレジや布施新町の一部で家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）が指定され、利根運河沿いでは家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）が指定されています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
（都市機能）
病院
入所系介護福祉施設
保育園
幼稚園
（避難所等）
避難所
避難方向
（家屋倒壊等氾濫想定区域）
氾濫流
河岸侵食
アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

利根川，利根運河
→利根川流域八斗島上流の 72 時間総雨量 491mm

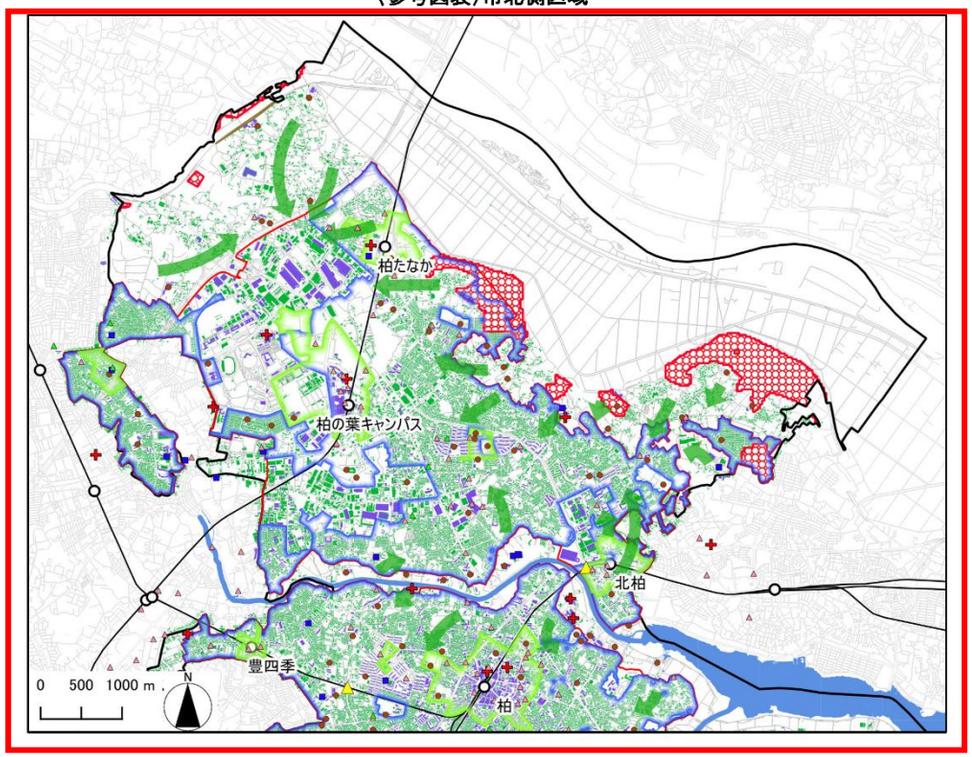
手賀川及び手賀沼
→手賀川･手賀沼流域の 48 時間総雨量 815mm

新旧対照表

新

居住誘導区域内における家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）は、柏ビレジ、布施新町の一部が指定されています。
また、建物構造については、居住誘導区域内における家屋倒壊等氾濫想定区域において、一部を除いてほぼ全ての建物が木造となっています。

〈参考図表〉市北側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向

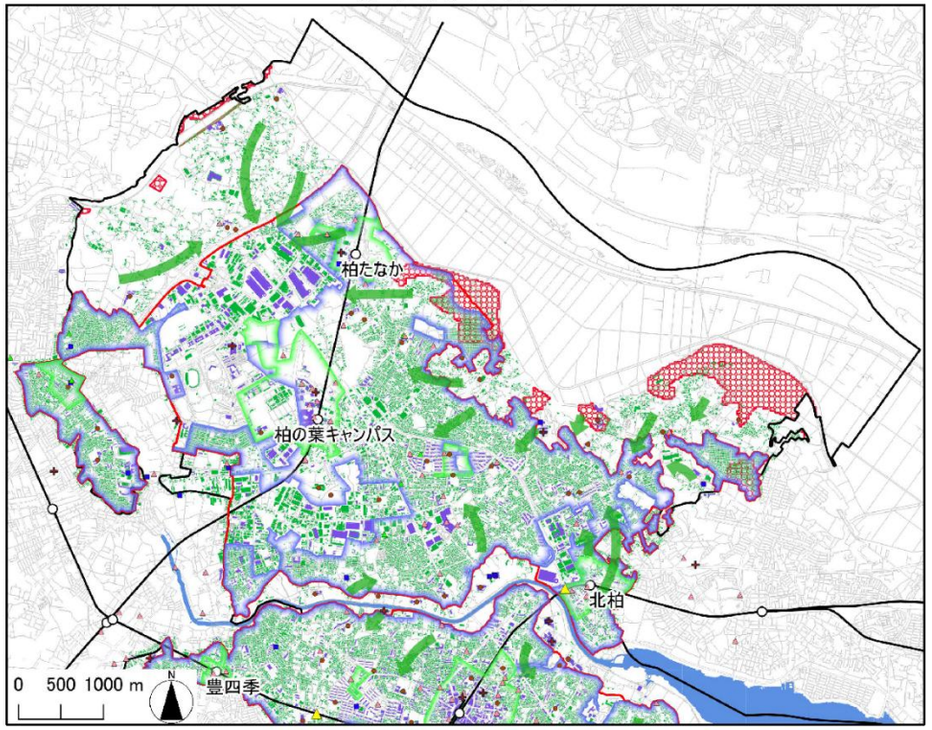
（家屋倒壊等氾濫想定区域）
- 氾濫流
- 河岸侵食
- アンダーパス

（建物構造）
- RC造
- S造
- 木造
- その他

旧

居住誘導区域内における家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）は、柏ビレジ、布施新町の一部が指定されています。
また、建物構造については、居住誘導区域内における家屋倒壊等氾濫想定区域において、一部を除いてほぼ全ての建物が木造となっています。

〈参考図表〉市北側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向

（家屋倒壊等氾濫想定区域）
- 氾濫流
- 河岸侵食
- アンダーパス

（建物構造）
- RC造
- S造
- 木造
- その他

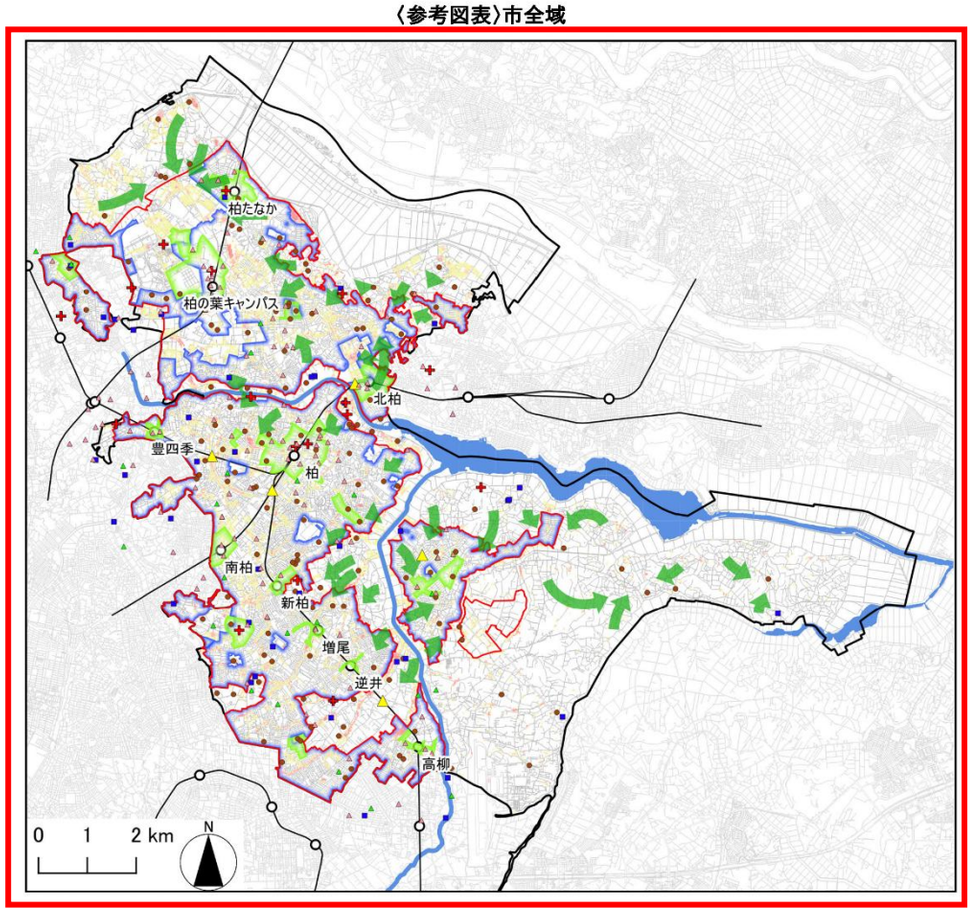
新旧対照表

新

5）内水浸水想定区域

内水浸水想定区域は、市全域において想定されていますが、浸水深 0.30m未満のエリアが多くみられます。市内に浸水深 1.00m以上のエリアも点在しています。アンダーパスとの重なりもみられ、一時的な道路分断の可能性が想定されます。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
（都市機能）
病院
入所系介護福祉施設
保育園
幼稚園
（内水浸水想定区域）
浸水深
1.00m 以上～
0.50m以上 ～ 1.00m未満
0.30m以上 ～ 0.50m未満
～0.30m未満
（避難所等）
避難所
避難方向
アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

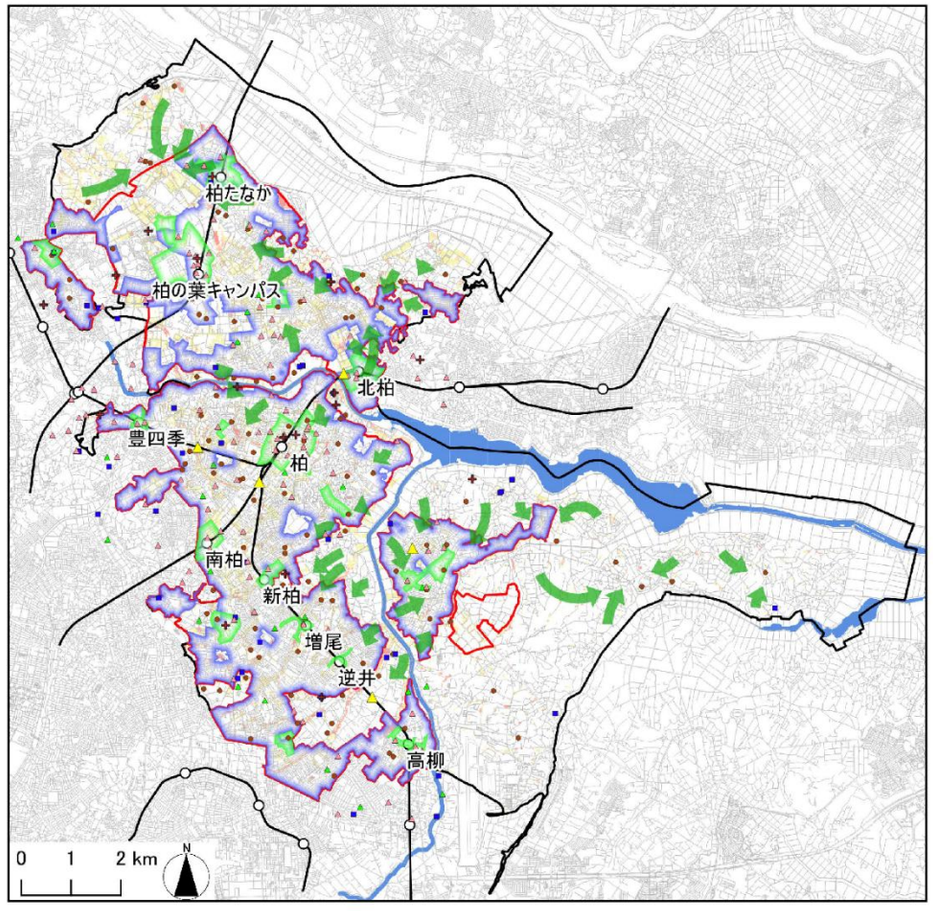
市内全体に、1時間最大雨量 79.5mm、30 年に一度の確率で起こる可能性がある降雨があった時、既存の排水施設が所定の機能を発揮した状態で、処理しきれない内水による浸水を想定しています。

旧

5）内水浸水想定区域

内水浸水想定区域は、市全域において想定されていますが、浸水深 0.30m未満のエリアが多くみられます。市内に浸水深 1.00m以上のエリアも点在しています。アンダーパスとの重なりもみられ、一時的な道路分断の可能性が想定されます。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
市街化区域
都市機能誘導区域
居住誘導区域
（都市機能）
病院
入所系介護福祉施設
保育園
幼稚園
（内水浸水想定区域）
浸水深
1.00m 以上～
0.50m以上 ～ 1.00m未満
0.30m以上 ～ 0.50m未満
～0.30m未満
（避難所等）
避難所
避難方向
アンダーパス

算出の前提となる降雨（年降水確率 1/1000 未満）

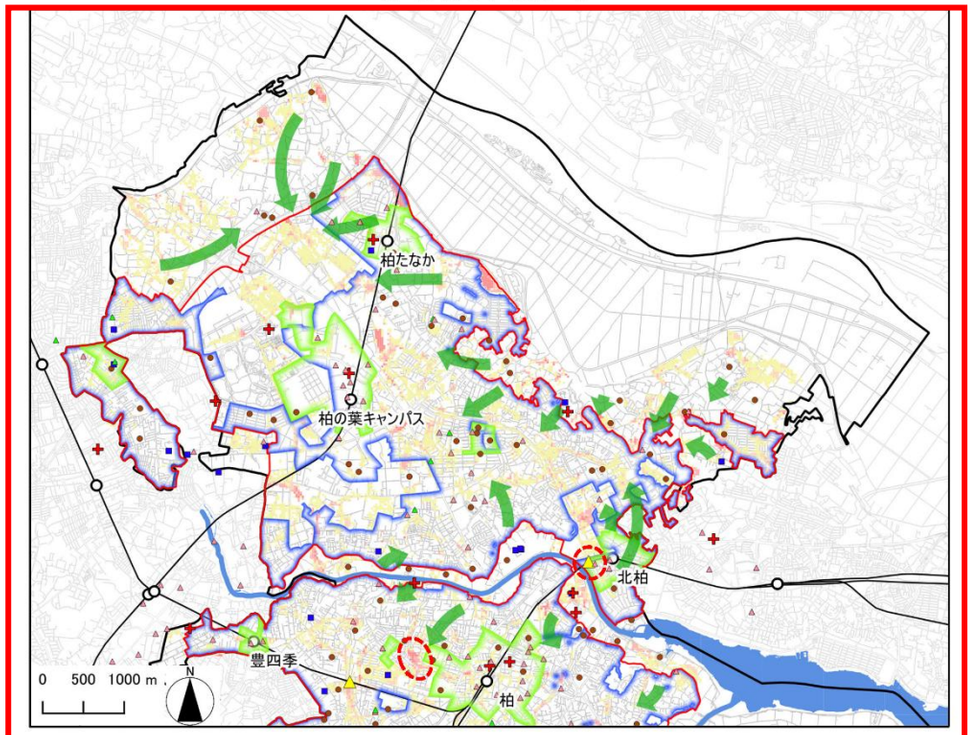
市内全体に、1時間最大雨量 79.5mm、30 年に一度の確率で起こる可能性がある降雨があった時、既存の排水施設が所定の機能を発揮した状態で、処理しきれない内水による浸水を想定しています。

新旧対照表

新

市北側区域のほぼ全域において、内水浸水想定区域が想定されています。下図に示した柏駅西側には浸水深 0.50m以上がまとまってみられるエリアがあり、そのエリアの最大浸水深は1.00m以上です。北柏駅の西側のアンダーパスでは、最大 1.00m以上の浸水深が想定されています。

〈参考図表〉市北側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

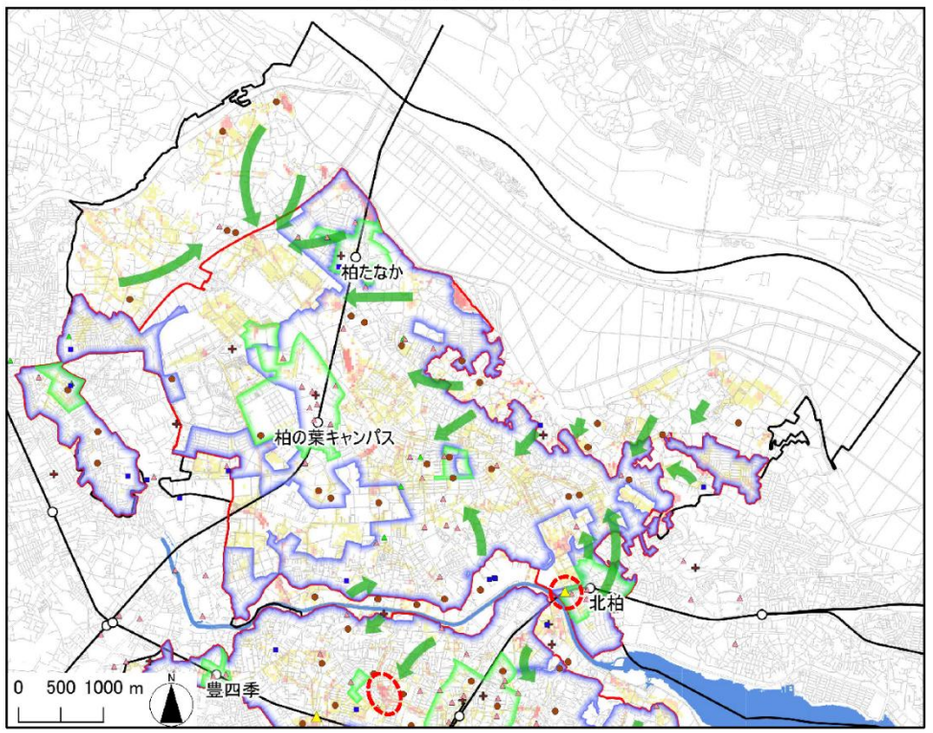
（内水浸水想定区域）
浸水深
- 1.00m 以上～
- 0.50m以上 ～ 1.00m未満
- 0.30m以上 ～ 0.50m未満
- ～0.30m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

旧

市北側区域のほぼ全域において、内水浸水想定区域が想定されています。下図に示した柏駅西側には浸水深 0.50m以上がまとまってみられるエリアがあり、そのエリアの最大浸水深は1.00m以上です。北柏駅の西側のアンダーパスでは、最大 1.00m以上の浸水深が想定されています。

〈参考図表〉市北側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（内水浸水想定区域）
浸水深
- 1.00m 以上～
- 0.50m以上 ～ 1.00m未満
- 0.30m以上 ～ 0.50m未満
- ～0.30m未満

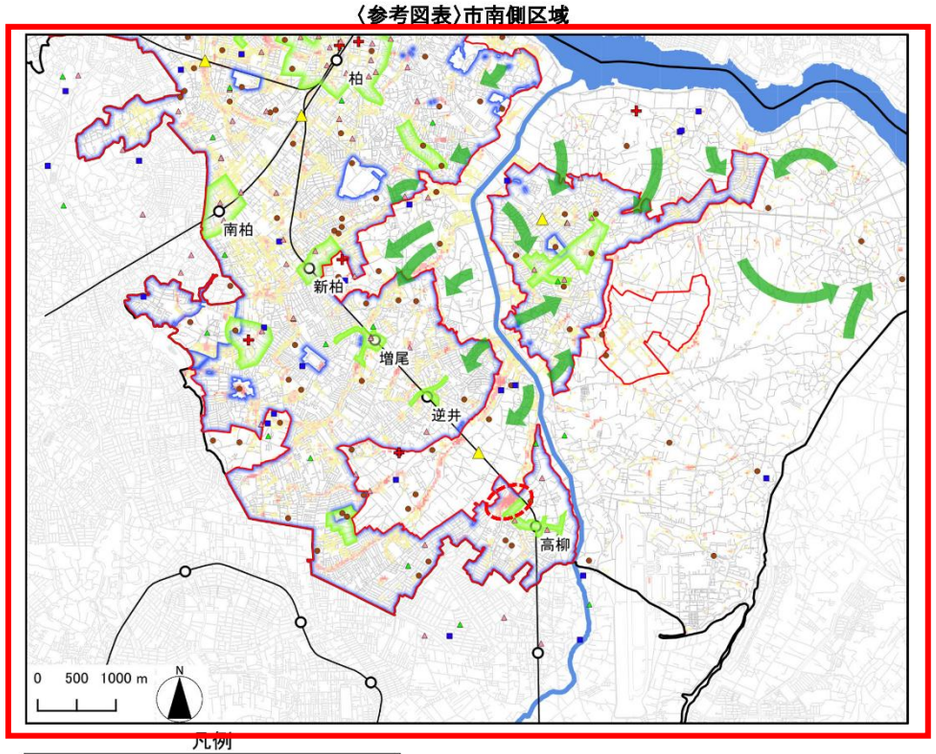
（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

新旧対照表

新

市南側区域の各所において、内水浸水想定区域が点在しています。下図に示した高柳駅北側等で、浸水深 0.50m以上がまとまってみられるエリアがあり、そのエリアの最大浸水深は 1.00m以上です。泉町付近と大津ヶ丘中学校付近のアンダーパスでは、最大 1.00m以上の浸水深、旭町消防署付近のアンダーパスでは最大 1.00m以上の浸水が想定されています。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

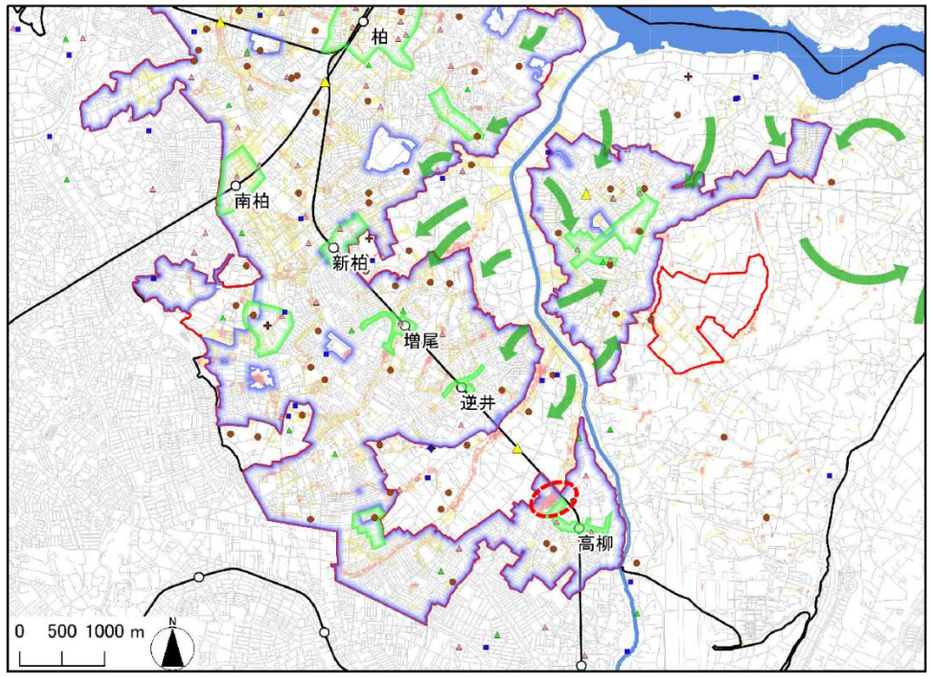
（内水浸水想定区域）
浸水深
- 1.00m 以上～
- 0.50m以上 ～ 1.00m未満
- 0.30m以上 ～ 0.50m未満
- ～0.30m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

旧

市南側区域の各所において、内水浸水想定区域が点在しています。下図に示した高柳駅北側等で、浸水深 0.50m以上がまとまってみられるエリアがあり、そのエリアの最大浸水深は 1.00m以上です。泉町付近と大津ヶ丘中学校付近のアンダーパスでは、最大 1.00m以上の浸水深、旭町消防署付近のアンダーパスでは最大 1.00m以上の浸水が想定されています。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（内水浸水想定区域）
浸水深
- 1.00m 以上～
- 0.50m以上 ～ 1.00m未満
- 0.30m以上 ～ 0.50m未満
- ～0.30m未満

（避難所等）
- 避難所
- 避難方向
- アンダーパス

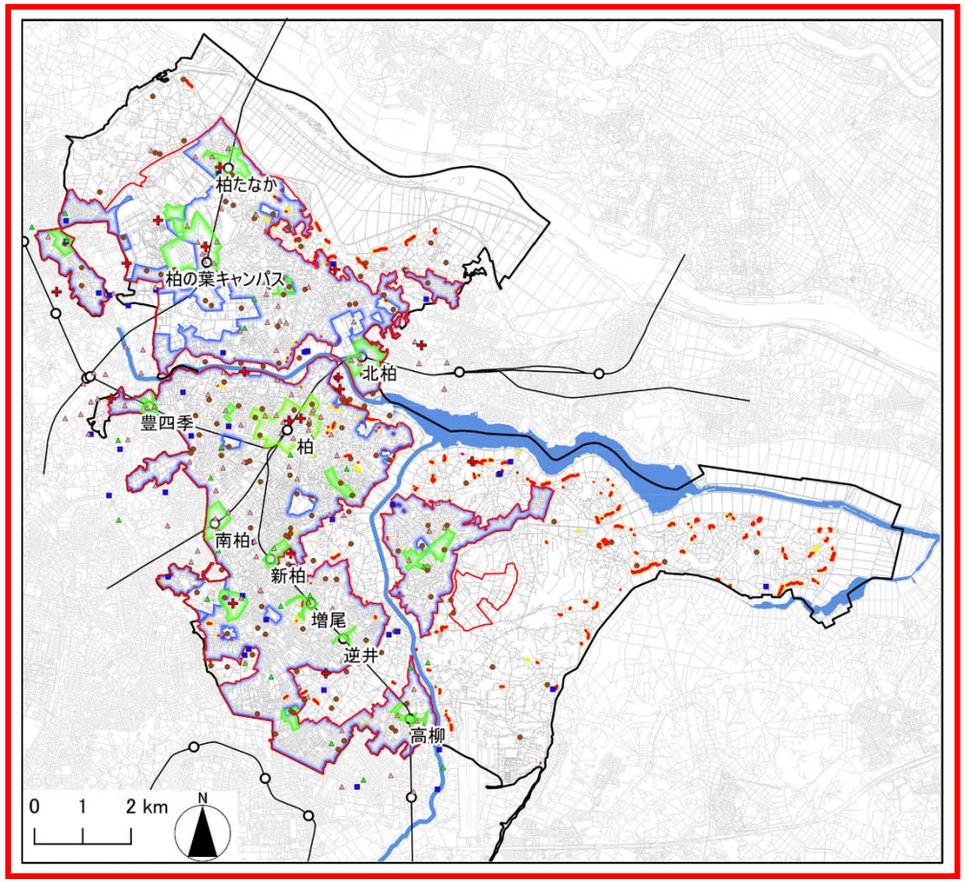
新旧対照表

新

6）土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域

市内の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域は合計 188 箇所指定されています。居住誘導区域内に土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の指定はありませんが、指定がされた場合、適宜、居住誘導区域から除外していくことになります。土砂災害警戒区域(イエローゾーン)については 84 箇所指定されています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所）
- 避難所

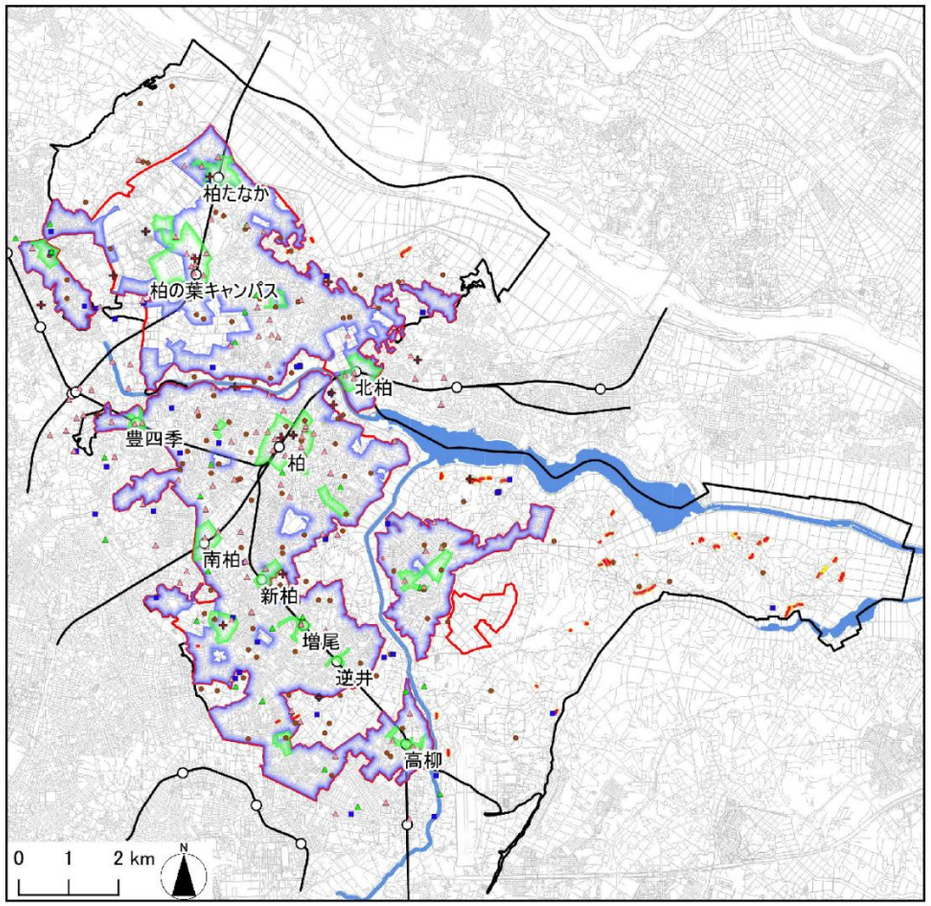
（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

旧

6）土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域

市内の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域は合計 57 箇所指定されています。居住誘導区域内に土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の指定はありませんが、指定がされた場合、適宜、居住誘導区域から除外していくことになります。土砂災害警戒区域(イエローゾーン)については 16 箇所指定されています。

〈参考図表〉市全域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所）
- 避難所

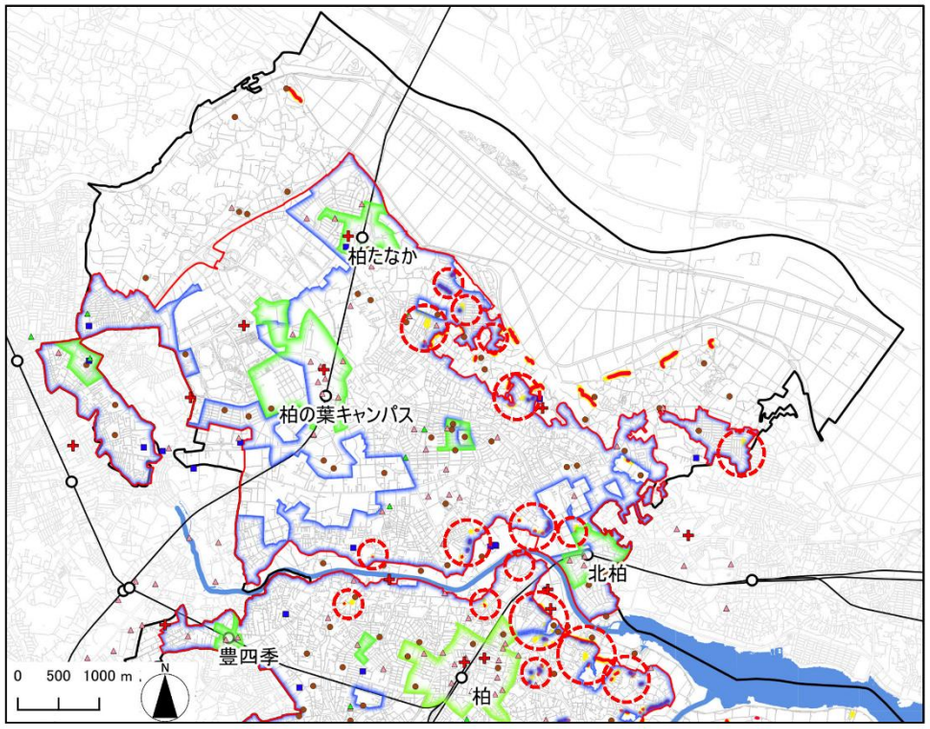
（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

新旧対照表

新

市北側区域の居住誘導区域内に指定されている土砂災害警戒区域は、下図に示した 41 箇所でみられますが、それらのうち、病院･福祉施設、避難所と重なる箇所はみられません。

〈参考図表〉市北側区域



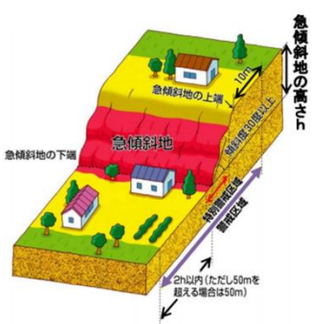
凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所）
- 避難所

（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

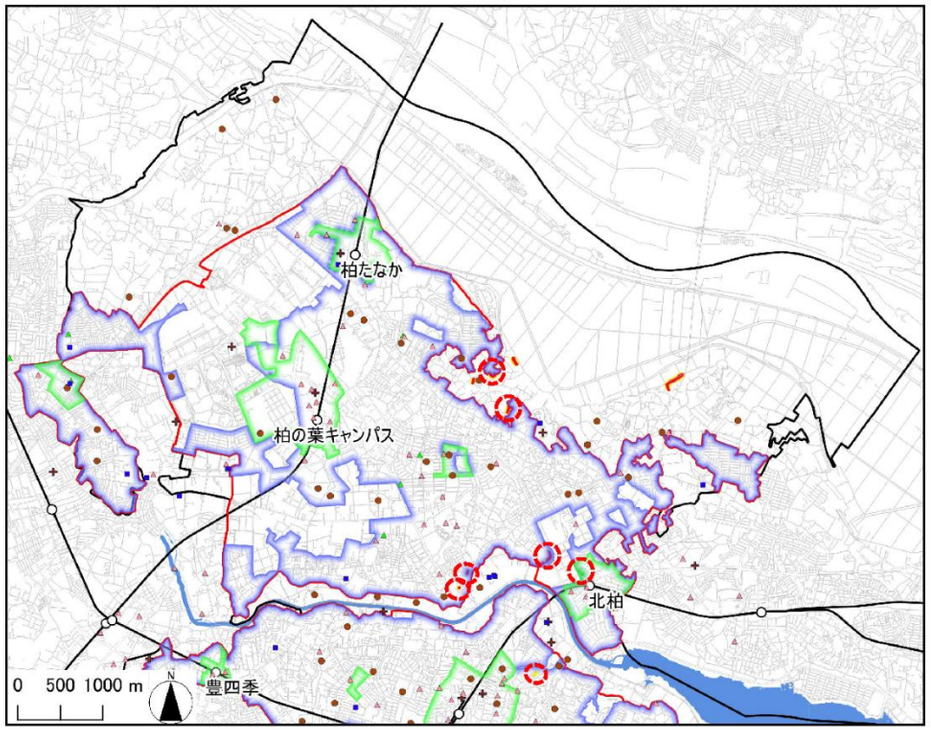


出典：立地適正化計画作成の手引き

旧

市北側区域の居住誘導区域内に指定されている土砂災害警戒区域は、下図に示した 7 箇所でみられますが、それらのうち、病院･福祉施設、避難所と重なる箇所はみられません。

〈参考図表〉市北側区域



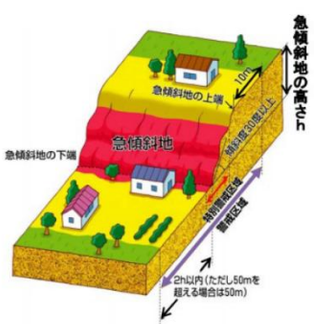
凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所）
- 避難所

（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域



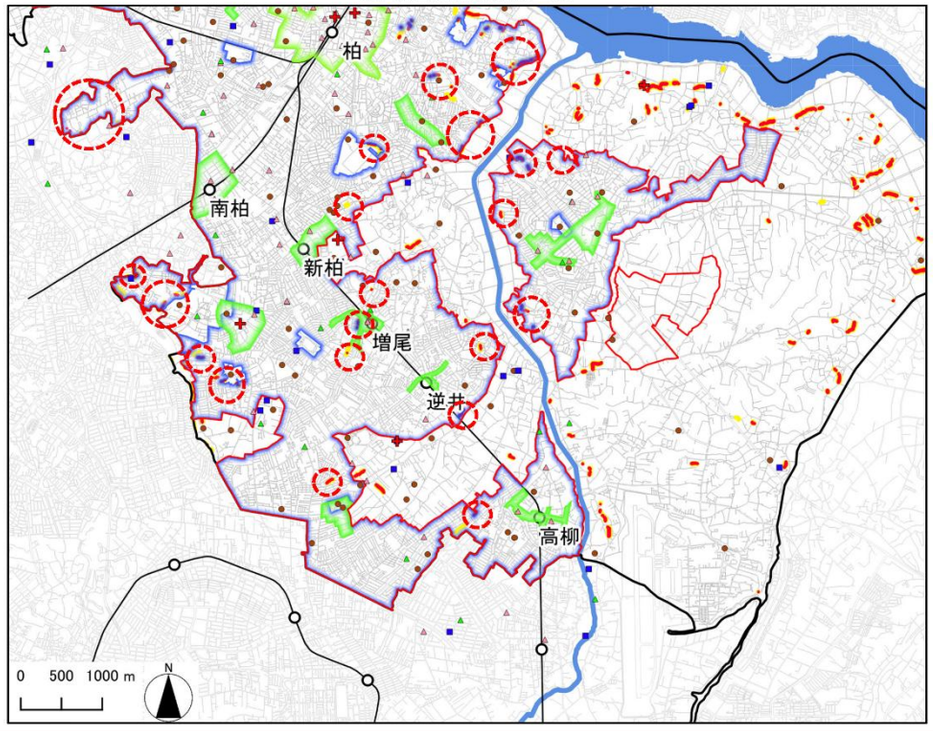
出典：立地適正化計画作成の手引き

新旧対照表

新

市南側区域の居住誘導区域内に指定されている土砂災害警戒区域は、下図に示した 43 箇所でみられます。病院･避難所と重なる箇所はみられませんが，土砂災害警戒区域と重なる福祉施設が1箇所みられます。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

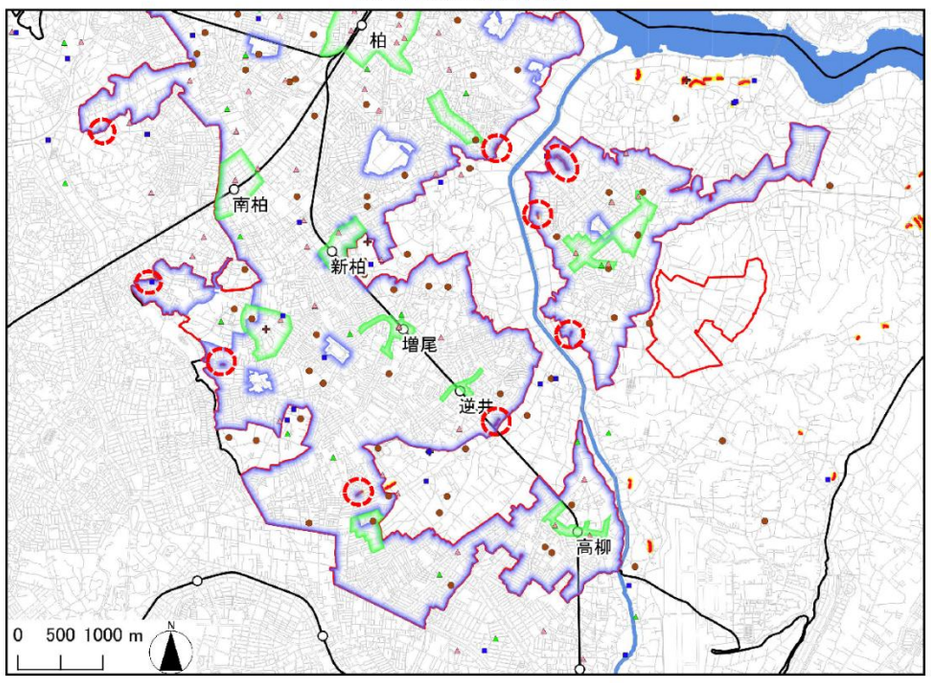
（避難所）
- 避難所

（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

旧

市南側区域の居住誘導区域内に指定されている土砂災害警戒区域は、下図に示した 9 箇所でみられます。病院･避難所と重なる箇所はみられませんが，土砂災害警戒区域と重なる福祉施設が1箇所みられます。

〈参考図表〉市南側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系 介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所）
- 避難所

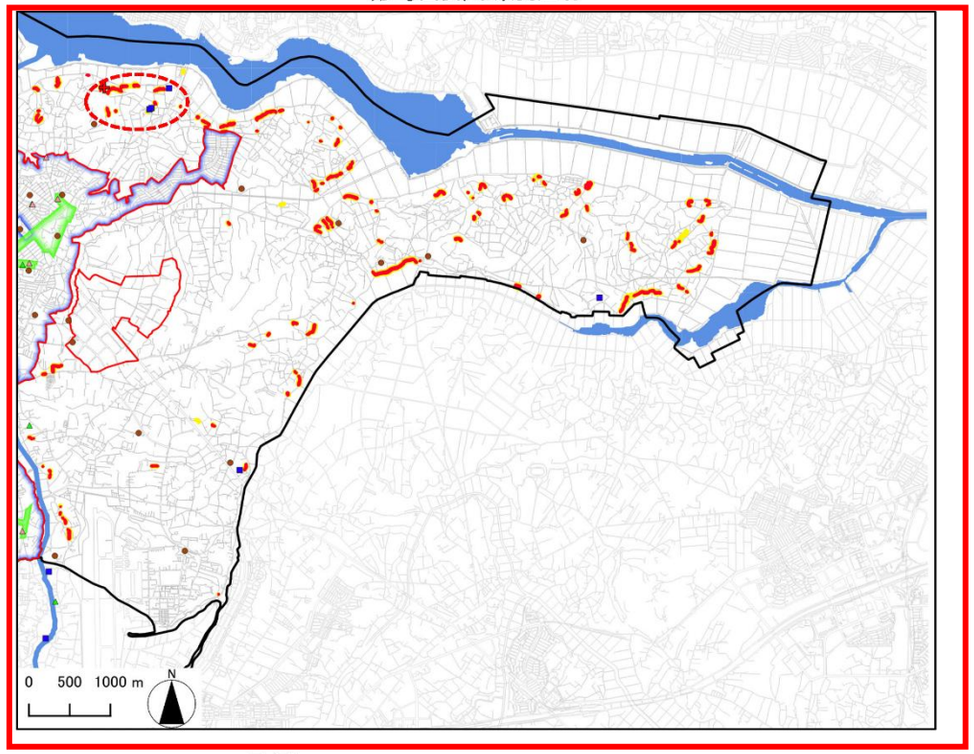
（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

新旧対照表

新

市東側区域の居住誘導区域内に、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域が指定されている箇所はみられません。
なお，市街化調整区域には，土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域と重なる病院が1箇所，福祉施設が1箇所みられ，土砂災害警戒区域と重なる福祉施設が2箇所みられます。

〈参考図表〉市東側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

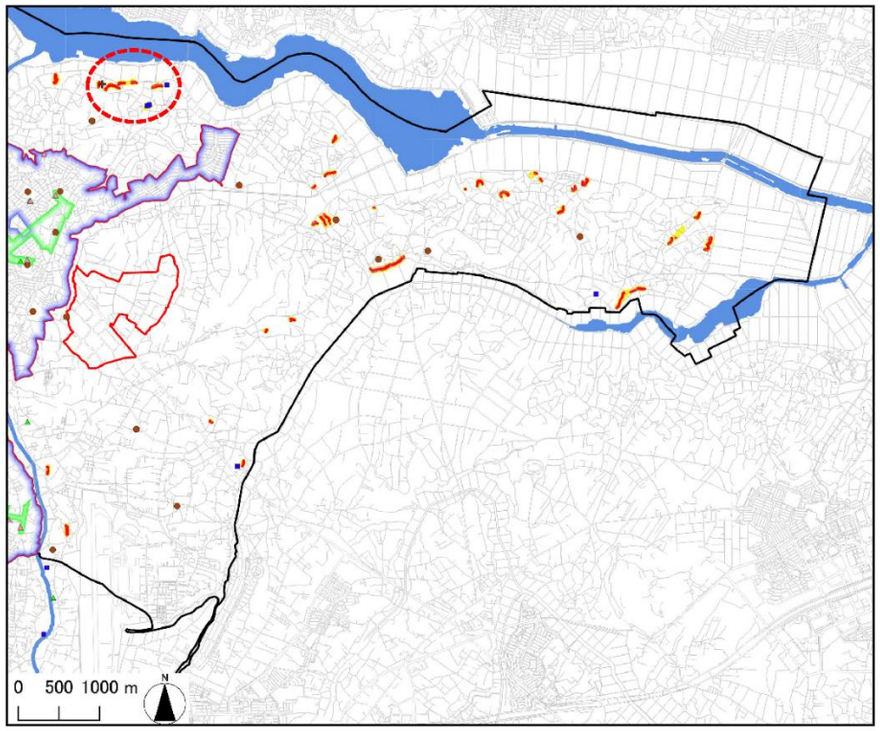
（避難所）
- 避難所

（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

旧

市東側区域の居住誘導区域内に、土砂災特別害警戒区域、土砂災害警戒区域が指定されている箇所はみられません。
なお，市街化調整区域には，土砂災特別害警戒区域と重なる病院が1箇所，福祉施設が1箇所みられ，土砂災害警戒区域と重なる福祉施設が3箇所みられます。

〈参考図表〉市東側区域



凡例

（区域）
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

（都市機能）
- 病院
- 入所系介護福祉施設
- 保育園
- 幼稚園

（避難所）
- 避難所

（土砂災害警戒区域）
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

新旧対照表

新

7－4　防災・減災に向けた現状と課題の抽出

本市では様々な災害リスクが想定されていることを踏まえ、防災・減災に向けた課題を災害種別に整理します。

洪水

【利根川等河川整備の現状】

○本市を流れる利根川は、河川整備計画（国土交通省）において計画降雨（年発生確率 1/200 の降雨）で余裕高は無いものの、洪水に対する堤防高は足りている状況となっています。利根川や下水道等の整備により、大きな水害は減少しています。

○柏市区間の利根川は堤防が整備されていますが、堤防が整備されていない無堤区間である下流区域の氾濫を防ぐ目的で本市区域の利根川堤防に越流提が設けられ、田中調節池に一時貯留し下流区域の洪水流量を低減させています。今後の大規模災害に備え、洪水調節容量を増大させる工事が予定（国土交通省・河川整備計画）されています。

○手賀沼及び手賀川では、排水ポンプの稼働により利根川に放流することが出来るようになっています。今後の災害に備え、施設管理者により、排水ポンプを最も効果的な場所へ設置することや、実際に洪水が起こった際に稼働できるようにしておくことが求められます。

【課題】

○本市の浸水想定区域内に、良好なインフラが整備され多くの居住がある柏ビレジ・布施新町・北柏などの地域が含まれています。災害に備えた情報伝達や避難行動の周知など、防災意識の向上が必要となっています。

○手賀沼・手賀川においては、我孫子市内の JR 成田線木下駅付近で破堤した場合のシミュレーションでは、北柏駅周辺において最大浸水深が発生するのは決壊約 30 時間後になります。北柏駅周辺の市街地に浸水が到達するまでには約9時間が想定され、災害発生に備えた避難体制の確立が求められます。

内水

【課題】

○都市化の進展、台風及び集中豪雨等により、出水の危険が増大することが懸念されます。

【現状】

○内水は都市化に伴いこれからも増大する可能性はありますが、大半が浸水深0.3m 以下であり、出水継続は比較的短時間です。

○市内の一部では、1.00m以上の浸水が想定されるエリアが点在し、0.50m以上の浸水深がまとまってみられるエリアや、最大 1.00m以上の浸水深が想定されるアンダーパスもあります。

土砂災害

【課題】

○居住誘導区域内の土砂災害警戒区域等について、情報伝達や避難行動の周知など、防災意識の向上が必要となっています。また、今後の千葉県のがけ地等の基礎調査の進捗による、土砂災害警戒区域箇所の新規指定に伴い、更なる避難体制の確立が求められます。

【現状】

○土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）等については令和4年に改定した立地適正化計画では居住誘導区域から除外しています。令和7年 12 月までの区域の指定後に追加された土砂災害特別警戒区域については、適宜区域除外を行ないます。

旧

7－4　防災・減災に向けた現状と課題の抽出

本市では様々な災害リスクが想定されていることを踏まえ、防災・減災に向けた課題を災害種別に整理します。

洪水

【利根川等河川整備の現状】

○本市を流れる利根川は、河川整備計画（国土交通省）において計画降雨（年発生確率 1/200 の降雨）で余裕高は無いものの、洪水に対する堤防高は足りている状況となっています。利根川や下水道等の整備により、大きな水害は減少しています。

○柏市区間の利根川は堤防が整備されていますが、堤防が整備されていない無堤区間である下流区域の氾濫を防ぐ目的で本市区域の利根川堤防に越流提が設けられ、田中調節池に一時貯留し下流区域の洪水流量を低減させています。今後の大規模災害に備え、洪水調節容量を増大させる工事が予定（国土交通省・河川整備計画）されています。

○手賀沼及び手賀川では、排水ポンプの稼働により利根川に放流することが出来るようになっています。今後の災害に備え、施設管理者により、排水ポンプを最も効果的な場所へ設置することや、実際に洪水が起こった際に稼働できるようにしておくことが求められます。

【課題】

○本市の浸水想定区域内に、良好なインフラが整備され多くの居住がある柏ビレジ・布施新町・北柏などの地域が含まれています。災害に備えた情報伝達や避難行動の周知など、防災意識の向上が必要となっています。

○手賀沼・手賀川においては、我孫子市内の JR 成田線木下駅付近で破堤した場合のシミュレーションでは、北柏駅周辺において最大浸水深が発生するのは決壊約 30 時間後になります。北柏駅周辺の市街地に浸水が到達するまでには約9時間が想定され、災害発生に備えた避難体制の確立が求められます。

内水

【課題】

○都市化の進展、台風及び集中豪雨等により、出水の危険が増大することが懸念されます。

【現状】

○内水は都市化に伴いこれからも増大する可能性はありますが、大半が浸水深0.3m 以下であり、出水継続は比較的短時間です。

○市内の一部では、1.00m以上の浸水が想定されるエリアが点在し、0.50m以上の浸水深がまとまってみられるエリアや、最大 1.00m以上の浸水深が想定されるアンダーパスもあります。

土砂災害

【課題】

○居住誘導区域内の土砂災害警戒区域等について、情報伝達や避難行動の周知など、防災意識の向上が必要となっています。また、今後の千葉県のがけ地等の基礎調査の進捗による、土砂災害警戒区域箇所の新規指定に伴い、更なる避難体制の確立が求められます。

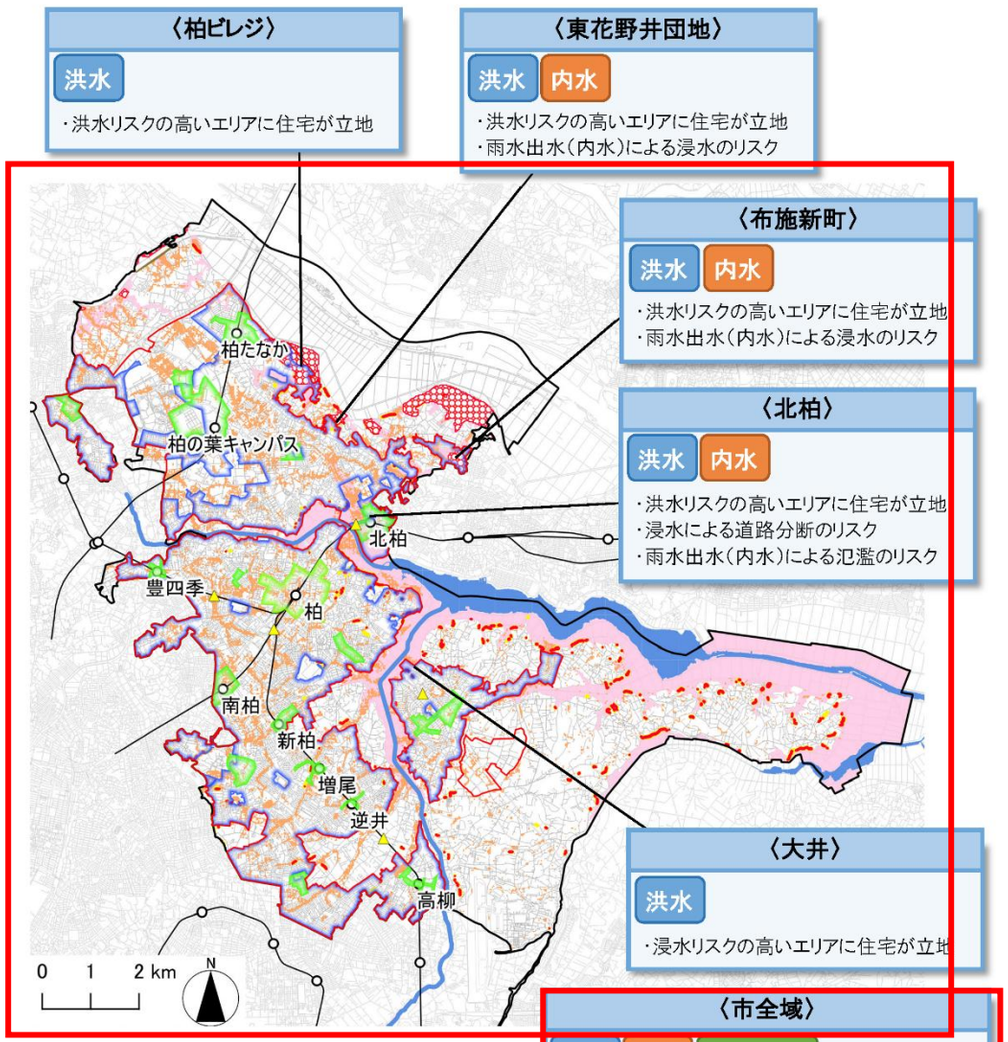
【現状】

○土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）等については平成 30 年に策定した立地適正化計画では居住誘導区域から除外しています。令和 2 年（1 月以降）の区域の見直し以降に追加された土砂災害特別警戒区域については、適宜区域除外を行ないます。

新旧対照表

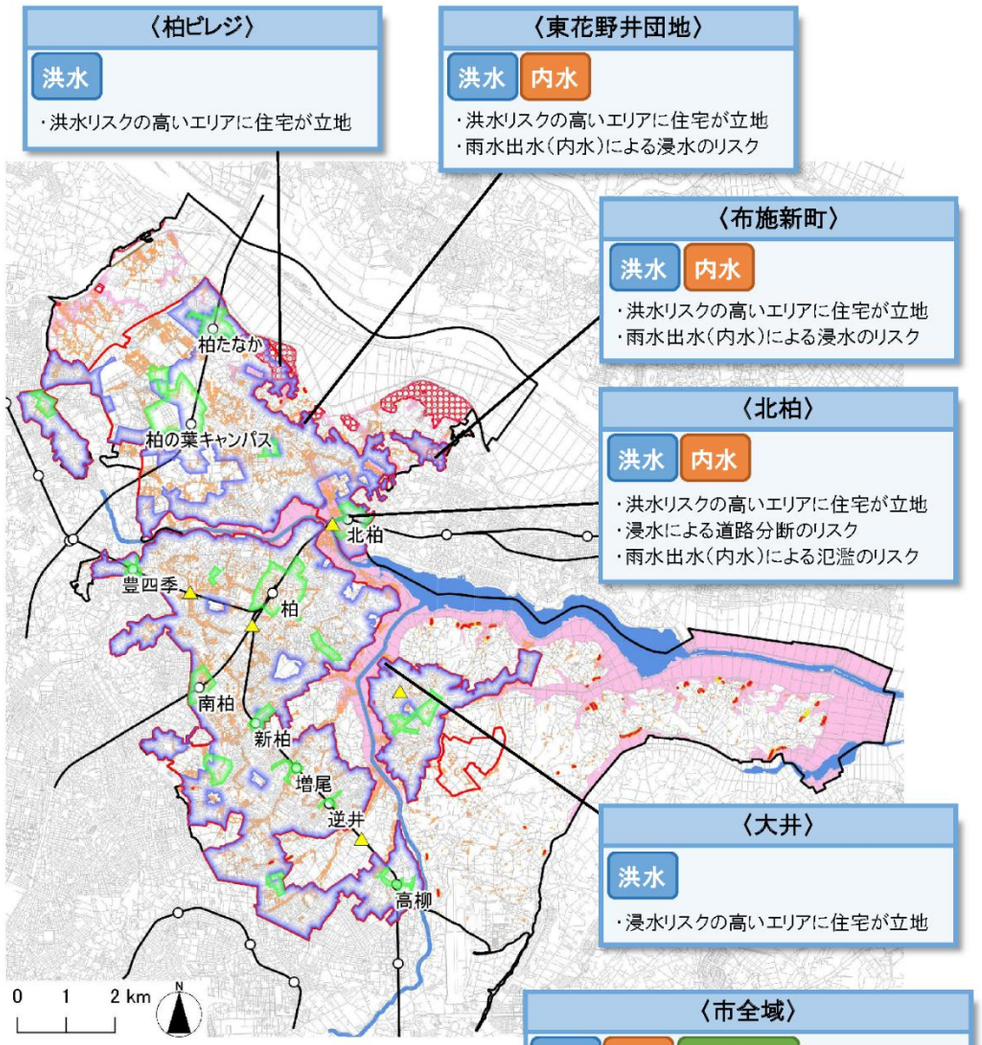
新

【災害リスクの全体像】



旧

【災害リスクの全体像】

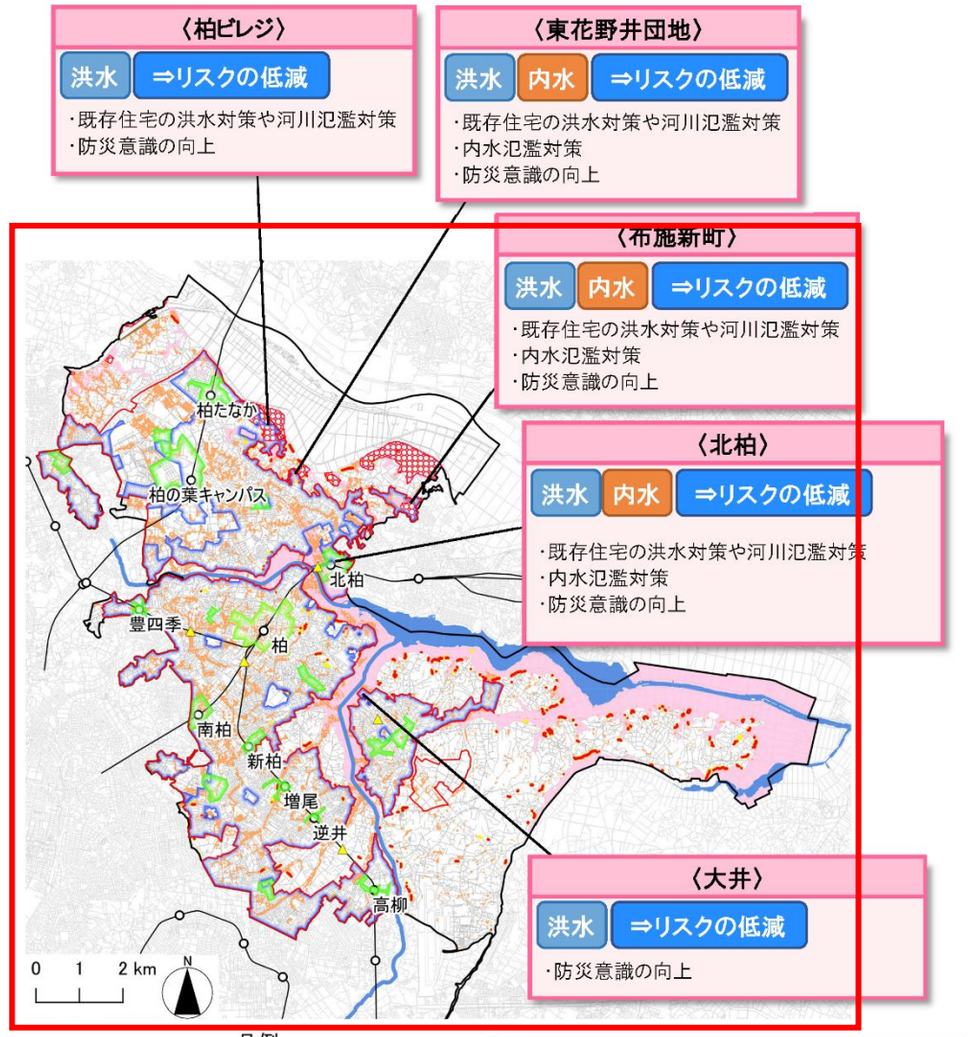


新旧対照表

新

7－5　防災まちづくりの取組方針

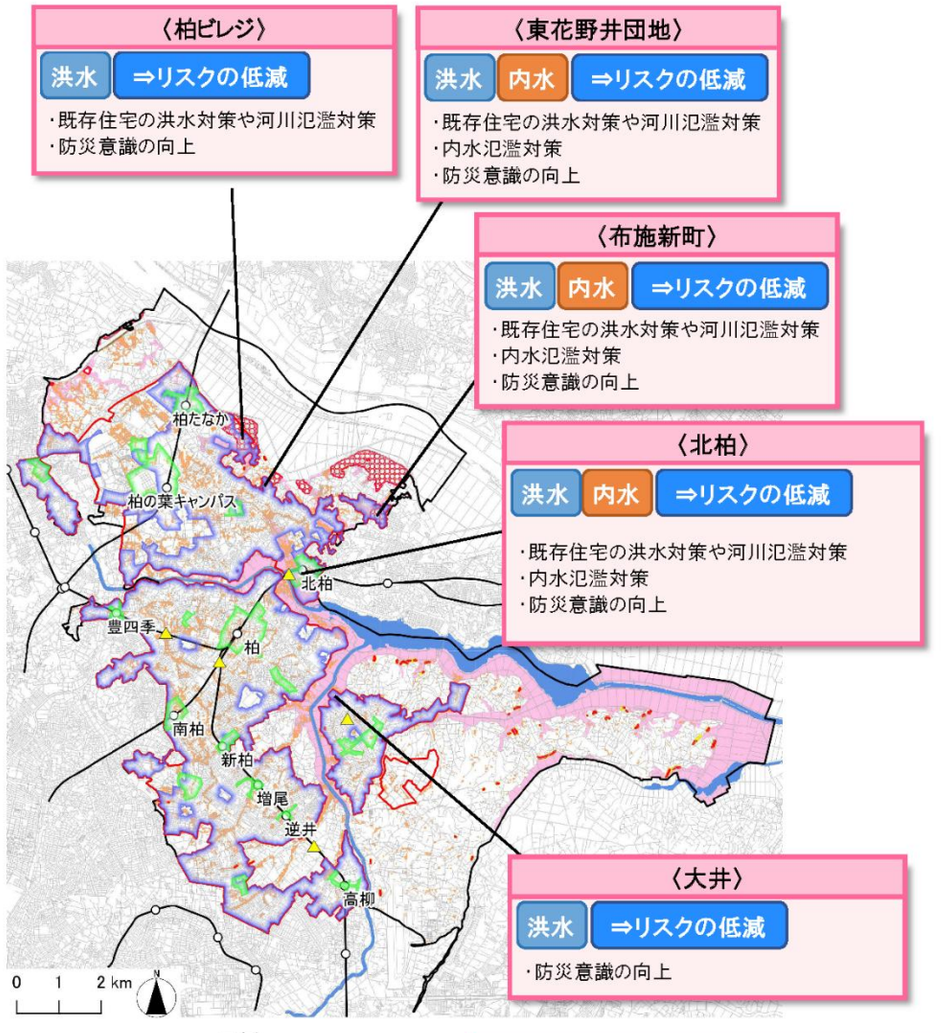
本市の防災まちづくりの取り組み方針は以下の通りです。河川氾濫対策や内水氾濫対策などに取り組むとともに、地域の防災意識向上を図ることで、リスクの低減やリスク回避を図ります。



旧

7－5　防災まちづくりの取組方針

本市の防災まちづくりの取り組み方針は以下の通りです。河川氾濫対策や内水氾濫対策などに取り組むとともに、地域の防災意識向上を図ることで、リスクの低減やリスク回避を図ります。



新旧対照表

新

5）災害

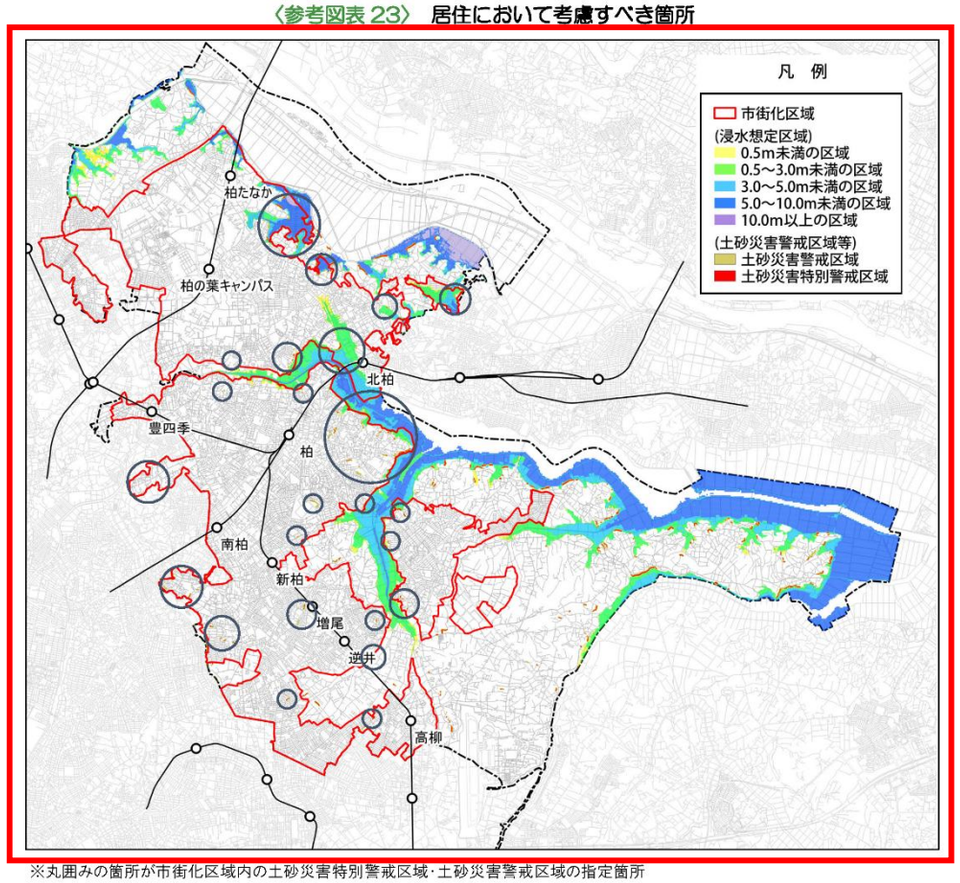
①居住において考慮すべき箇所の存在

○本市では、居住において考慮すべき箇所として、「浸水想定区域」と「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」があります。

○浸水想定区域は、利根川・大堀川・大津川・利根運河等の河岸や手賀沼周辺等にて、大雨によって増水し、堤防が決壊した場合を想定した影響範囲において指定されています。

○土砂災害警戒区域が 188 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 165 箇所）指定されています。その内、市街化区域では、土砂災害警戒区域が 84 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 65 箇所）指定されています。

〈参考図表 23〉 居住において考慮すべき箇所



※丸囲みの箇所が市街化区域内の土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域の指定箇所

出典：
浸水想定区域：市提供資料(R3年度時点)
土砂災害警戒区域等：千葉県資料

旧

5）災害

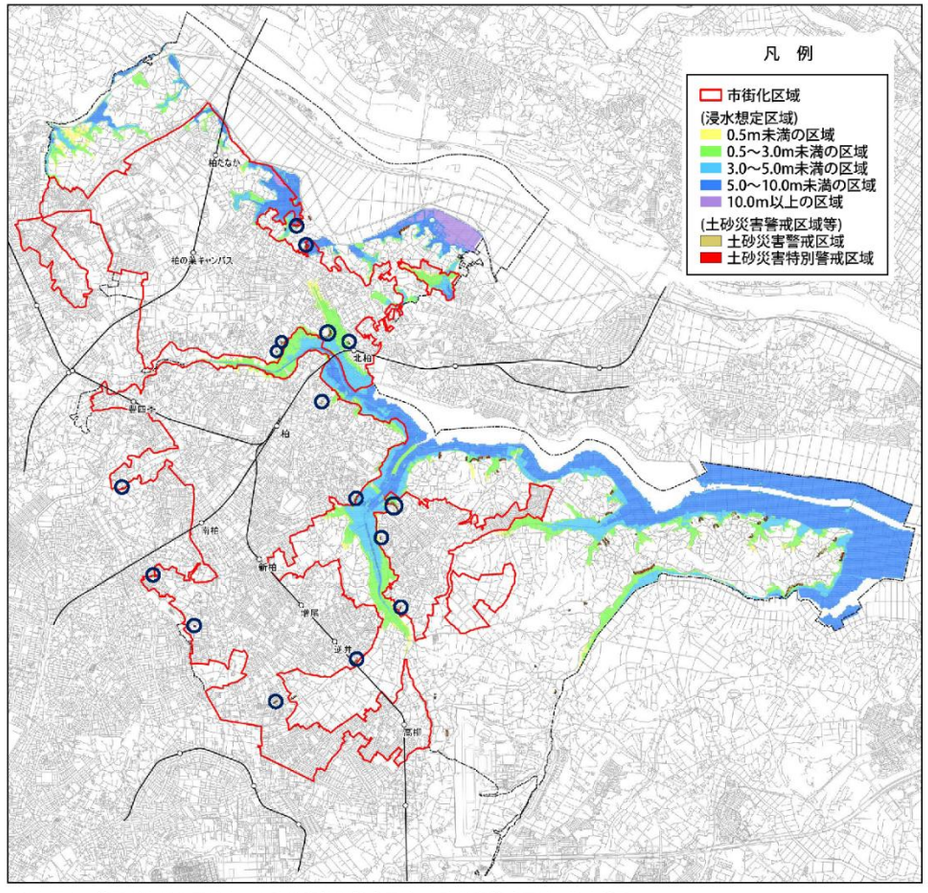
①居住において考慮すべき箇所の存在

○本市では、居住において考慮すべき箇所として、「浸水想定区域」と「土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域」があります。

○浸水想定区域は、利根川・大堀川・大津川・利根運河等の河岸や手賀沼周辺等にて、大雨によって増水し、堤防が決壊した場合を想定した影響範囲において指定されています。

○土砂災害警戒区域が 57 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 55 箇所）指定されています。その内、市街化区域では、土砂災害警戒区域が 16 箇所（うち土砂災害特別警戒区域が 15 箇所）指定されています。

〈参考図表 23〉 居住において考慮すべき箇所



※丸囲みの箇所が市街化区域内の土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域の指定箇所

出典：
浸水想定区域：市提供資料(R3年度時点)
土砂災害警戒区域等：千葉県資料

新旧対照表

新

【都市拠点】①柏駅

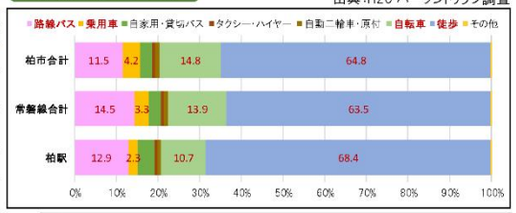
人口特性 ※駅から半径 1,000m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	36,125 人	115.1 人/ha	4,318人 12.0%	25,746人 71.2%	6,062人 16.8%
↓（増減数）	5,508	17.5	122	-239	5,626
R22年	41,634 人	132.6 人/ha	4,440人 10.7%	25,506人 61.2%	11,688人 28.1%

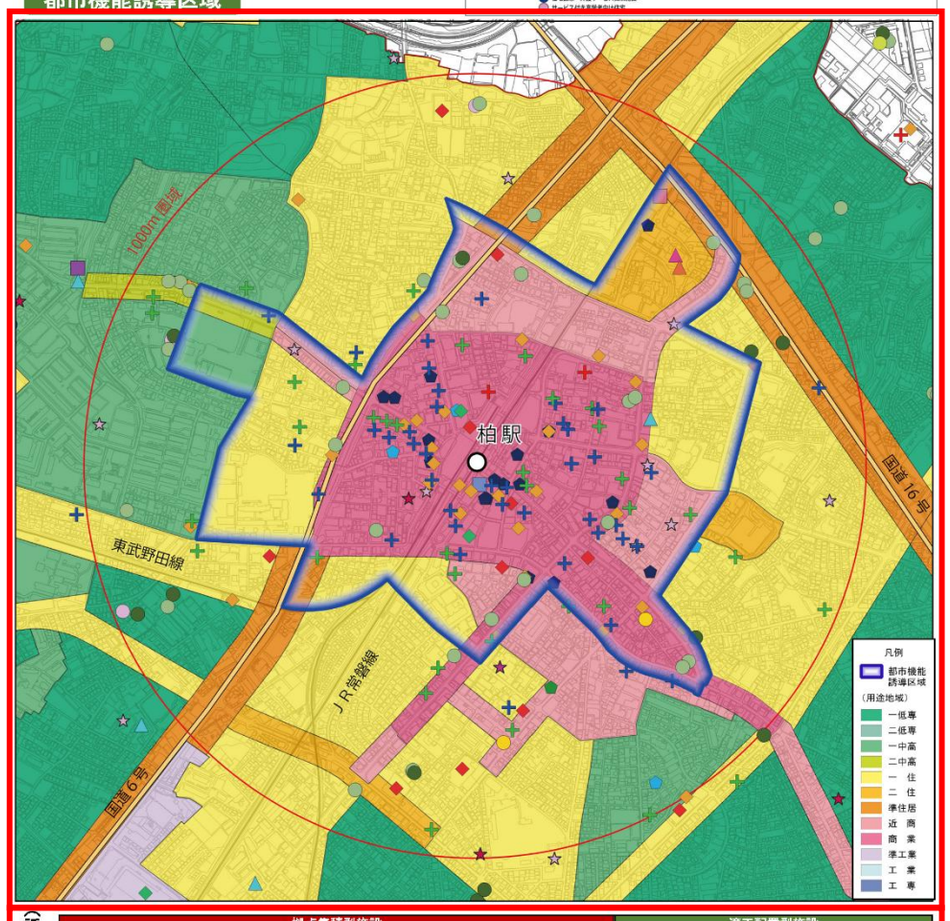
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：194,501 人/日
※市内10駅のうち、第1位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																					適正配置型施設										
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化							介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）			（デイサービス等）	（訪問介護・看護等）	（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ					
区域内	1	0	0	1	0	1	2	4	2	17	1	0	1	0	1			2	13	0	3	1	0	27	22	3	22					
圏域内	1	0	0	2	0	4	2	9	2	17	1	0	1	0	1			8	29	0	7	2	1	35	38	4	31					

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

【都市拠点】①柏駅

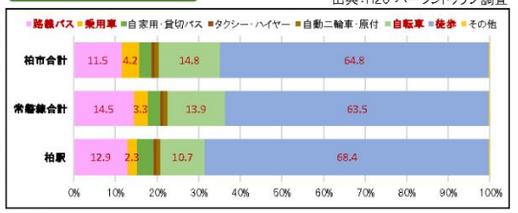
人口特性 ※駅から半径 1,000m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	36,125 人	115.1 人/ha	4,318人 12.0%	25,746人 71.2%	6,062人 16.8%
↓（増減数）	5,508	17.5	122	-239	5,626
R22年	41,634 人	132.6 人/ha	4,440人 10.7%	25,506人 61.2%	11,688人 28.1%

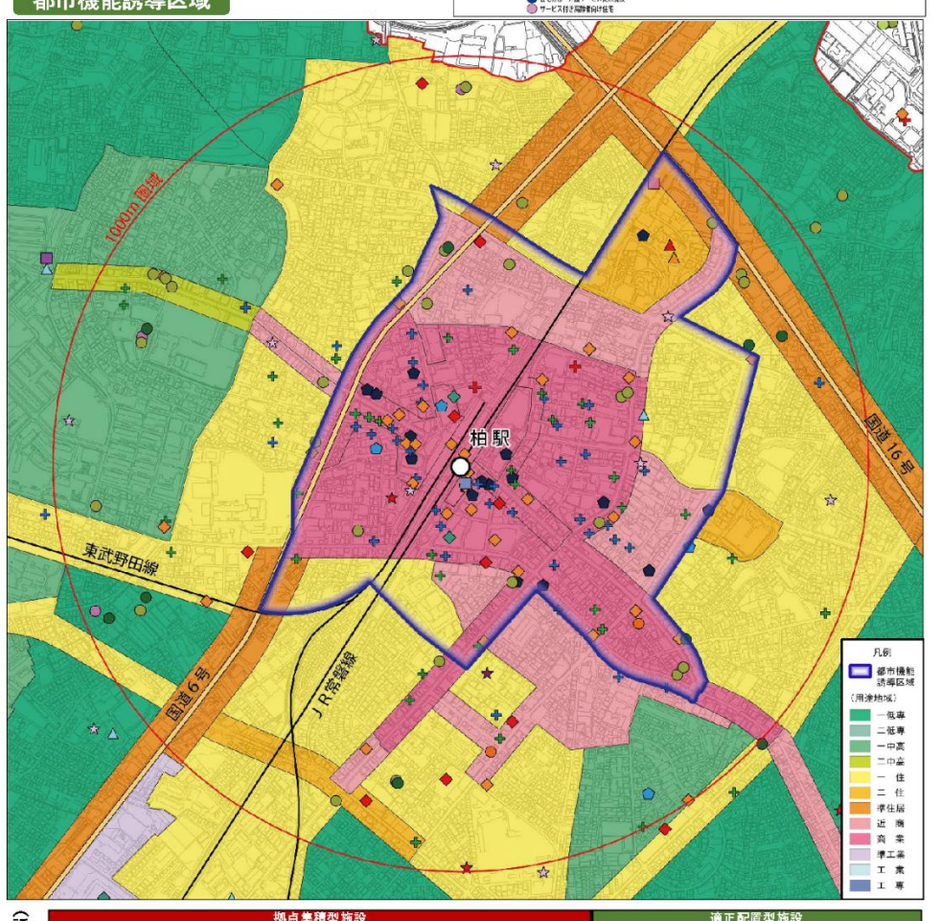
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：194,501 人/日
※市内10駅のうち、第1位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																					適正配置型施設										
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化							介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館		文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）			通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ					
区域内	1	0	0	1	0	1	2	4	2	17	1	0	1	1				2	13	0	3	1	0	27	22	3	22					
圏域内	1	0	0	2	0	4	2	9	2	17	1	0	1	1				8	29	0	7	2	1	35	38	4	31					

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

旧

【都市拠点】②柏の葉キャンパス駅

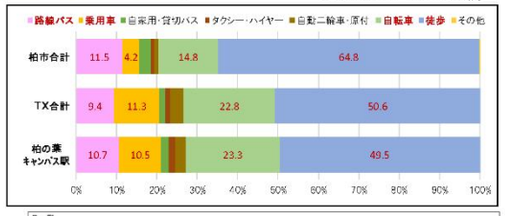
人口特性 ※駅から半径 1,000m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段)		
			年少	生産	高齢
H22年	10,240	32.6	1,709人	7,184人	1,347人
	人	人/ha	16.7%	70.1%	13.2%
↓(増減数)	14,856	47.3	1,062	8,582	5,212
R22年	25,096	80.0	2,771人	15,766人	6,559人
	人	人/ha	11.0%	62.9%	26.1%

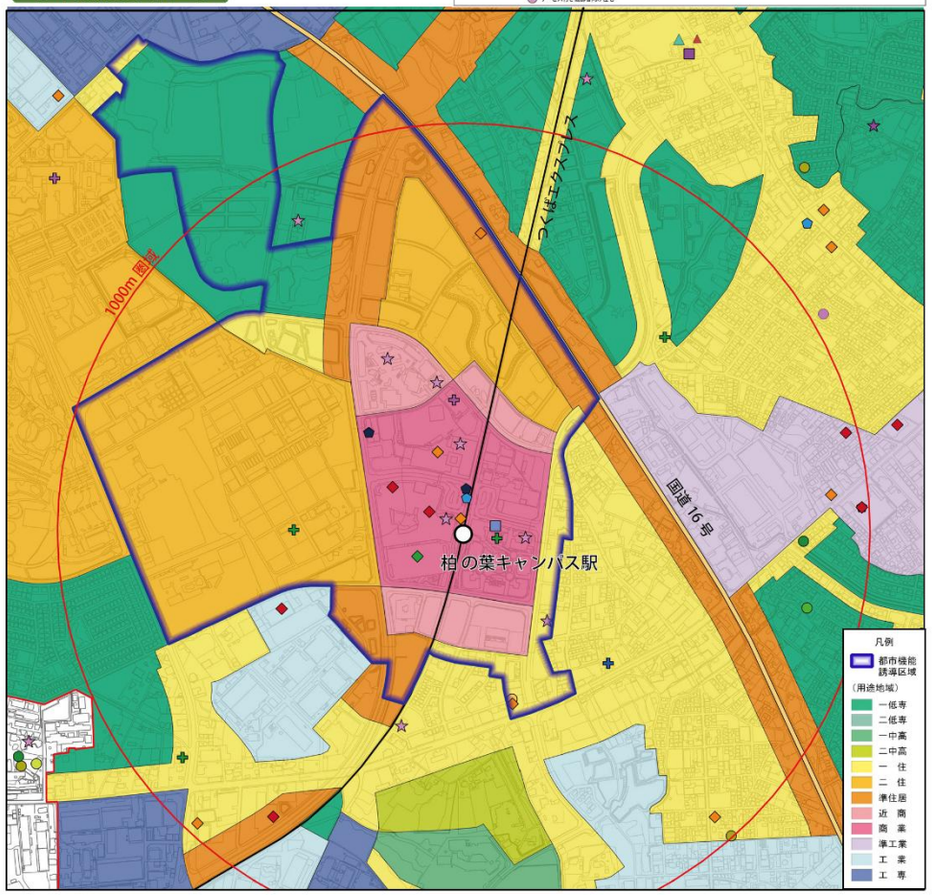
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：14,996 人/日
※市内10駅のうち、第4位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



(誘導施設の立地状況)

機能	拠点集積型施設																		適正配置型施設											
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化								介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	藤棚教育学校	文化交流施設(ホール、公民館、近隣センター)	適正系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	1	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	4	2	1	4
圏域内	0	0	0	1	0	0	1	6	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	8	0	0	7	4	1	6

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

【都市拠点】②柏の葉キャンパス駅

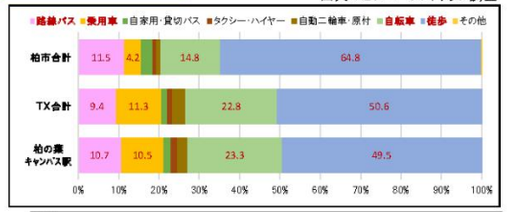
人口特性 ※駅から半径 1,000m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段)		
			年少	生産	高齢
H22年	10,240	32.6	1,709人	7,184人	1,347人
	人	人/ha	16.7%	70.1%	13.2%
↓(増減数)	14,856	47.3	1,062	8,582	5,212
R22年	25,096	80.0	2,771人	15,766人	6,559人
	人	人/ha	11.0%	62.9%	26.1%

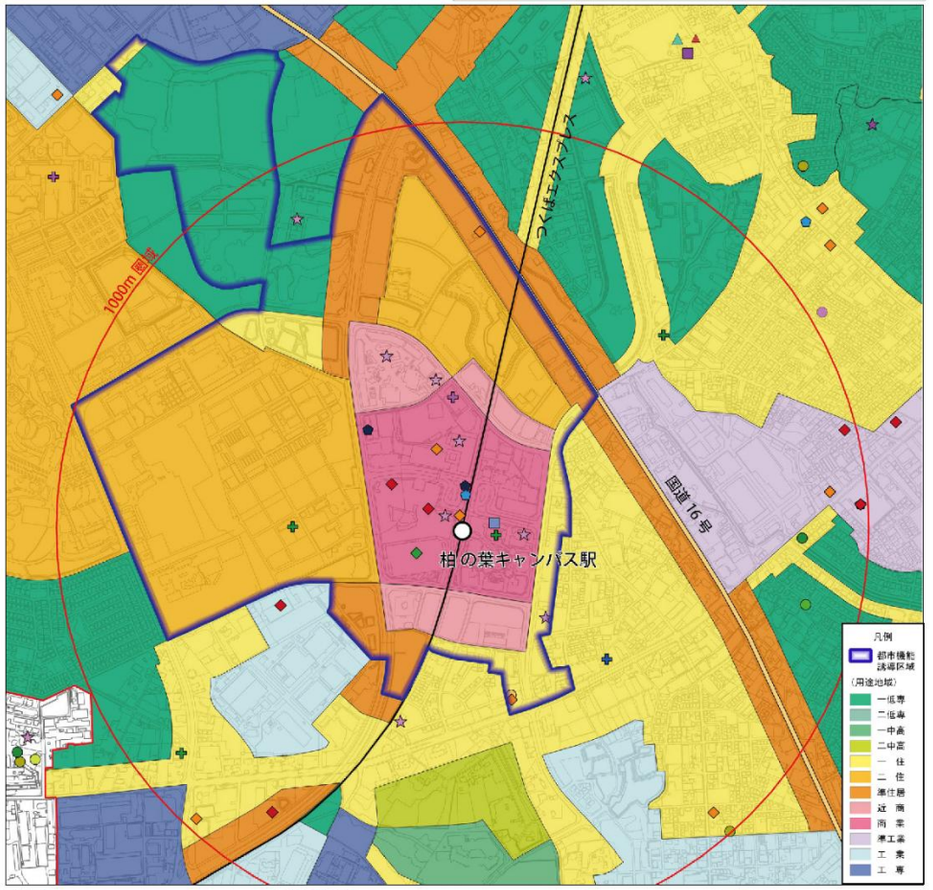
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：14,996 人/日
※市内10駅のうち、第4位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



(誘導施設の立地状況)

機能	拠点集積型施設																		適正配置型施設											
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化								介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	藤棚教育学校	文化交流施設(ホール、公民館、近隣センター)	適正系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	1	0	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	4	2	1	4
圏域内	0	0	0	1	0	0	1	6	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	8	0	0	7	4	1	6

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

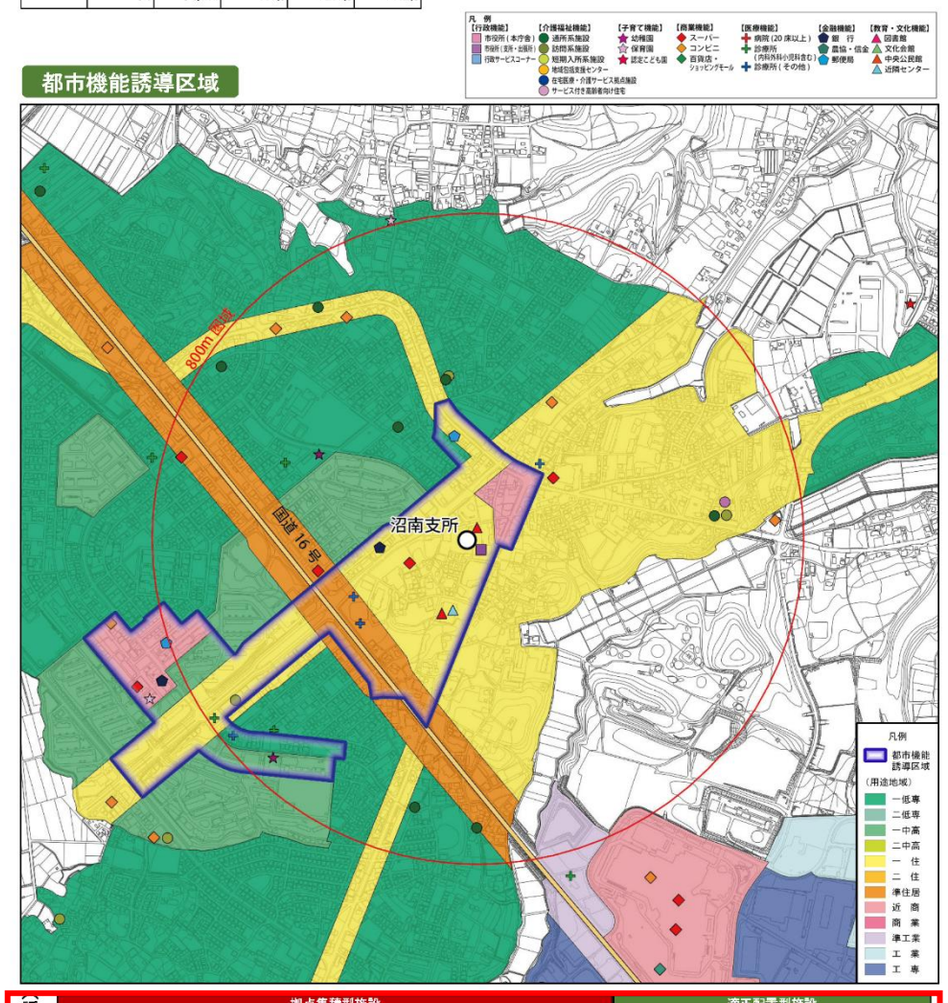
参考資料

【ふれあい交流拠点】①沼南支所周辺

人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	8,647 人	43.0 人/ha	1,089人 12.6%	5,701人 65.9%	1,857人 21.5%
↓（増減数）	−2,451	−12.2	−498	−2,461	508
R22年	6,196 人	30.8 人/ha	591人 9.5%	3,240人 52.3%	2,365人 38.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																			適正配置型施設												
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化									介護福祉			子育て			商業	医療	金融				
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）				通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ				
区域内	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2				0	1	0	1	0	1	1	1	2	1				
圏域内	0	0	1	0	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	2				7	3	0	0	0	2	4	3	2	4				

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

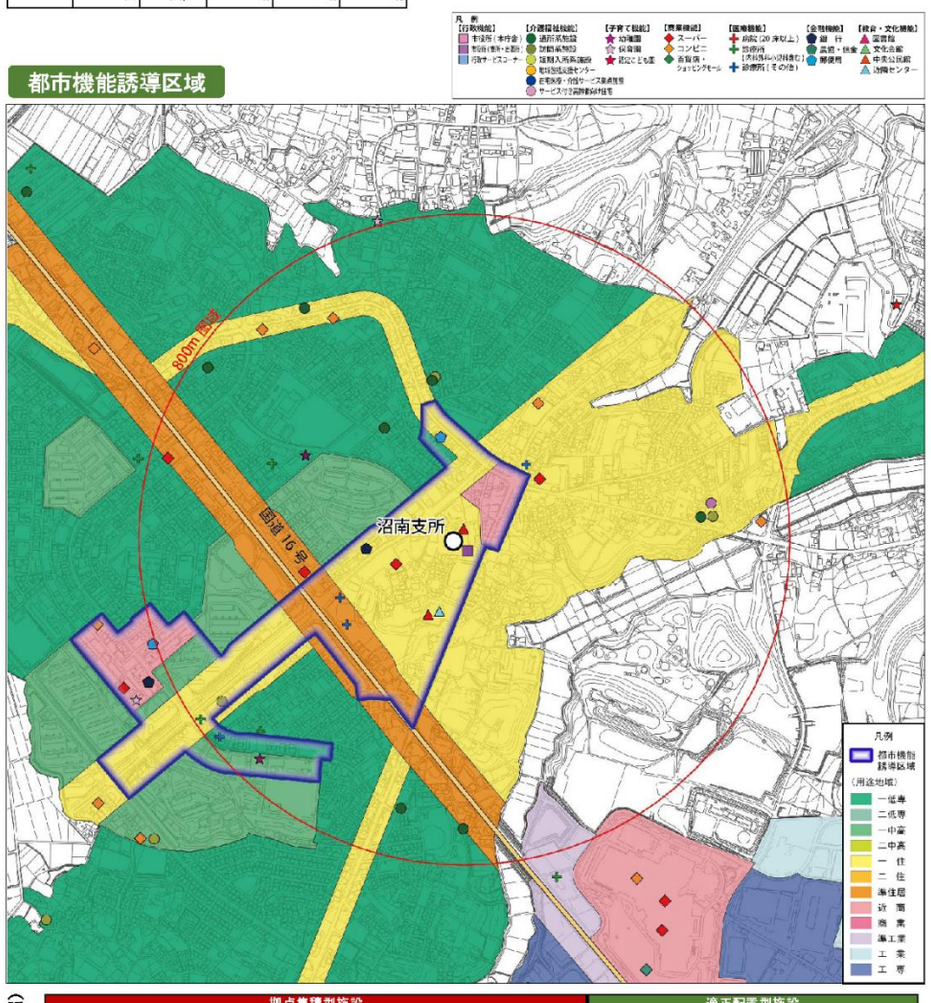
参考資料

【ふれあい交流拠点】①沼南支所周辺

人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	8,647 人	43.0 人/ha	1,089人 12.6%	5,701人 65.9%	1,857人 21.5%
↓（増減数）	−2,451	−12.2	−498	−2,461	508
R22年	6,196 人	30.8 人/ha	591人 9.5%	3,240人 52.3%	2,365人 38.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																			適正配置型施設												
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化									介護福祉			子育て			商業	医療	金融				
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）				通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ				
区域内	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2				0	1	0	1	0	1	1	1	2	1				
圏域内	0	0	1	0	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	2				7	3	0	0	0	2	4	3	2	4				

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

【生活拠点】①柏たなか駅

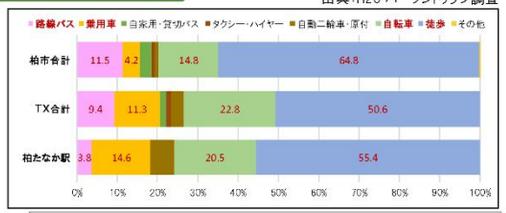
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段) 年少	生産	高齢
H22年	3,557 人	17.7 人/ha	592人 16.6%	2,517人 70.8%	449人 12.6%
↓(増減数)	8,393	41.8	732	5,005	2,657
R22年	11,951 人	59.5 人/ha	1,324人 11.1%	7,522人 62.9%	3,106人 26.0%

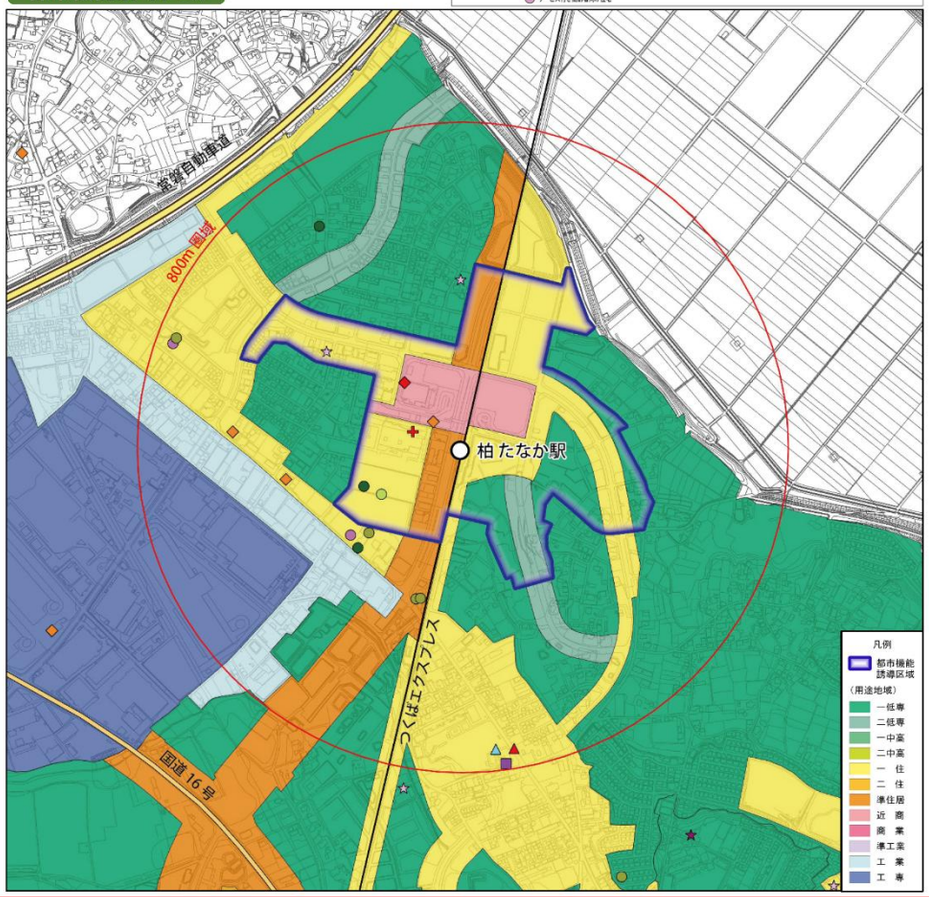
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：4,006 人/日
※市内10駅のうち、第 10 位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



(誘導施設の立地状況)

機能	拠点集積型施設 行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化					適正配置型施設 介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設(ホール・公民館・近隣センター)	通所系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1
圏域内	0	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3	4	1	2	0	0	3	0	0	3

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

【生活拠点】①柏たなか駅

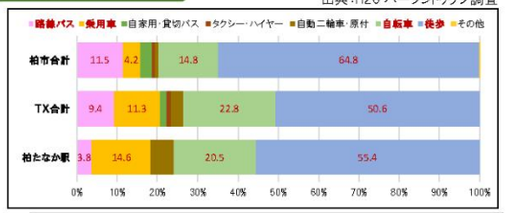
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段) 年少	生産	高齢
H22年	3,557 人	17.7 人/ha	592人 16.6%	2,517人 70.8%	449人 12.6%
↓(増減数)	8,393	41.8	732	5,005	2,657
R22年	11,951 人	59.5 人/ha	1,324人 11.1%	7,522人 62.9%	3,106人 26.0%

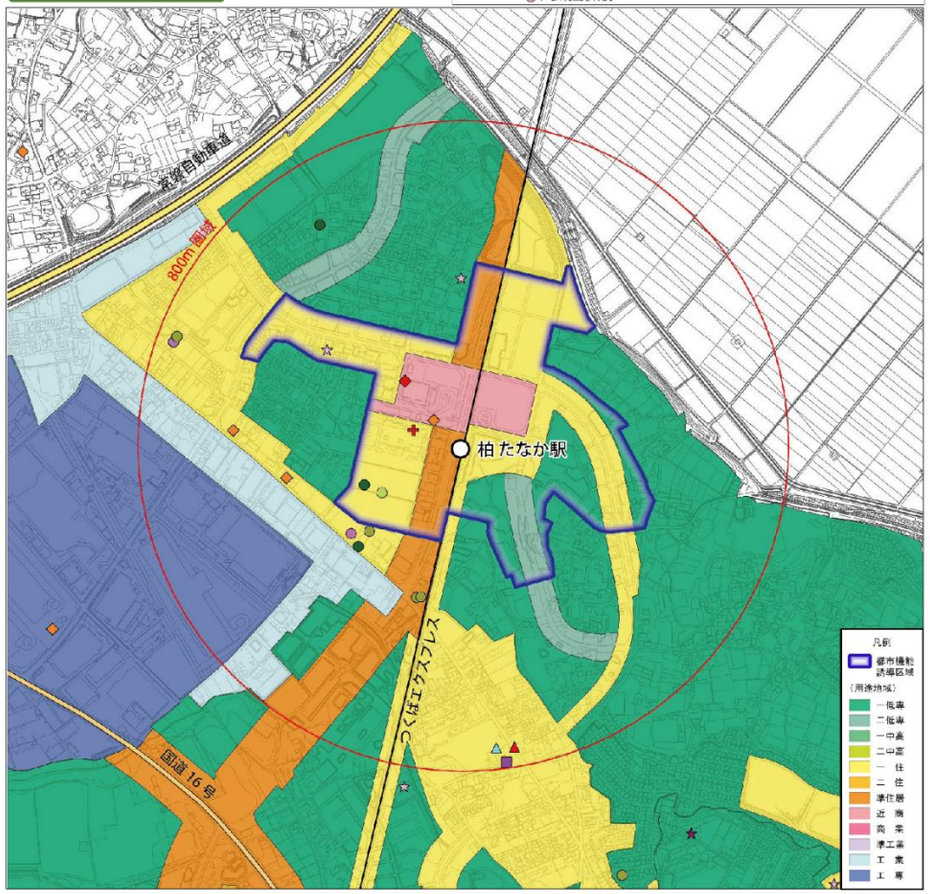
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：4,006 人/日
※市内10駅のうち、第 10 位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



(誘導施設の立地状況)

機能	拠点集積型施設 行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化				適正配置型施設 介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	文化交流施設(ホール・公民館・近隣センター)	通所系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1
圏域内	0	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	3	4	1	2	0	0	3	0	0	3

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

旧

【生活拠点】②豊四季駅

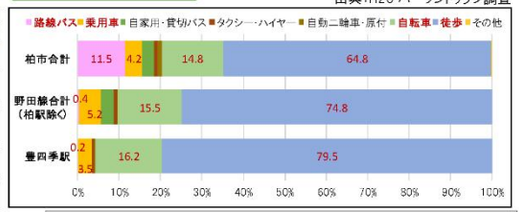
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	7,745 人	83.0 人/ha	1,080人 13.9%	5,235人 67.6%	1,430人 18.5%
↓（増減数）	1,608	17.2	5	658	945
R22年	9,354 人	100.3 人/ha	1,085人 11.6%	5,893人 63.0%	2,375人 25.4%

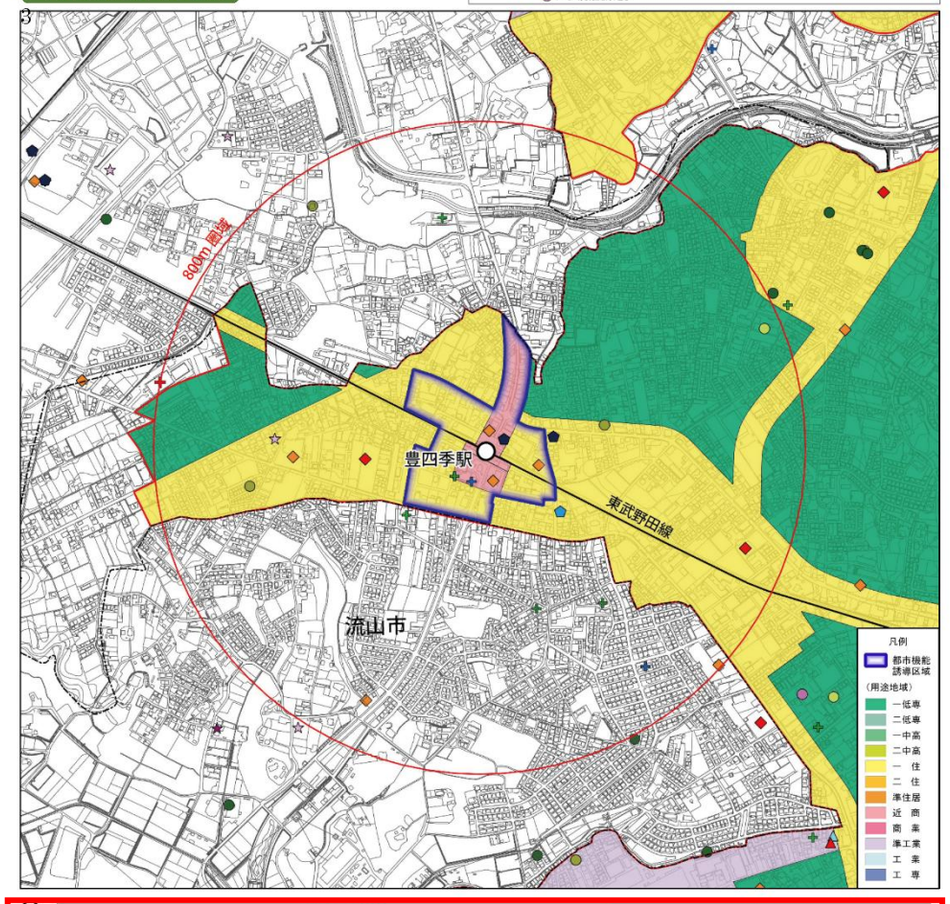
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：7,329 人/日
※市内10駅のうち、第6位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																適正配置型施設										
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化						介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ	
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	0	3	1	0	2	
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0		1	2	1	2	0	0	6	5	1	2	

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

参考資料

【生活拠点】②豊四季駅

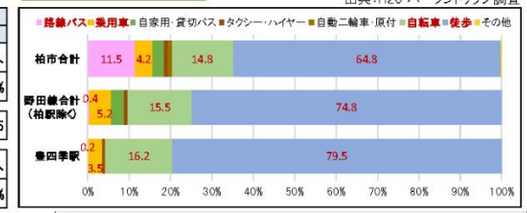
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	7,745 人	83.0 人/ha	1,080人 13.9%	5,235人 67.6%	1,430人 18.5%
↓（増減数）	1,608	17.2	5	658	945
R22年	9,354 人	100.3 人/ha	1,085人 11.6%	5,893人 63.0%	2,375人 25.4%

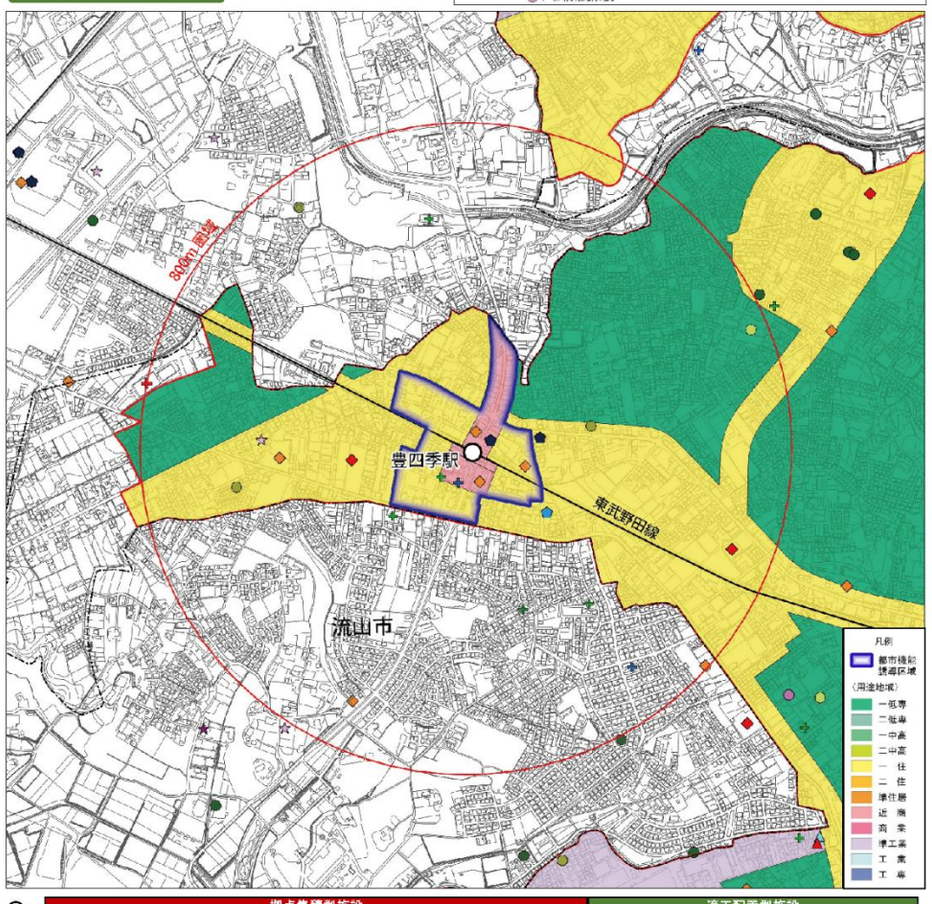
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：7,329 人/日
※市内10駅のうち、第6位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																適正配置型施設										
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化						介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ	
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	1	0	0	3	1	0	2	
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0		1	2	1	2	0	0	6	5	1	2	

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

【生活拠点】③北柏駅

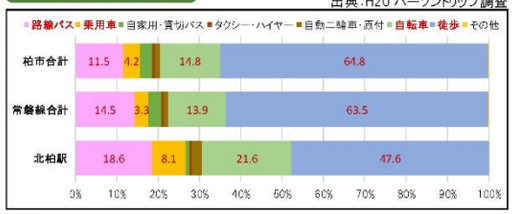
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段) 年少	生産	高齢
H22年	9,864 人	64.7 人/ha	1,219人 12.4%	7,133人 72.3%	1,512人 15.3%
↓(増減数)	-2,598	-17.0	-669	-3,331	1,403
R22年	7,266 人	47.7 人/ha	549人 7.6%	3,802人 52.3%	2,915人 40.1%

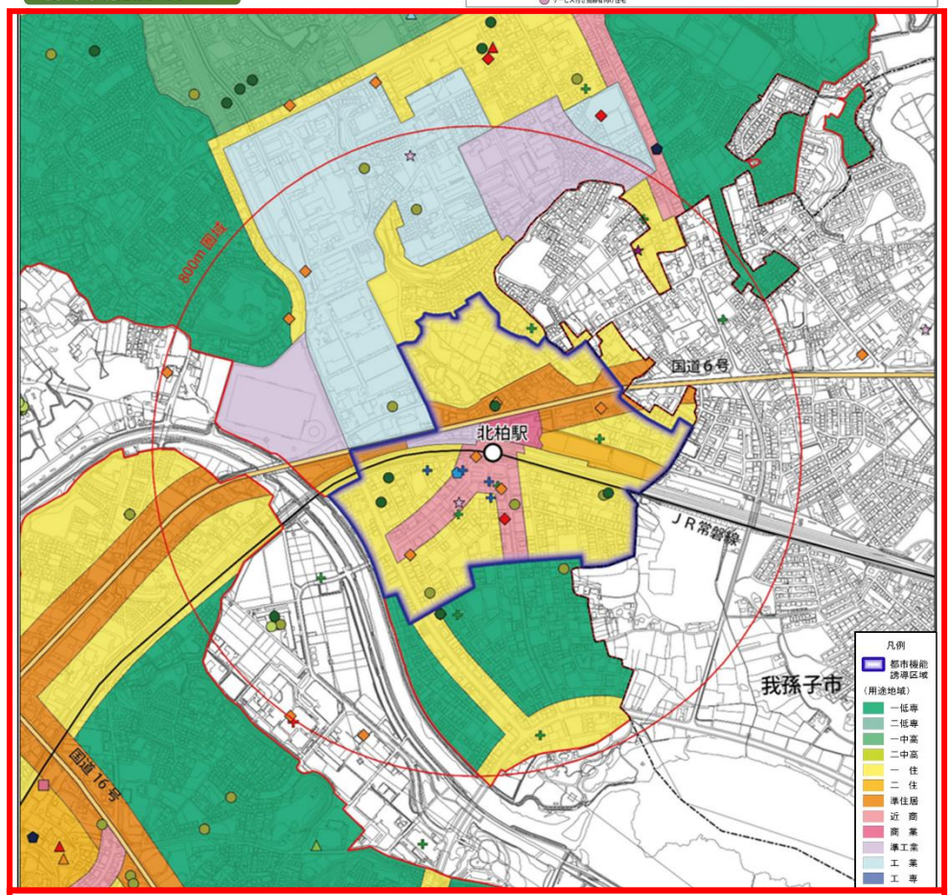
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：19,444 人/日
※市内10駅のうち、第3位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	行政			介護福祉				商業		医療	金融	教育・文化				介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設(ホール・公民館・近隣センター)	通所系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	0	0	5	3	1	5
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	6	9	1	2	0	1	11	9	1	11

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

【生活拠点】③北柏駅

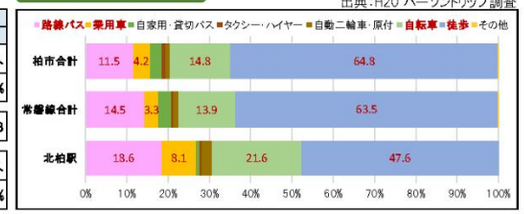
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段) 年少	生産	高齢
H22年	9,864 人	64.7 人/ha	1,219人 12.4%	7,133人 72.3%	1,512人 15.3%
↓(増減数)	-2,598	-17.0	-669	-3,331	1,403
R22年	7,266 人	47.7 人/ha	549人 7.6%	3,802人 52.3%	2,915人 40.1%

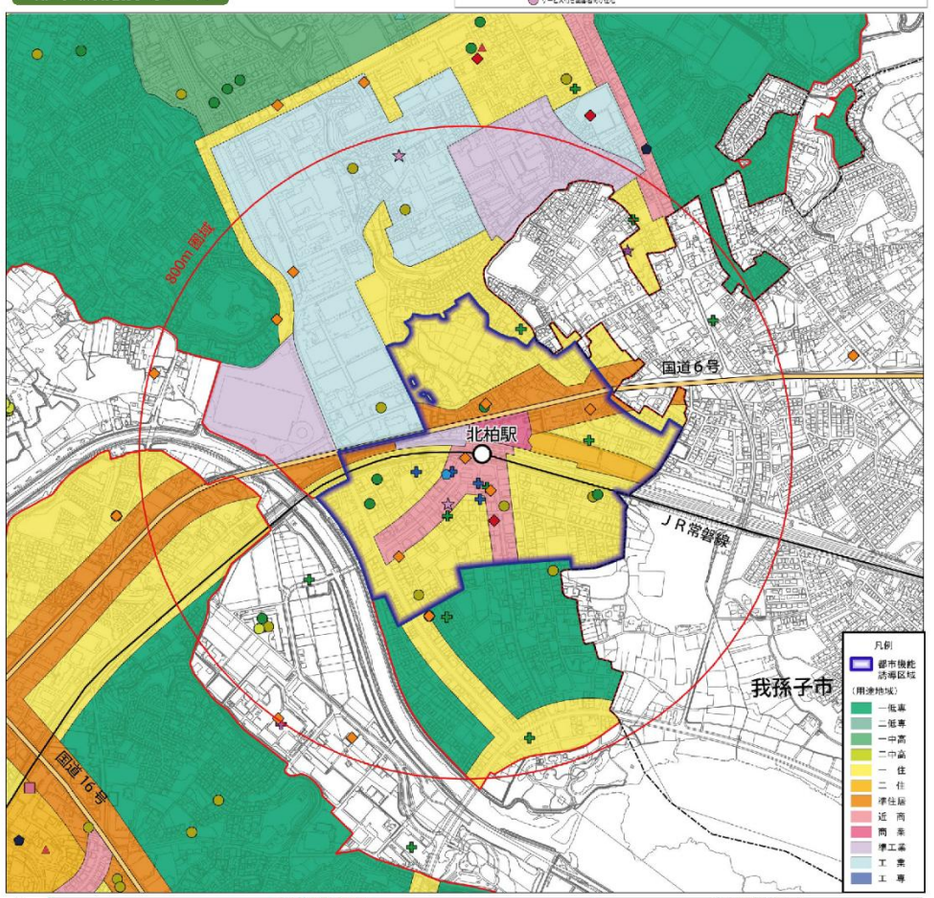
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：19,444 人/日
※市内10駅のうち、第3位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	行政			介護福祉			商業	医療	金融	教育・文化				介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	文化交流施設(ホール・公民館・近隣センター)	通所系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1	0	0	5	3	1	5
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	9	1	2	0	1	11	9	1	11

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

参考資料

【生活拠点】④南柏駅

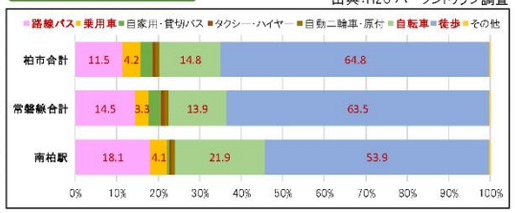
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	13,016 人	104.6 人/ha	1,926人	9,126人	1,964人
			14.8%	70.1%	15.1%
↓（増減数）	1,597	12.8	-298	-176	2,070
R22年	14,612 人	117.4 人/ha	1,628人	8,950人	4,034人
			11.1%	61.3%	27.6%

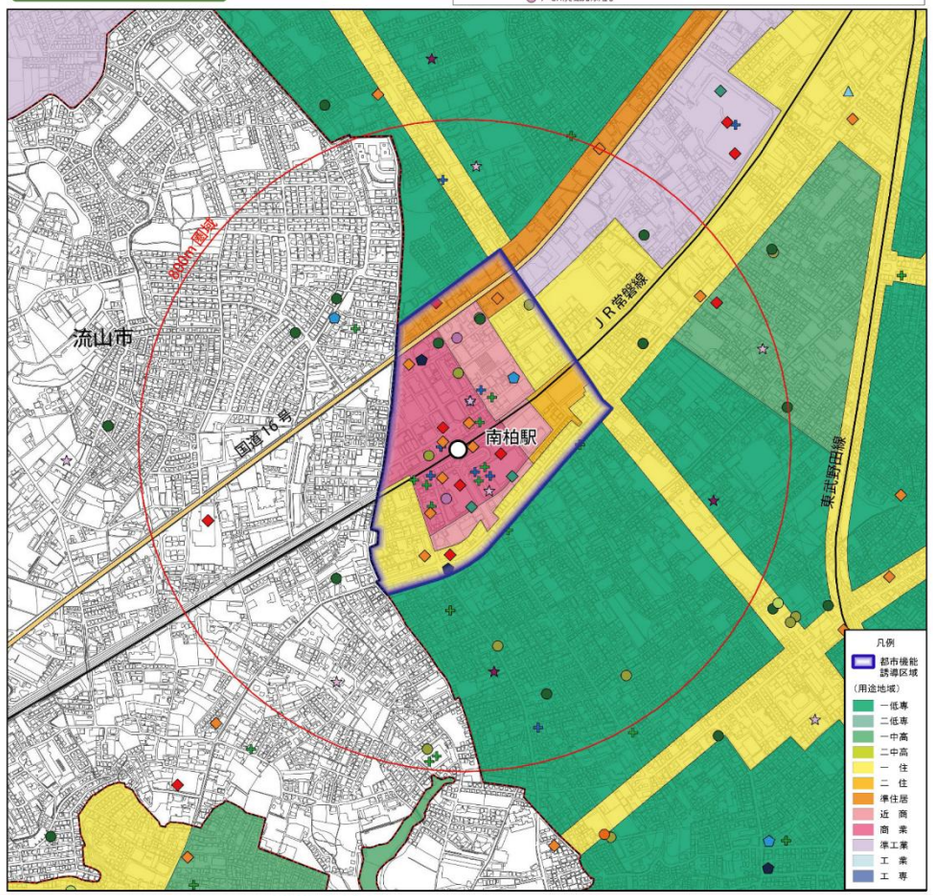
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：32,315 人/日
※市内10駅のうち、第2位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																	適正配置型施設										
	行政			介護福祉		商業		医療	金融	教育・文化								介護福祉		子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	2	2	5	0	2	0	0	0	0	0	2	4	0	2	0	0	8	8	1	6
圏域内	0	0	0	0	0	2	2	6	0	2	0	0	0	0	0	6	7	0	5	0	2	10	14	2	7

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

参考資料

【生活拠点】④南柏駅

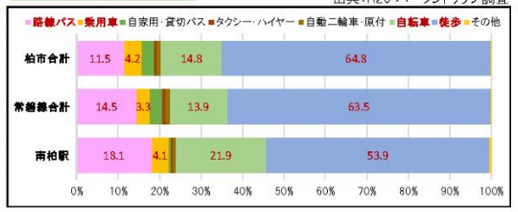
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	13,016 人	104.6 人/ha	1,926人	9,126人	1,964人
			14.8%	70.1%	15.1%
↓（増減数）	1,597	12.8	-298	-176	2,070
R22年	14,612 人	117.4 人/ha	1,628人	8,950人	4,034人
			11.1%	61.3%	27.6%

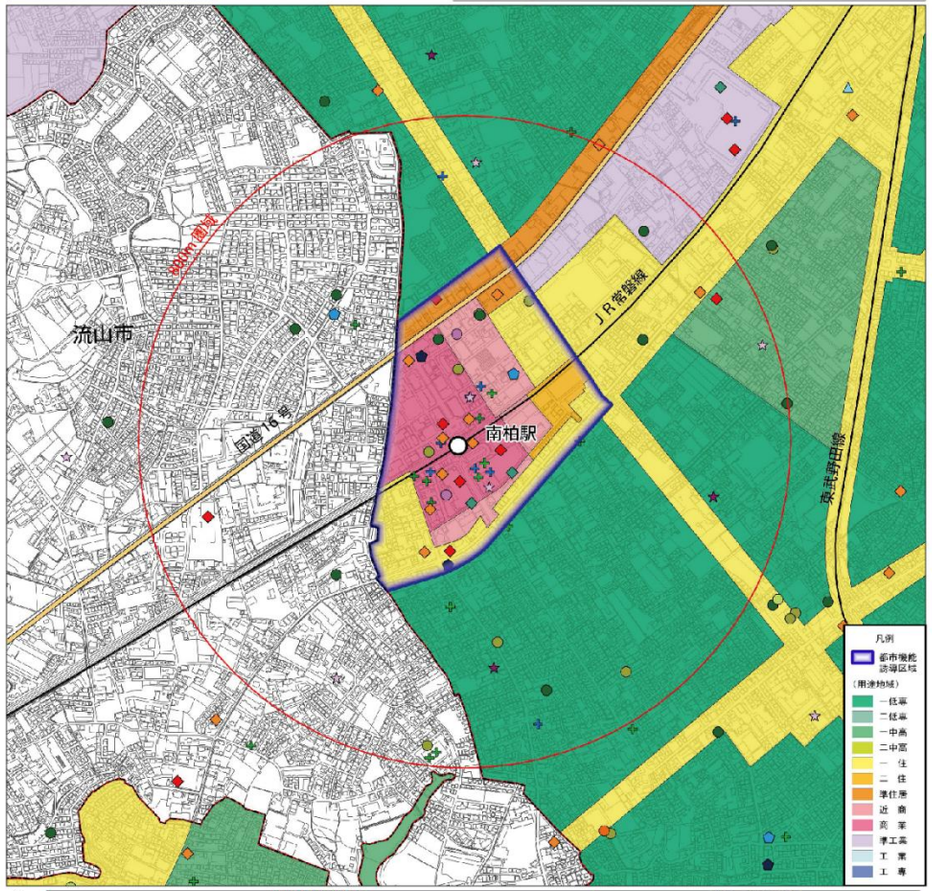
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：32,315 人/日
※市内10駅のうち、第2位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																	適正配置型施設										
	行政			介護福祉		商業		医療	金融	教育・文化								介護福祉		子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	2	2	5	0	2	0	0	0	0		2	4	0	2	0	0	8	8	1	6
圏域内	0	0	0	0	0	2	2	6	0	2	0	0	0	0		6	7	0	5	0	2	10	14	2	7

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

【生活拠点】⑤新柏駅

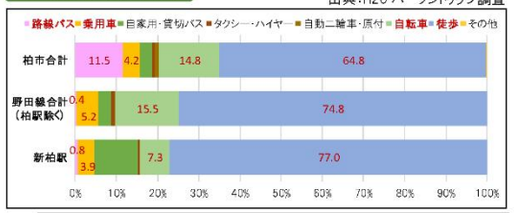
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段) 年少	生産	高齢
H22年	22,535 人	112.2 人/ha	3,269人 14.5%	14,841人 65.9%	4,426人 19.6%
↓(増減数)	-3,433	-17.1	-1,289 -4,505		2,362
R22年	19,103 人	95.1 人/ha	1,980人 10.4%	10,336人 54.1%	6,788人 35.5%

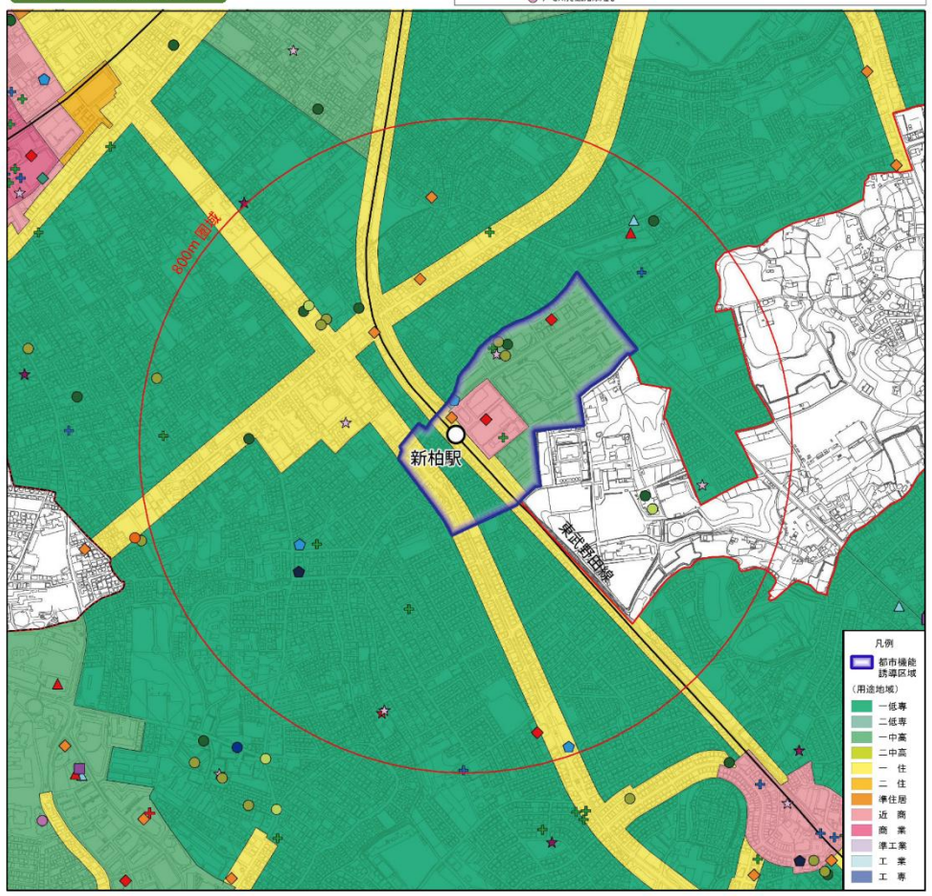
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：10,007 人/日
※市内10駅のうち、第5位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



(誘導施設の立地状況)

機能	拠点集積型施設 行政			介護福祉				商業		医療	金融	教育・文化				適正配置型施設 介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設(ホール・公民館・近隣センター)	通所系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	2	1	1
圏域内	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1	1	0	0	0	1	6	5	2	4	1	1	4	6	3	4

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

【生活拠点】⑤新柏駅

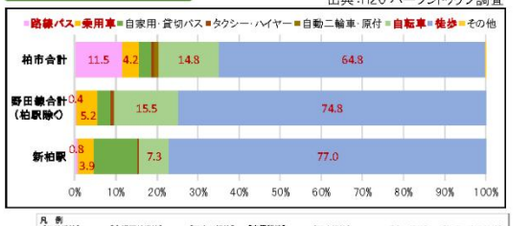
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口(上段)・構成比(下段) 年少	生産	高齢
H22年	22,535 人	112.2 人/ha	3,269人 14.5%	14,841人 65.9%	4,426人 19.6%
↓(増減数)	-3,433	-17.1	-1,289 -4,505		2,362
R22年	19,103 人	95.1 人/ha	1,980人 10.4%	10,336人 54.1%	6,788人 35.5%

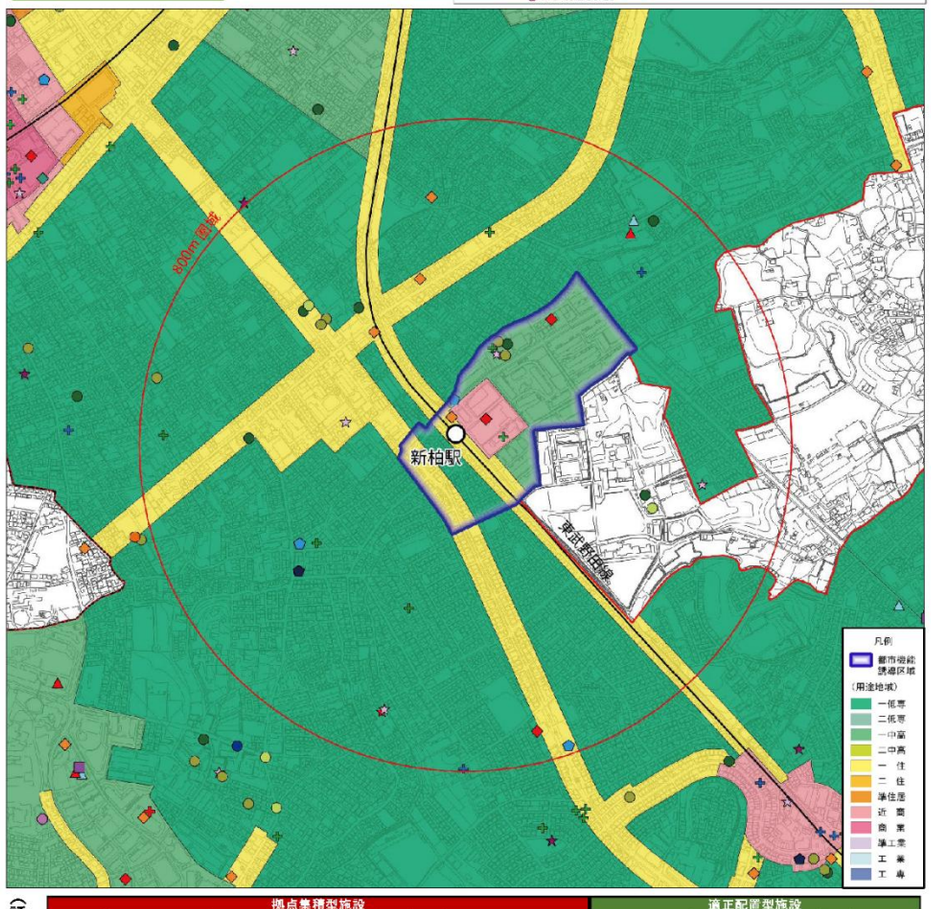
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：10,007 人/日
※市内10駅のうち、第5位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



(誘導施設の立地状況)

機能	拠点集積型施設 行政			介護福祉				商業		医療	金融	教育・文化				適正配置型施設 介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所(本庁舎)	行政施設	市役所(支所)	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館(本館)	文化会館	中央公民館	文化交流施設(ホール・公民館・近隣センター)	通所系施設(デイサービス等)	訪問系施設(訪問介護・看護等)	短期入所系施設(ショートステイ等)	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	2	1	1
圏域内	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1	1	0	0	1	6	5	2	4	1	1	4	6	3	4

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

参考資料

【生活拠点】⑥増尾駅

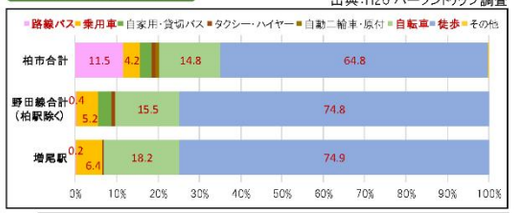
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	15,703 人	78.2 人/ha	1,816人	9,602人	4,286人
			11.6%	61.1%	27.3%
↓（増減数）	-5,142	-25.6	-837	-4,473	169
R22年	10,561 人	52.6 人/ha	978人	5,129人	4,455人
			9.3%	48.5%	42.2%

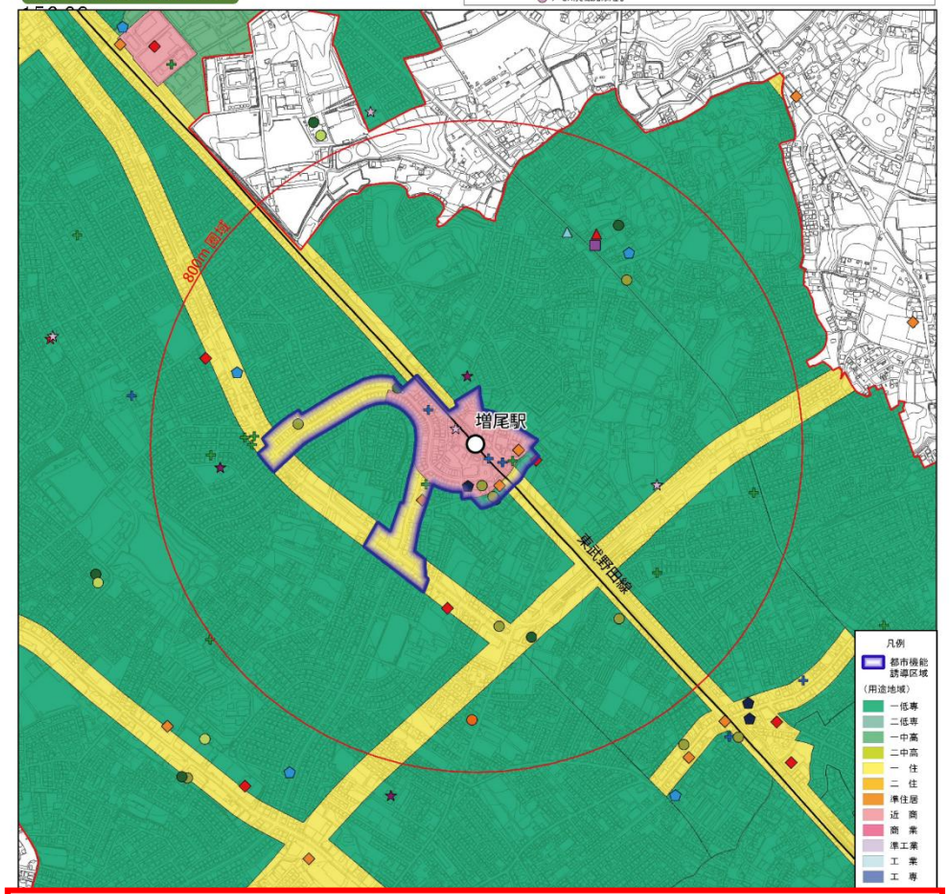
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：6,604 人/日
※市内10駅のうち、第9位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

拠点集積型施設																					適正配置型施設															
機能	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化						介護福祉		子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	薬務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	適所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護、看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	3	2	0	2
圏域内	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	4	6	0	2	0	2	3	3	2	2

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

参考資料

【生活拠点】⑥増尾駅

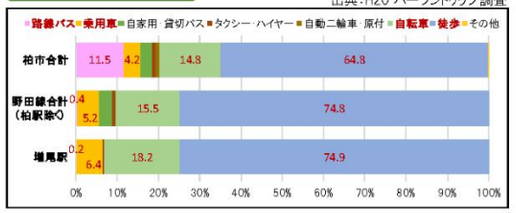
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内 ※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	15,703 人	78.2 人/ha	1,816人	9,602人	4,286人
			11.6%	61.1%	27.3%
↓（増減数）	-5,142	-25.6	-837	-4,473	169
R22年	10,561 人	52.6 人/ha	978人	5,129人	4,455人
			9.3%	48.5%	42.2%

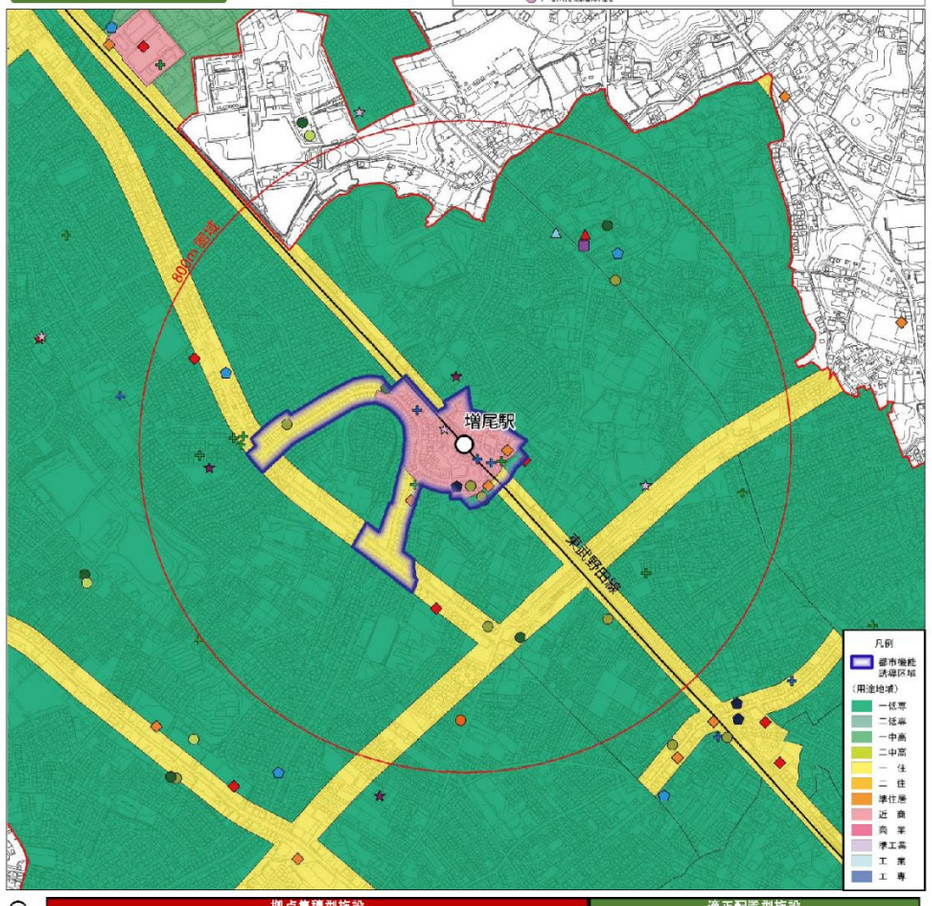
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：6,604 人/日
※市内10駅のうち、第9位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

拠点集積型施設																					適正配置型施設															
機能	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化						介護福祉		子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		適所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護、看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		2	3	0	1	0	0	3	2	0	2
圏域内	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1		4	6	0	2	0	2	3	8	2	2

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

【生活拠点】⑦逆井駅

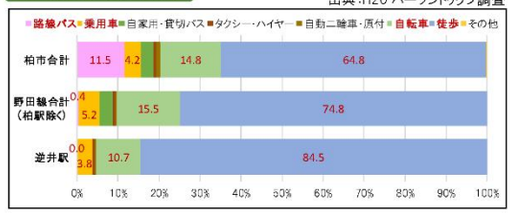
人口特性　※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	16,278	81.1	2,056人	10,345人	3,877人
	人	人/ha	12.6%	63.6%	23.8%
↓（増減数）	-4,242	-21.1	-1,036	-4,113	906
R22年	12,036	60.0	1,020人	6,232人	4,783人
	人	人/ha	8.5%	51.8%	39.7%

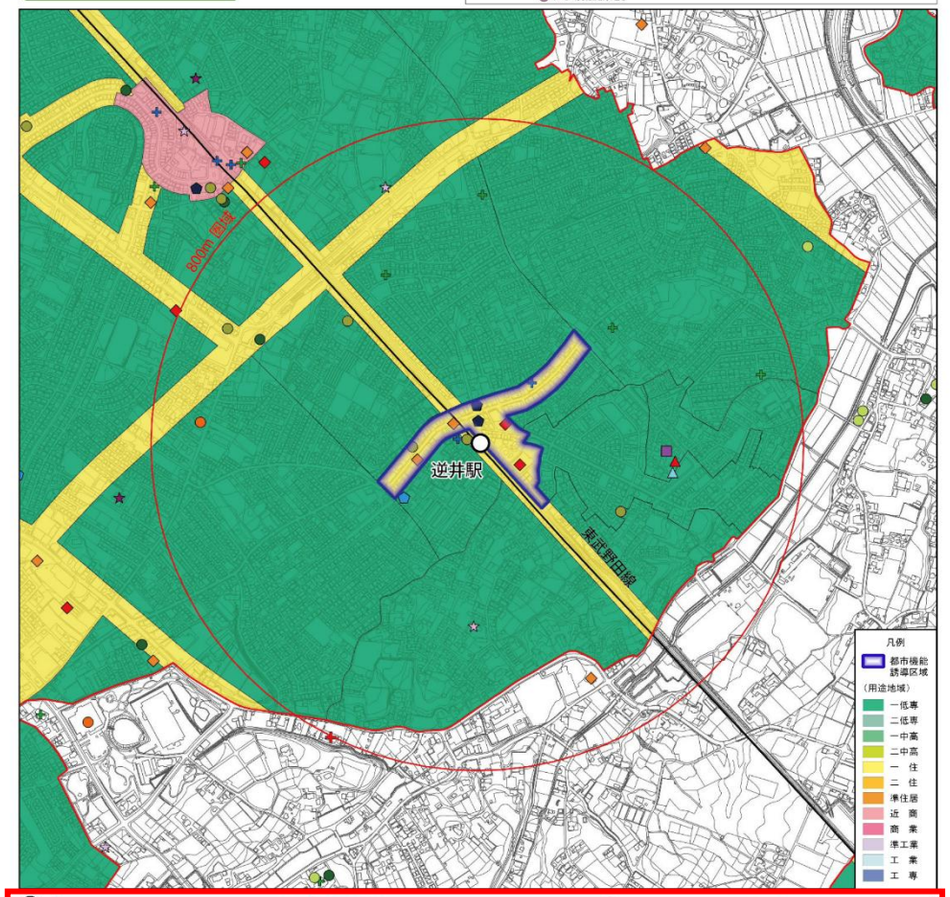
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：7,205 人/日
※市内10駅のうち、第7位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	行政			介護福祉			商業	医療	金融	教育・文化					介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	通所系施設（デイサービス等）	訪問介護・看護等	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
圏域内	0	0	0	1	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	1	5	0	2	0	0	3	4	1	3

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

【生活拠点】⑦逆井駅

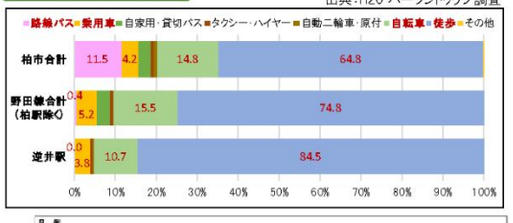
人口特性　※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	16,278	81.1	2,056人	10,345人	3,877人
	人	人/ha	12.6%	63.6%	23.8%
↓（増減数）	-4,242	-21.1	-1,036	-4,113	906
R22年	12,036	60.0	1,020人	6,232人	4,783人
	人	人/ha	8.5%	51.8%	39.7%

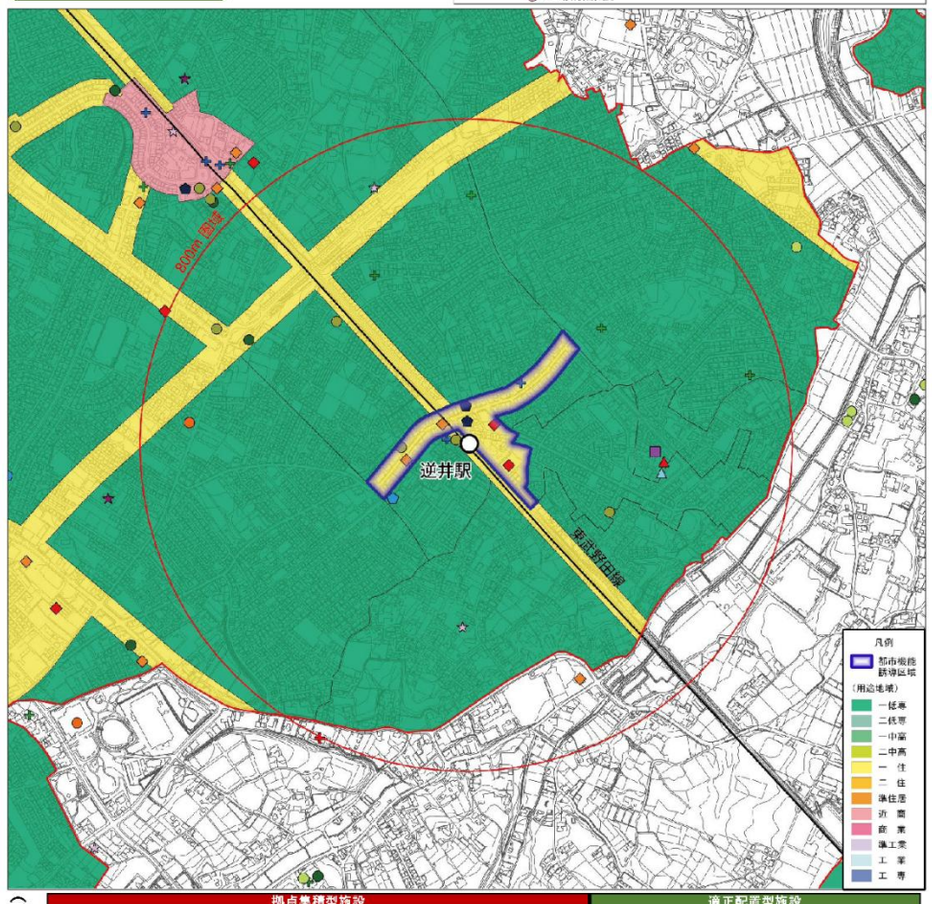
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：7,205 人/日
※市内10駅のうち、第7位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	行政			介護福祉			商業	医療	金融	教育・文化					介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	通所系施設（デイサービス等）	訪問介護・看護等	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
圏域内	0	0	0	1	0	0	3	1	2	0	0	0	1	1	5	0	2	0	0	3	4	1	3

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

参考資料

【生活拠点】⑧高柳駅

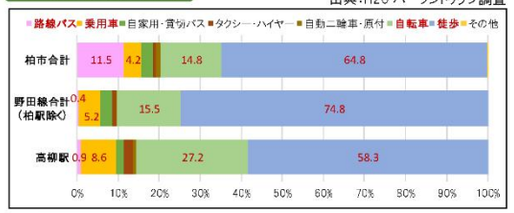
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	9,509 人	51.5 人/ha	1,507人 15.8%	6,144人 64.7%	1,857人 19.5%
↓（増減数）	390	2.1	-374	-256	1,021
R22年	9,899 人	53.6 人/ha	1,133人 11.4%	5,888人 59.5%	2,878人 29.1%

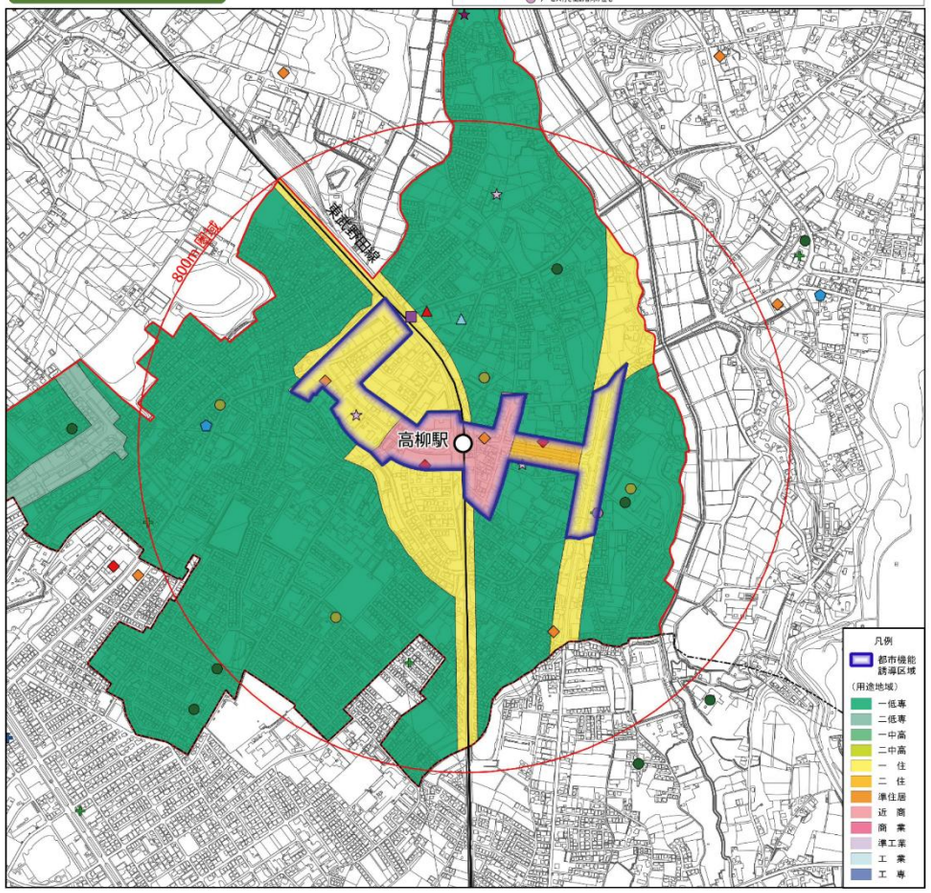
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：6,719 人/日
※市内10駅のうち、第8位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																			適正配置型施設								
	行政			介護福祉		商業		医療	金融	教育・文化										介護福祉		子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	郵便局	ATM			（ディサービス等）	通所系施設	訪問（介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	
区域内	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1			0	0	0	2	0	0	2	1	
圏域内	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	3			2	4	0	3	0	0	3	3	

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

参考資料

【生活拠点】⑧高柳駅

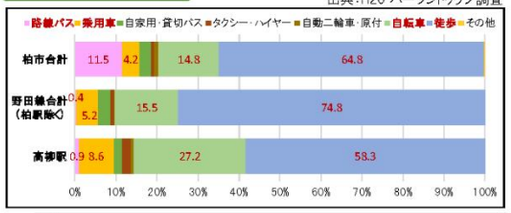
人口特性 ※駅から半径 800m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	9,509 人	51.5 人/ha	1,507人 15.8%	6,144人 64.7%	1,857人 19.5%
↓（増減数）	390	2.1	-374	-256	1,021
R22年	9,899 人	53.6 人/ha	1,133人 11.4%	5,888人 59.5%	2,878人 29.1%

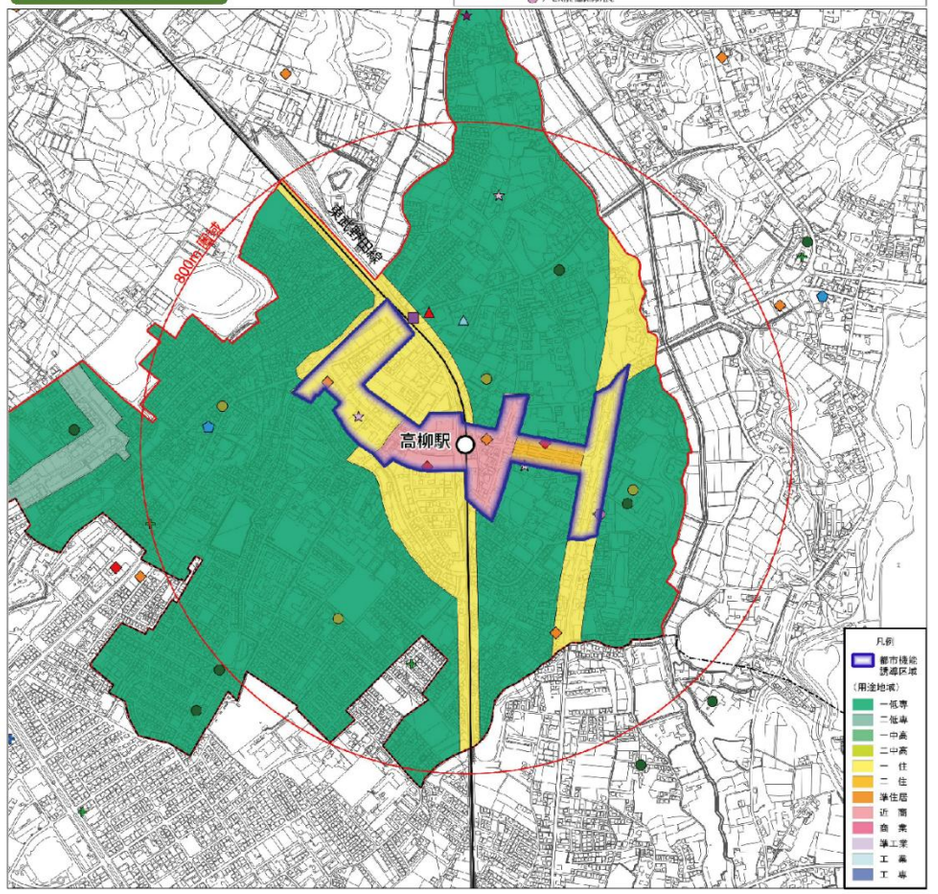
駅端末交通手段

H27年駅乗車人数：6,719 人/日
※市内10駅のうち、第8位

出典：H20 パーソントリップ調査



都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

施設	拠点集積型施設																			適正配置型施設								
	行政			介護福祉		商業		医療	金融	教育・文化										介護福祉		子育て			商業	医療	金融	
	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）						（ディサービス等）	通所系施設	訪問（介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	
区域内	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0						0	0	0	2	0	0	2	1	
圏域内	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1						2	4	0	3	0	0	3	3	

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

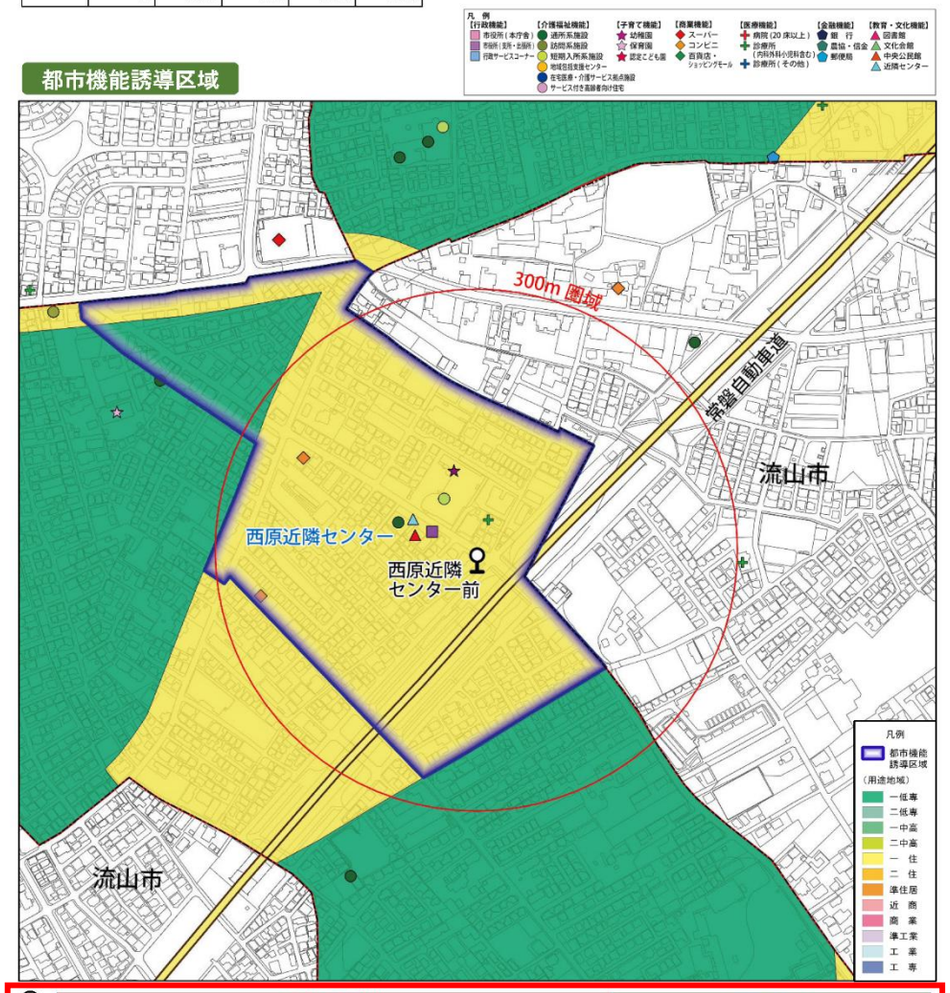
【暮らしの小拠点】①西原近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	2,049 人	111.4 人/ha	317人	1,345人	387人
			15.4%	65.7%	18.9%
↓（増減数）	-470	-25.6	-193	-517	240
R22年	1,579 人	85.9 人/ha	123人	829人	627人
			7.8%	52.5%	39.7%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設															適正配置型施設										
	行政			介護福祉			商業			医療	金融	教育・文化					介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	2	1	0	2
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	2

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

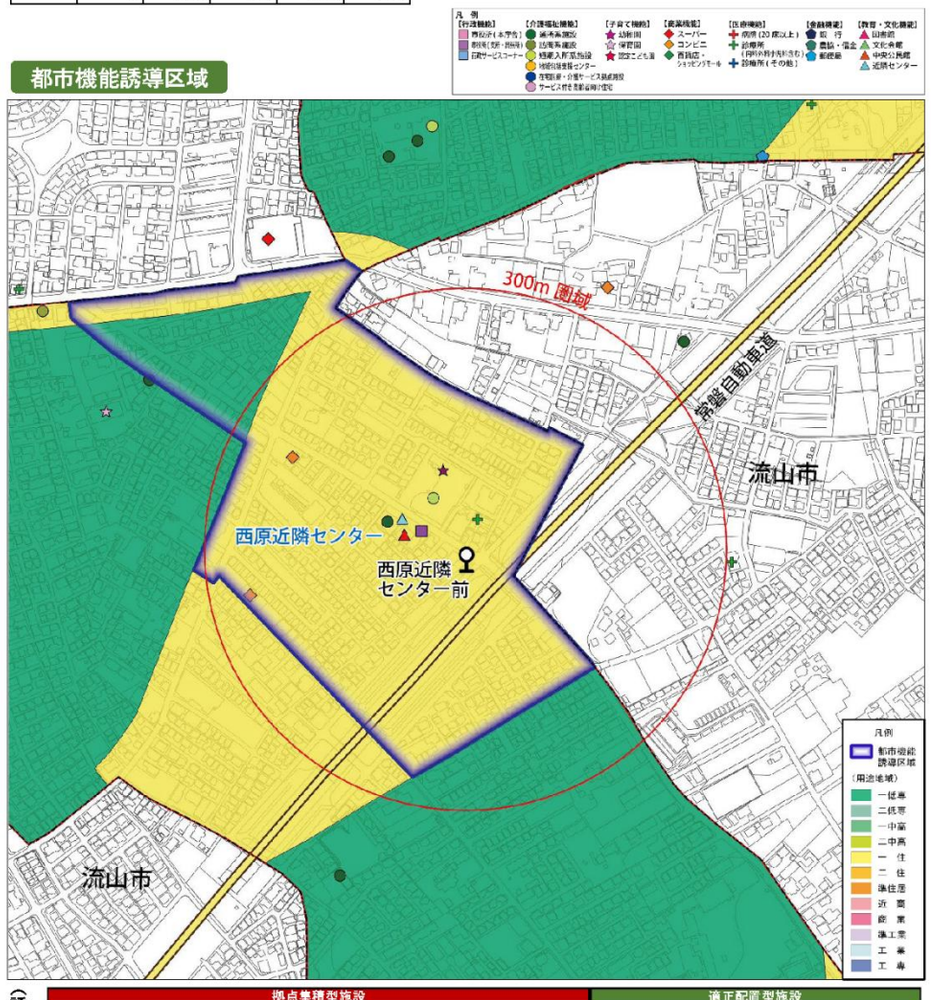
【暮らしの小拠点】①西原近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	2,049 人	111.4 人/ha	317人	1,345人	387人
			15.4%	65.7%	18.9%
↓（増減数）	-470	-25.6	-193	-517	240
R22年	1,579 人	85.9 人/ha	123人	829人	627人
			7.8%	52.5%	39.7%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設															適正配置型施設										
	行政			介護福祉			商業			医療	金融	教育・文化					介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	高齢者向け住宅	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	文化交流施設（デイサービス等）	通所系施設	訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	2	1	0	2
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	2

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

参考資料

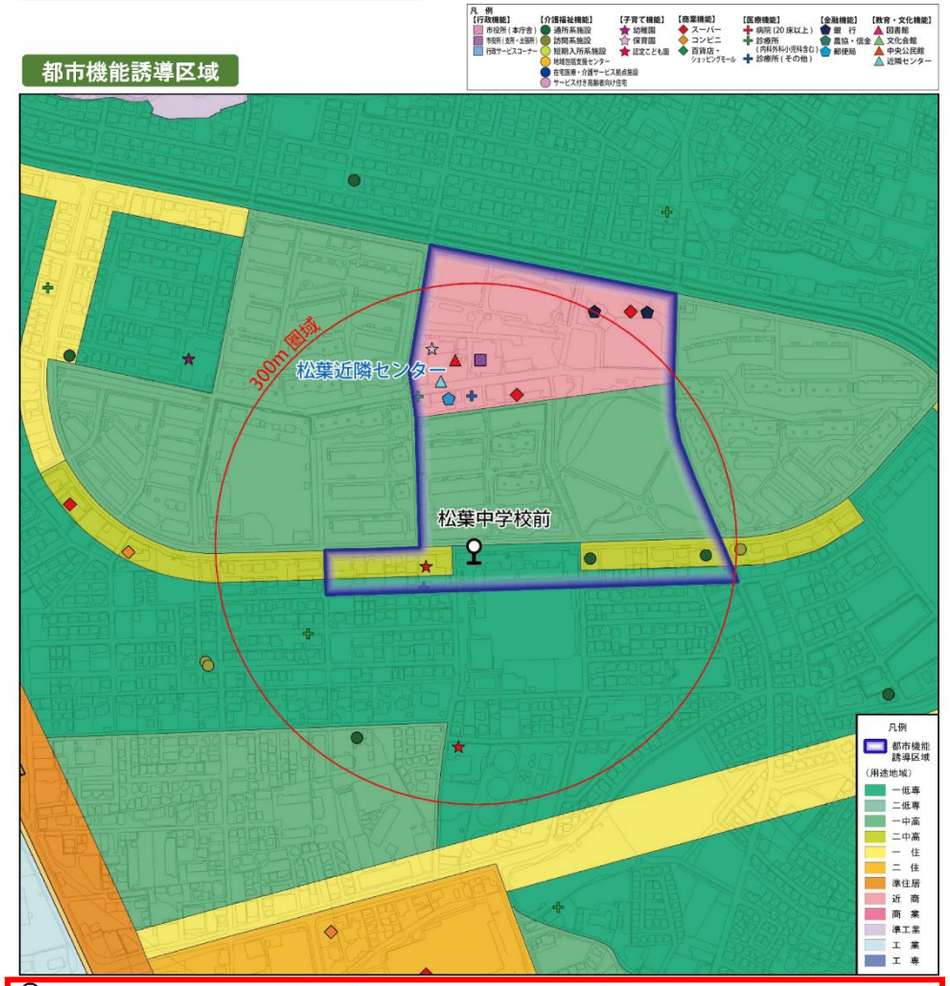
【暮らしの小拠点】②松葉近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	3,362 人	119.2 人/ha	403人 12.0%	2,285人 68.0%	674人 20.0%
↓（増減数）	-1,356	-48.1	-277	-1,472	393
R22年	2,006 人	71.1 人/ha	126人 6.3%	812人 40.5%	1,067人 53.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

拠点集積型施設																									適正配置型施設														
機能	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化														介護福祉			子育て			商業	医療	金融							
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）										通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM							
区域内	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1										2	0	0	1	1	0	0	1	1	0						
圏域内	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	1										3	1	0	1	2	0	0	2	1	0						

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

参考資料

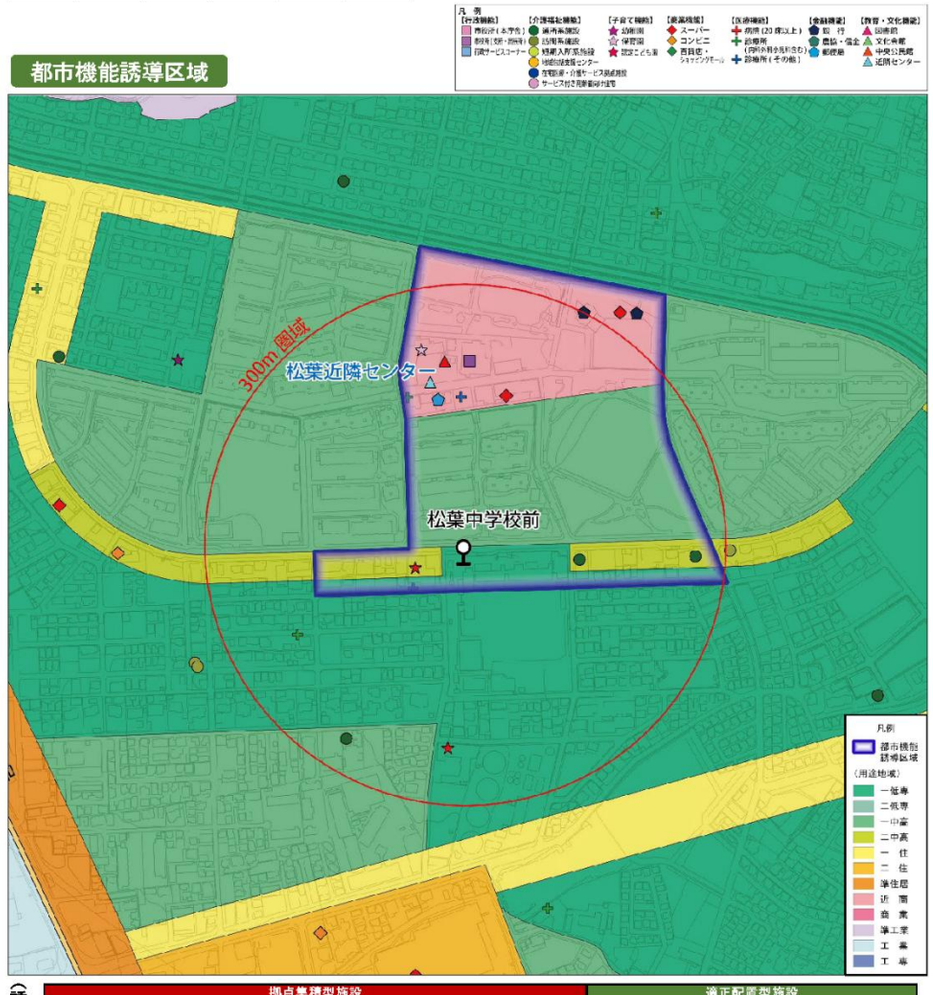
【暮らしの小拠点】②松葉近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	3,362 人	119.2 人/ha	403人 12.0%	2,285人 68.0%	674人 20.0%
↓（増減数）	-1,356	-48.1	-277	-1,472	393
R22年	2,006 人	71.1 人/ha	126人 6.3%	812人 40.5%	1,067人 53.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

拠点集積型施設																									適正配置型施設														
機能	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化														介護福祉			子育て			商業	医療	金融							
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館		文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）										通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM							
区域内	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0		1										2	0	0	1	1	0	0	1	1	0						
圏域内	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	0		1										3	1	0	1	2	0	0	2	1	0						

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

第1章 第2章 第3章 第4章 第5章 第6章 第7章 第8章 参考資料

新旧対照表

新

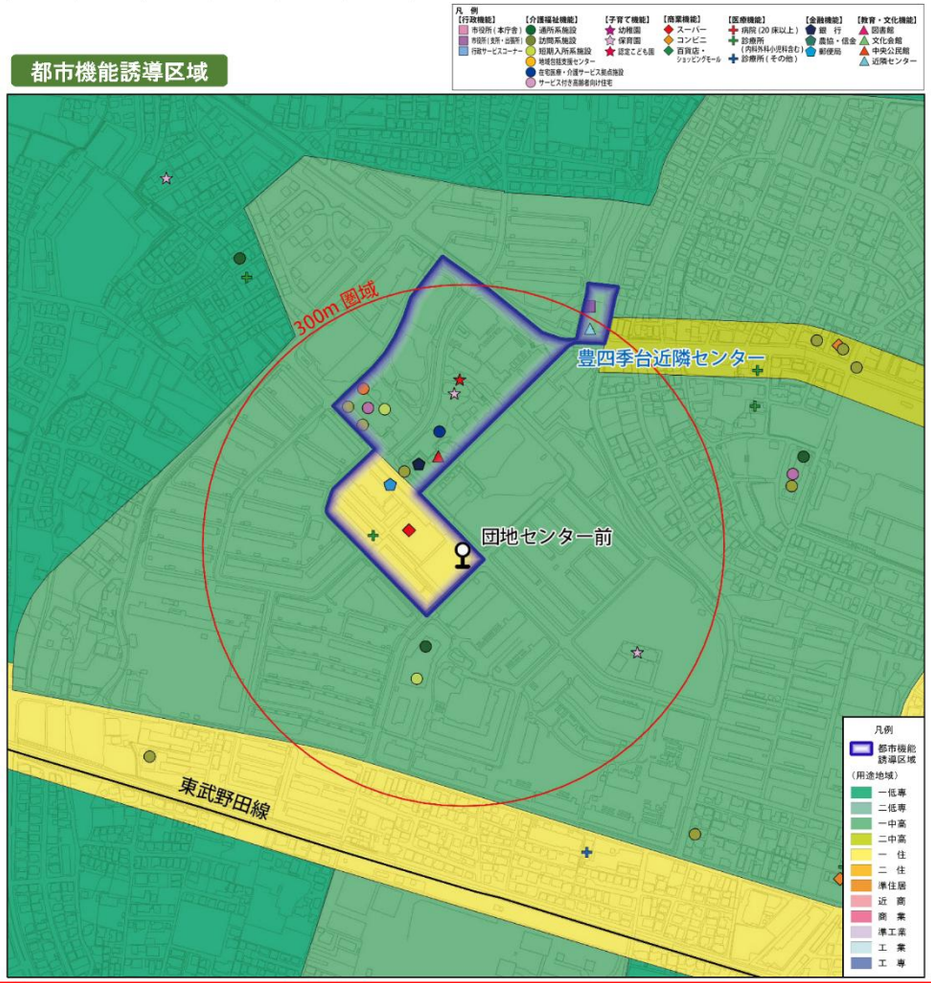
【暮らしの小拠点】③豊四季台近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	4,557 人	161.6 人/ha	231人	2,544人	1,782人
			5.1%	55.8%	39.1%
↓（増減数）	-1,060	-37.6	87	-830	-317
R22年	3,497 人	124.0 人/ha	317人	1,714人	1,465人
			9.1%	49.0%	41.9%

都市機能誘導区域



誘導施設の立地状況

機能	拠点集積型施設																	適正配置型施設								
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化							介護福祉		子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病 院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）			通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1			0	2	1	1	1	0	0	1	1	0
圏域内	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1			1	3	2	2	1	0	0	2	1	0

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

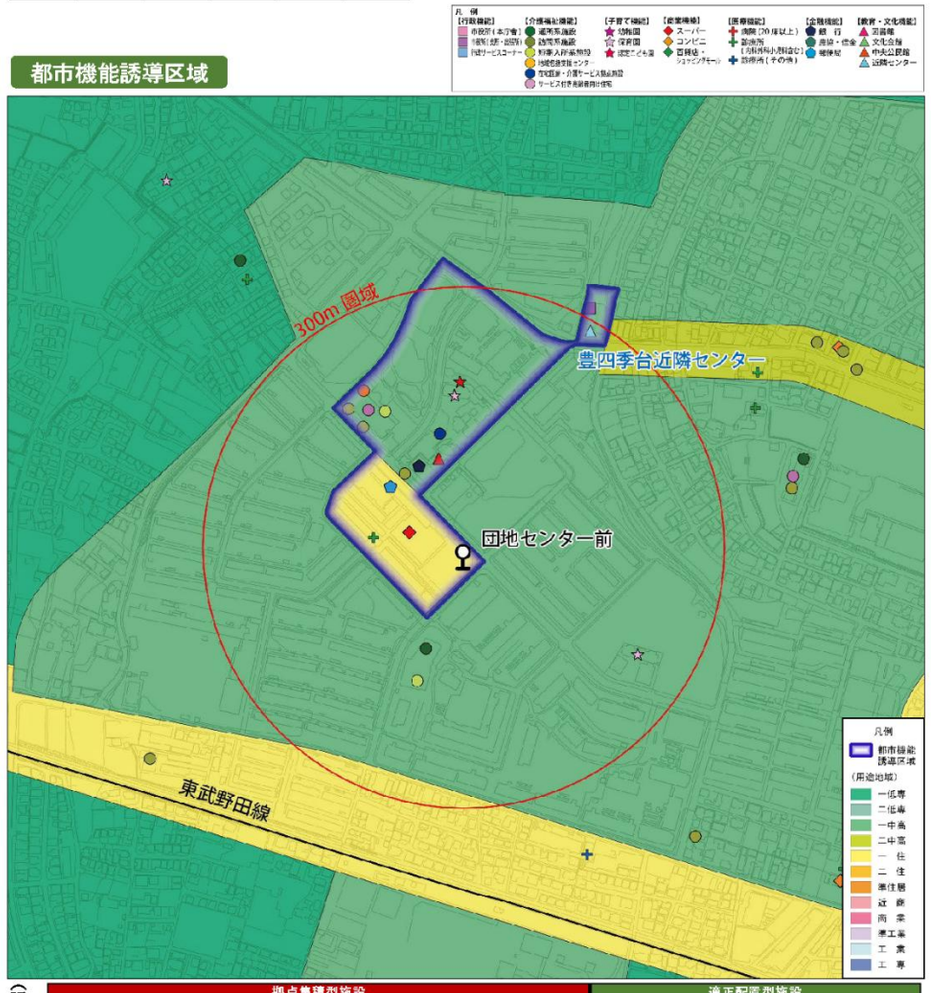
【暮らしの小拠点】③豊四季台近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	4,557 人	161.6 人/ha	231人	2,544人	1,782人
			5.1%	55.8%	39.1%
↓（増減数）	-1,060	-37.6	87	-830	-317
R22年	3,497 人	124.0 人/ha	317人	1,714人	1,465人
			9.1%	49.0%	41.9%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																	適正配置型施設								
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化							介護福祉		子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病 院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）				通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1				0	2	1	1	1	0	0	1	1	0
圏域内	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1				1	3	2	2	1	0	0	2	1	0

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

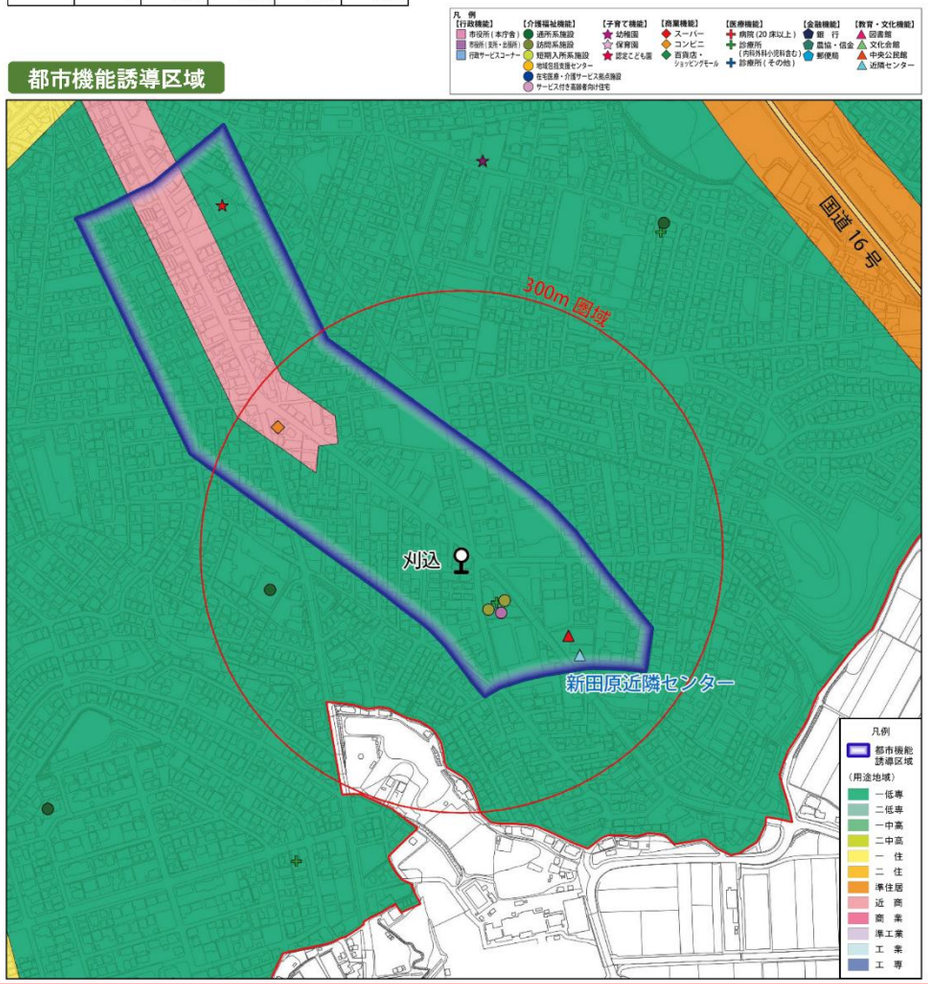
【暮らしの小拠点】④新田原近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	2,830 人	100.2 人/ha	367人	1,849人	613人
			13.0%	65.3%	21.7%
↓（増減数）	-123	-4.4	-79	-276	232
R22年	2,706 人	95.8 人/ha	289人	1,573人	845人
			10.7%	58.1%	31.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設															適正配置型施設												
	行政			介護福祉			商業			医療	金融	教育・文化					介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	（デイサービス等）	通所系施設	訪問介護・看護等）	訪問系施設	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	1	1	0	1		
圏域内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1		

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

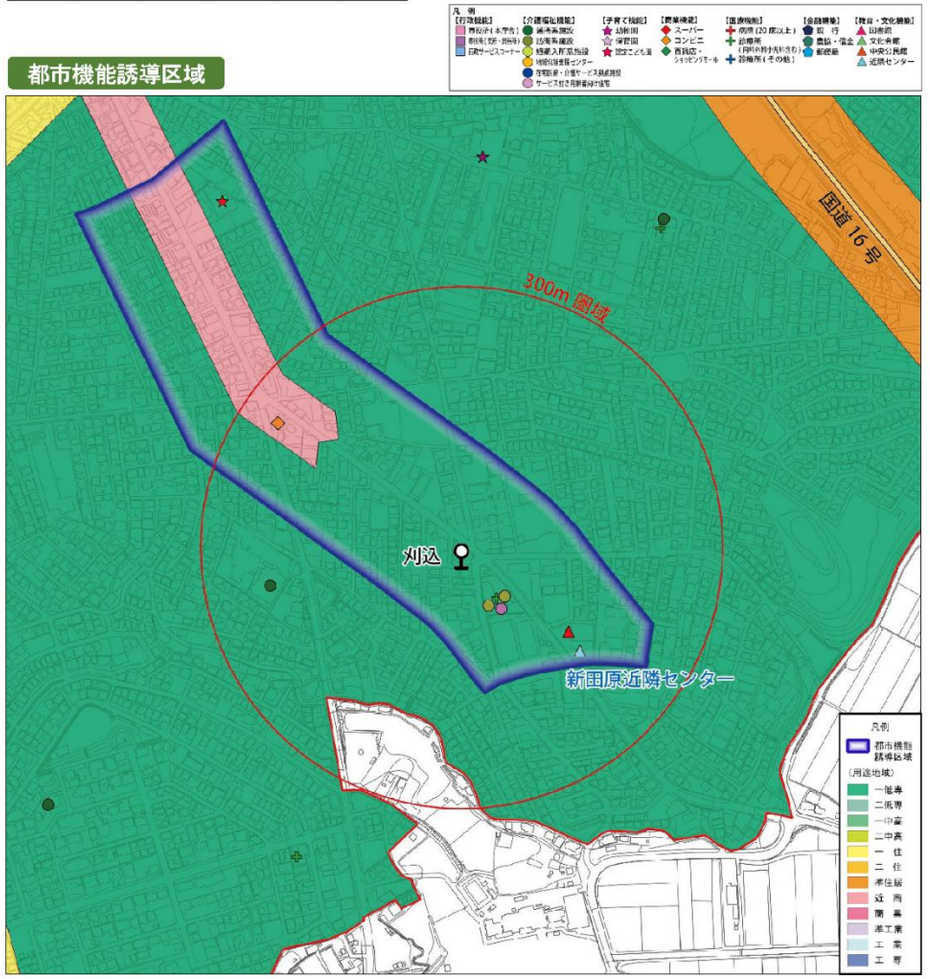
【暮らしの小拠点】④新田原近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	2,830 人	100.2 人/ha	367人	1,849人	613人
			13.0%	65.3%	21.7%
↓（増減数）	-123	-4.4	-79	-276	232
R22年	2,706 人	95.8 人/ha	289人	1,573人	845人
			10.7%	58.1%	31.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設															適正配置型施設												
	行政			介護福祉			商業			医療	金融	教育・文化					介護福祉			子育て			商業	医療	金融		
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		（デイサービス等）	通所系施設	（訪問介護・看護等）	訪問系施設	（ショートステイ等）	短期入所系施設	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		0	2	0	0	1	0	1	1	0	1		
圏域内	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		1	2	0	0	0	0	1	1	0	1		

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

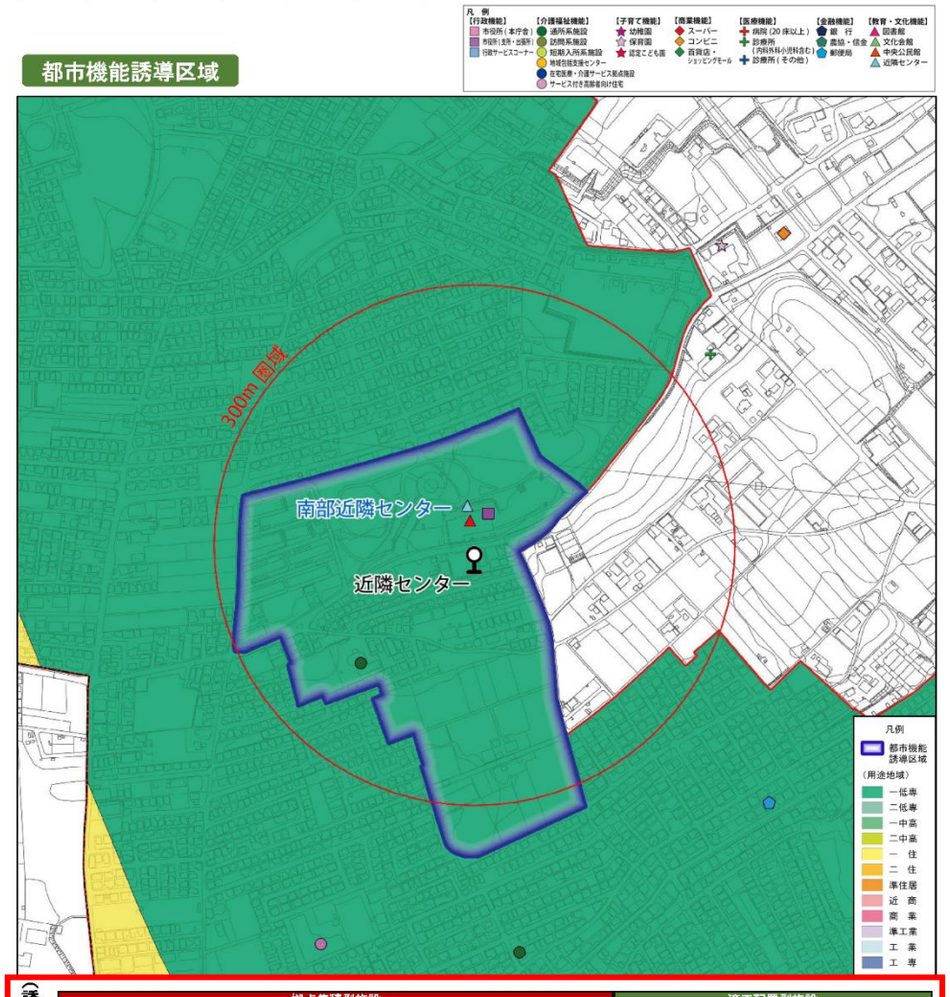
【暮らしの小拠点】⑤南部近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	1,972 人	69.9 人/ha	305人 15.5%	1,277人 64.8%	390人 19.7%
↓（増減数）	-383	-13.6	-159	-410	185
R22年	1,589 人	56.3 人/ha	147人 9.2%	867人 54.6%	575人 36.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化					適正配置型施設 介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	通所系施設（デイサービス等）	訪問介護・看護等（訪問系施設）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

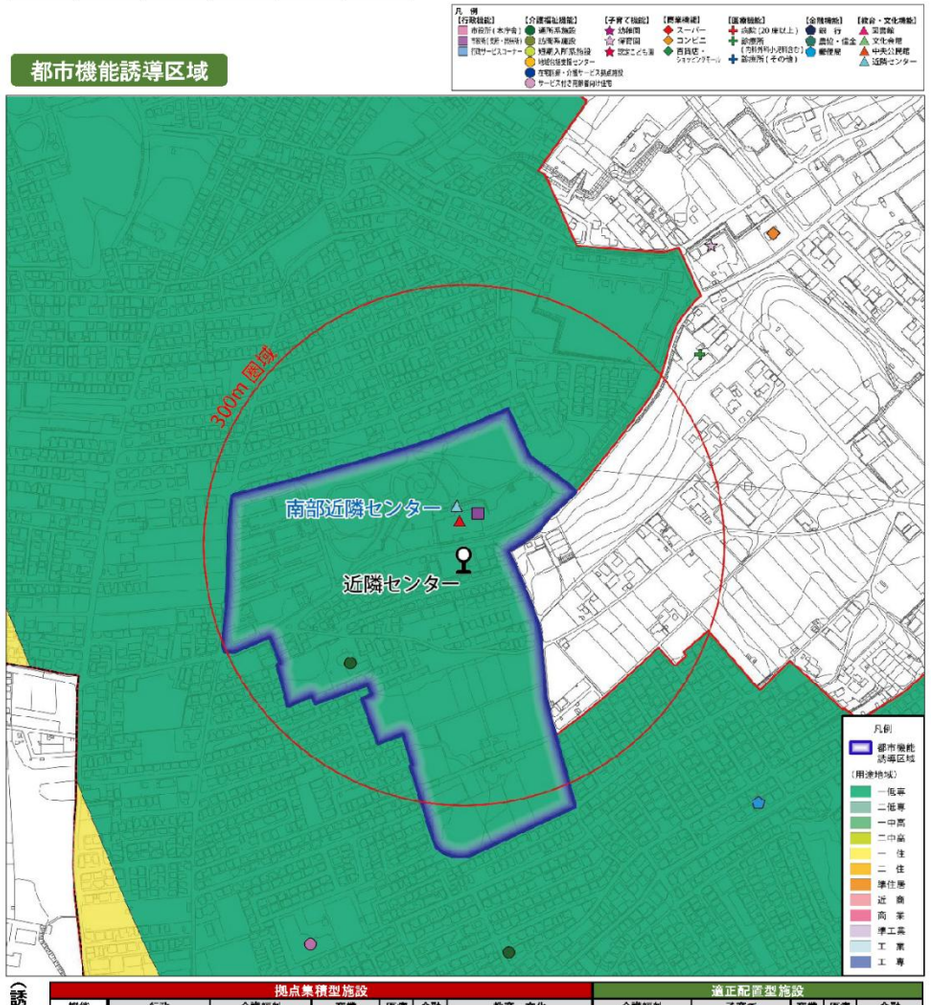
【暮らしの小拠点】⑤南部近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	1,972 人	69.9 人/ha	305人 15.5%	1,277人 64.8%	390人 19.7%
↓（増減数）	-383	-13.6	-159	-410	185
R22年	1,589 人	56.3 人/ha	147人 9.2%	867人 54.6%	575人 36.2%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	行政			介護福祉			商業	医療	金融	教育・文化					適正配置型施設 介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）	通所系施設（デイサービス等）	訪問介護・看護等（訪問系施設）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ATM
区域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
圏域内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

新旧対照表

新

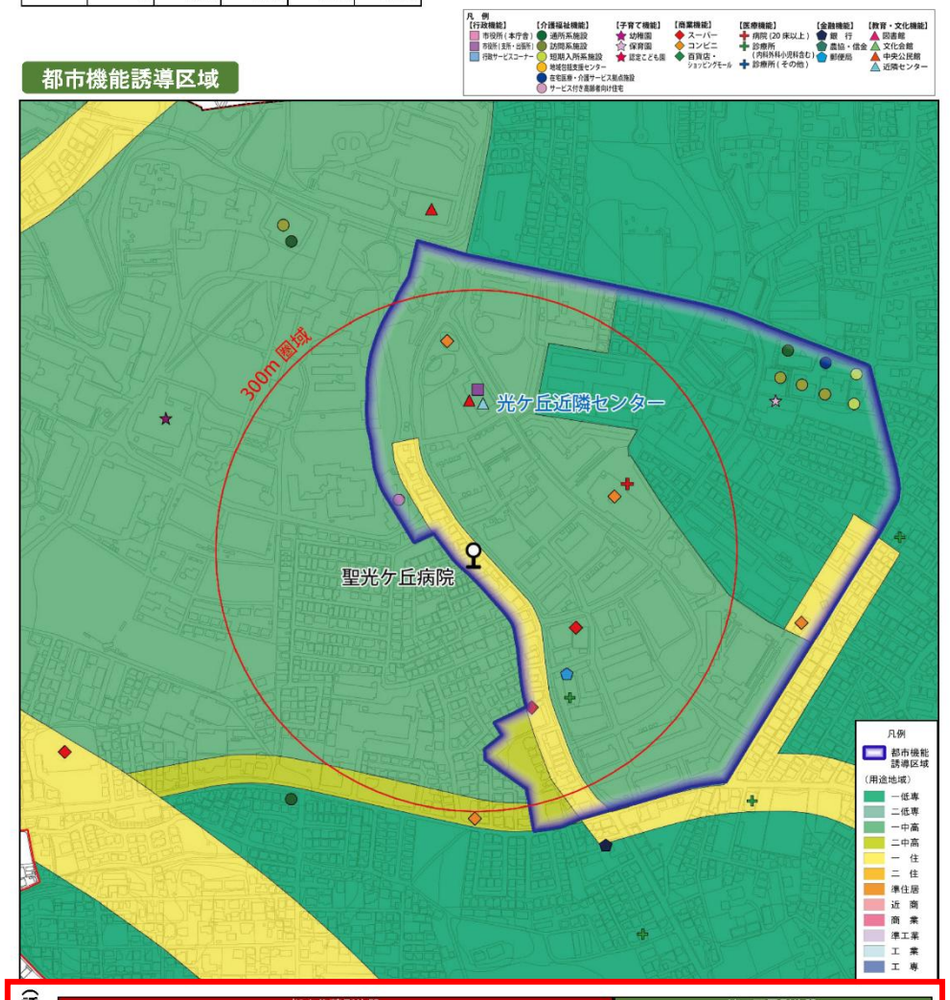
【暮らしの小拠点】⑥光ケ丘近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	3,212 人	113.8 人/ha	538人	2,059人	616人
			16.7%	64.1%	19.2%
↓（増減数）	-484	-17.1	-235	-555	306
R22年	2,729 人	96.6 人/ha	303人	1,504人	922人
			11.1%	55.1%	33.8%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																適正配置型施設								
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化						介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1		1	3	2	1	0	0	3	1	1	3
圏域内	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	3	1	1	2

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点

旧

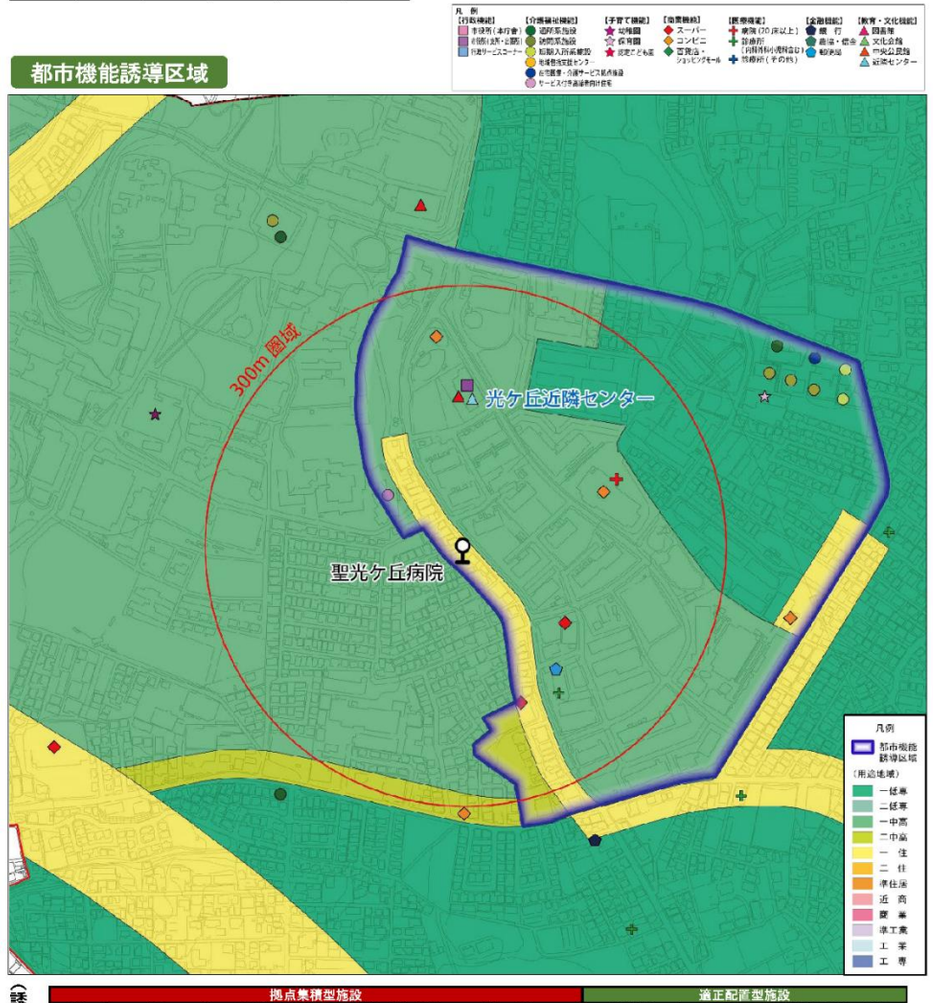
【暮らしの小拠点】⑥光ケ丘近隣センター付近

人口特性

※最寄りのバス停から半径 300m 圏域内
※H22 年：国勢調査、R22 年：柏市推計

	地区人口	人口密度	3区分人口（上段）・構成比（下段）		
			年少	生産	高齢
H22年	3,212 人	113.8 人/ha	538人	2,059人	616人
			16.7%	64.1%	19.2%
↓（増減数）	-484	-17.1	-235	-555	306
R22年	2,729 人	96.6 人/ha	303人	1,504人	922人
			11.1%	55.1%	33.8%

都市機能誘導区域



（誘導施設の立地状況）

機能	拠点集積型施設																適正配置型施設								
	行政			介護福祉			商業		医療	金融	教育・文化						介護福祉			子育て			商業	医療	金融	
施設	市役所（本庁舎）	行政施設	市役所（支所）	地域包括支援センター	在宅医療・介護サービス拠点施設	サービス付き高齢者向け住宅	ショッピングモール系商業施設	スーパーマーケット系商業施設	病院	銀行・農協・信用金庫	図書館（本館）	文化会館	中央公民館	義務教育学校	文化交流施設（ホール・公民館・近隣センター）		通所系施設（デイサービス等）	訪問系施設（訪問介護・看護等）	短期入所系施設（ショートステイ等）	保育園	認定こども園	幼稚園	コンビニエンスストア	診療所	郵便局	ＡＴＭ
区域内	0	0	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1		1	3	2	1	0	0	3	1	1	3
圏域内	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1		0	0	0	0	0	0	3	1	1	2

※白抜き箇所が本区域での誘導施設
※平成 29 年 11 月時点